

令和3年度使用教科用図書採択に係る
検討委員会報告書

笠岡・井原地区教科用図書採択
市町（組合）教育委員会協議会

報 告 書

教 科	国語	種 目	国語
-----	----	-----	----

発行者名	東京書籍	教科書名	新しい国語
------	------	------	-------

観 点	特 記 す べ き 所 見	備 考
1	<p>国語で正確に理解し適切に表現することに向けて、基礎基本の確実な定着を図るために、教材や学習活動がどのように取り上げられているか。</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p>	
2	<p>知識技能を活用し、自ら考え、判断し、表現する力を育む言語活動の内容や情報活用能力を育成する活動の内容がどのように取り上げられているか。</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p>	
3	<p>生徒の主体的に学習に取り組む態度を養い、補完的な学習や発展的な学習、家庭での自主的な学習が促されるために、創意工夫がどのようになされているか。</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p>	
4	<p>様々な学習場面や実生活に生かすことのできる国語の能力を育成するために、他教科、総合的な学習の時間及び特別活動との関連や実生活の場面への活用、探求的な活動の内容がどのように取り上げられているか。</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p>	

5	我が国の伝統的な言語文化や言葉の由来や変化等について理解を深め、尊重する態度を育てるとともに、他国を尊重し、国際理解や協調に寄与する態度を養うことができる教材や学習活動がどのように取り上げられているか。	我が国の言語文化と関わりをもつ漢文への興味を喚起するため、第1学年で、「矛盾」の原文が記載されている。また、伝統的な言語文化の理解や古典には様々な種類の作品があることを知るために、第1学年の古典学習では、複数の教材が取り上げられている。	
6	内容が系統的に構成され、学習を効果的に進めるために適切な配列であり、全体の分量及びその配分や表記が指導上適切であることや、表紙、目次、巻頭・巻末の資料、挿絵、写真、レイアウトその他使用上の便宜について、どのような特徴があるか。	学習の案内役に独自の生徒キャラクターを設定・使用し、学びの視点を補助的に示す役割をもたせている。また、学習に関連する音声や映像などの資料がインターネットで見られる。その箇所が「Dマーク」として掲載されるとともに、その一覧が巻末で紹介されている。	

総合所見	<p>伝統的言語文化や言葉の由来や変化等について理解を深め、尊重する態度を育てるために、第1学年の古典学習で複数の教材が取り上げられており、伝統的な言語文化の理解や、古典には様々な種類の作品があることを知るための工夫がされている。学習を効果的に進めるために、教科書全体の表記において、学習の案内役に独自の生徒キャラクターを設定・使用し、学びの視点を補助的に示す役割をもたせている。基礎基本の確実な定着を図るために、巻頭にこれまでの学年で「学んだこと」の内容が示されている。また、巻末の資料編では「言葉を広げよう」として様々な表現の用例を紹介する工夫がされている。</p> <p>以上を総合的に判断して、採択地区内全体の使用に適していると考えられる。</p>
------	--

報 告 書

教 科	国語	種 目	国語
-----	----	-----	----

発行者名	三省堂	教科書名	現代の国語
------	-----	------	-------

	観 点	特 記 す べ き 所 見	備 考
1	国語で正確に理解し適切に表現することに向けて、基礎基本の確実な定着を図るために、教材や学習活動がどのように取り上げられているか。	「読み方を学ぼう」が、第1・2学年で8箇所、第3学年で6箇所あり、教材内容の理解にとどまらず、学習活動の様々な場面で活用できるように工夫がされている。巻末に「読み方を学ぼう」の一覧が取り上げられたり、資料編「学習用語辞典」に、国語科の学習活動に必要な用語とその意味がまとめられたりしていることでわかりやすくなっている。	
2	知識技能を活用し、自ら考え、判断し、表現する力を育む言語活動の内容や情報活用能力を育成する活動の内容がどのように取り上げられているか。	「読むこと」の教材における「学びの道しるべ」の中に、考えを整理したり深めたりするための手立てとしての「思考の方法」が示されている。また、振り返りのキーワードが明解に示され、学習の振り返りがしやすくなっている。さらに全学年に「情報を関連づける」という単元が生まれ、言語能力全般を総合的に活用する学習活動が展開できるようになっている。	
3	生徒の主体的に学習に取り組む態度を養い、補充的な学習や発展的な学習、家庭での自主的な学習が促されるために、創意工夫がどのようになされているか。	「学びの道しるべ」の最後の「学びを広げる」で、発展的な学習活動の具体例が示されている。また、「私の読書体験」として第1学年では又吉直樹、第2学年では小川洋子、第3学年では宮下奈都の読書体験が紹介され、中学生にとって有意義な読書案内となっている。	
4	様々な学習場面や実生活に生かすことのできる国語の能力を育成するために、他教科、総合的な学習の時間及び特別活動との関連や実生活の場面への活用、探求的な活動の内容がどのように取り上げられているか。	「書くこと」や「話すこと・聞くこと」の学習の中で、第1学年ではレポートやスピーチ、リーフレット、第2学年では手紙・プレゼンテーション、情報誌の編集、第3学年ではポスターなど、実生活に生かせる題材が扱われている。また「うたの言葉」では、「さくら（独唱）」（森山直太朗）など、身近で親しみやすい曲の歌詞が掲載されている。	

5	我が国の伝統的な言語文化や言葉の由来や変化等について理解を深め、尊重する態度を育てるとともに、他国を尊重し、国際理解や協調に寄与する態度を養うことができる教材や学習活動がどのように取り上げられているか。	資料編の「古典芸能に親しむ」で、第1学年では「落語 桃太郎」、第2学年では「歌舞伎 外郎売」、第3学年では「狂言 柿山伏」といった伝統文化が取り上げられている。また、巻末の資料編で各時代・ジャンルにわたる「日本文学名作集」が掲載され、当該学年で学習する古典作品も含めて年表形式を用いてわかりやすく紹介されている。	
6	内容が系統的に構成され、学習を効果的に進めるために適切な配列であり、全体の分量及びその配分や表記が指導上適切であることや、表紙、目次、巻頭・巻末の資料、挿絵、写真、レイアウトその他使用上の便宜について、どのような特徴があるか。	目次、領域（教材）ごとの「つきたい力」一覧のあとに、教科書の使い方が、「確かな言葉の力をつけるために」という目的のもと、「読むこと」については見開きの形で、また「話すこと・聞くこと」「書くこと」等についてはその次のページに明確にまとめられている。また、教科書を開く際に、本編と読書の広場、資料編が横から見ても分かるように色分けされている。	

総合所見	<p>基礎基本の確実な定着を図るために、「読み方を学ぼう」に、その単元を通して身につく読み方が示され、教材内容の理解にとどまらず、他の単元にも応用できる読解の方法が極めてよく工夫され提示されている。また、資料編「学習用語辞典」に、国語科の学習活動に必要な用語とその意味がまとめられており、生徒自身が学習活動の中で主体的に活用できるように大変よく工夫がされている。知識技能を活用し、自ら考え、判断し、表現する力を育むために、「学びの道しるべ」で「思考の方法」が示され、考えを広げたり深めたりする学習活動のヒントとなるよう極めてよく工夫がされている。伝統的な言語文化や言葉の由来、変化等について理解を深め、尊重する態度を育てるために、資料編において各時代・ジャンルにわたる「日本文学名作集」が年表形式を用いて紹介されており、大変わかりやすい。</p> <p>以上を総合的に判断して、採択地区内の使用に極めて適していると考えられる。</p>
------	---

報 告 書

教 科	国語	種 目	国語
-----	----	-----	----

発行者名	教育出版	教科書名	伝え合う言葉 中学国語
------	------	------	-------------

観 点		特 記 す べ き 所 見	備 考
1	国語で正確に理解し適切に表現することに向けて、基礎基本の確実な定着を図るために、教材や学習活動がどのように取り上げられているか。	<p>巻頭の「言葉の地図」では教材ごとに身につけたい力とそれに対応する言語活動例が示されている。各教材冒頭の「学びナビ」と「ここが大事」で学習への構えや学習の視点が示されている。巻末の折り込みには「理解に役立つ言葉」「表現に役立つ言葉」の一覧が示されている。</p>	
2	知識技能を活用し、自ら考え、判断し、表現する力を育む言語活動の内容や情報活用能力を育成する活動の内容がどのように取り上げられているか。	<p>「学びのチャレンジ」として、様々なジャンルの文章や図・グラフなどの資料が取り上げられ、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の能力を総合的に活用して解く問題の単元が設けられている。情報活用能力を育成する教材として、「メディアと表現」の単元が設けられている。</p>	
3	生徒の主体的に学習に取り組む態度を養い、補充的な学習や発展的な学習、家庭での自主的な学習が促されるために、創意工夫がどのようになされているか。	<p>巻末の「言葉の自習室」には、読書教材、古典の別の章段、百人一首、十二支と月の異名などが示されている。「読書への招待」で芥川龍之介などの文豪の作品が取り上げられ、発展的な詳しい資料が掲載されている。第3学年の巻末資料で「古典文法活用表」が「発展」として紹介されている。</p>	
4	様々な学習場面や実生活に生かすことのできる国語の能力を育成するために、他教科、総合的な学習の時間及び特別活動との関連や実生活の場面への活用、探求的な活動の内容がどのように取り上げられているか。	<p>全学年に「総合 (SDGs)」という単元があり、「人権、多様性、平和」などの今日的な課題について深く考え、自分の考えを意見文として書く、話し合うという活動が設定されている。「学びを生かそう」で、学んだことを他教科や日常生活で生かすよう、具体的な場面が示されている。</p>	

5	我が国の伝統的な言語文化や言葉の由来や変化等について理解を深め、尊重する態度を育てるとともに、他国を尊重し、国際理解や協調に寄与する態度を養うことができる教材や学習活動がどのように取り上げられているか。	巻末に「ふるさとを巡る」として、都道府県ごとに文学にゆかりのある地が取り上げられている。方言と共通語に関しては、第1学年で巻末の資料で取り上げられ、その歴史や新しく生まれた方言、地域や世代による方言の違いなどの内容が紹介されている。古典では、古文や漢文の間に現代語での説明が多めに示されている。	
6	内容が系統的に構成され、学習を効果的に進めるために適切な配列であり、全体の分量及びその配分や表記が指導上適切であることや、表紙、目次、巻頭・巻末の資料、挿絵、写真、レイアウトその他使用上の便宜について、どのような特徴があるか。	読み方、学び方の説明、参考となる資料・写真が豊富に掲載されており、第1～3学年の総ページ数が1044ページとなっている。「学びリンク」として、学習の参考となる資料の二次元コードが示され、関連するページ番号の横にマークが記載されている。	

総合所見	<p>知識技能を活用し、自ら考え、判断し、表現する力を育むために、「学びのチャレンジ」として、様々なジャンルの文章や図・グラフなどの資料が取り上げられ、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の能力を総合的に活用して解く問題の単元が設けられている。様々な学習場面や実生活に生かすことのできる国語の能力を育成するために、全学年に「総合 (SDGs)」という単元があり、自分の考えを意見文として書く、話し合うという活動を通して「人権・多様性・平和」などの今日的な課題について深く考える工夫がされている。補充的な学習や、家庭での自主的な学習が促されるために、「読書への招待」で芥川龍之介などの文豪の作品が取り上げられ、工夫された発展的な詳しい資料が掲載されている。</p> <p>以上を総合的に判断して、採択地区内全体の使用に適していると考えられる。</p>
------	---

報 告 書

教 科	国語	種 目	国語
-----	----	-----	----

発行者名	光村図書	教科書名	国語
------	------	------	----

	観 点	特 記 す べ き 所 見	備 考
1	国語で正確に理解し適切に表現することに向けて、基礎基本の確実な定着を図るために、教材や学習活動がどのように取り上げられているか。	巻頭の「学習の見通しをもとう」では、各単元の教材ごとに新学習指導要領に示されている新しい観点に対応した「つけたい力」が生徒にもわかりやすく示されている。続く「思考の地図」は、生徒の主体的学びの手がかりとなる思考法が紹介されている。各教材末の「学習の窓」に紹介された基本的な観点が、巻末の「学習を広げる」編にまとめられており、一括して確認できる。	
2	知識技能を活用し、自ら考え、判断し、表現する力を育む言語活動の内容や情報活用能力を育成する活動の内容がどのように取り上げられているか。	情報活用能力の育成と定着のために、各学年に「情報社会を生きる」の単元と、観点に関連する活動を扱う「情報処理のレッスン」や「思考のレッスン」という学習活動が取り上げられている。また、巻末資料に「情報と情報の関係」「情報整理の方法」として、情報を扱う方法がまとめられ、活用の手がかりとなっている。	
3	生徒の主体的に学習に取り組む態度を養い、補足的な学習や発展的な学習、家庭での自主的な学習が促されるために、創意工夫がどのようになされているか。	各教材の学習後に「振り返る」が具体的に提示してあり、主体的で補足的な学習につながる設定になっている。巻末には、各領域別に「学習を振り返ろう」で問題が設定されていて、学習を通して身につけた力を確認するために、主体的に取り組むことができる。また、「読書」では、本の一部を紹介し、「続きはこちら」のコーナーで読書を促す工夫がされている。	
4	様々な学習場面や実生活に生かすことのできる国語の能力を育成するために、他教科、総合的な学習の時間及び特別活動との関連や実生活の場面への活用、探求的な活動の内容がどのように取り上げられているか。	言語活動教材の最後に、「つなぐ」が設けられているものもあり、「日常生活・学校生活・将来」と活用場面を具体的に分ける工夫がされている。実生活につなげるために、第3学年では、広告、取扱説明書、パンフレットなどの、実用的な文章を読んで生活に生かすという活動が設定されている。	

5	我が国の伝統的な言語文化や言葉の由来や変化等について理解を深め、尊重する態度を育てるとともに、他国を尊重し、国際理解や協調に寄与する態度を養うことができる教材や学習活動がどのように取り上げられているか。	古典の学習では、第1学年に「古典の世界」として、3年間で学ぶ古典作品が、中国の古典作品も含めた年表として掲載されている。また、各学年の巻末にまとめられている「学習を広げる」の「伝統的な言語文化」では、学習した教材と関連する内容が紹介されている。	
6	内容が系統的に構成され、学習を効果的に進めるために適切な配列であり、全体の分量及びその配分や表記が指導上適切であることや、表紙、目次、巻頭・巻末の資料、挿絵、写真、レイアウトその他使用上の便宜について、どのような特徴があるか。	表紙裏には詩の背景を含め4ページにわたり、風景写真が掲載されている。「学習の見通しをもとう」では、新学習指導要領の観点に沿った学習内容が分かりやすく表にまとめられている。また、教材の学習を進める上で、参考となる資料の二次元コードが、関連する箇所に載せられており、使用上の便宜が図れるように工夫がされている。	

総合所見	<p>教材の学習を進める上で、参考となる資料の二次元コードが、関連する箇所に載せられており、使用上の便宜が図れるようよく工夫がされている。基礎基本の定着を図るために、巻頭の「学習の見通しをもとう」では、各単元の教材ごとに新学習指導要領に示されている新しい観点に対応した「つきたい力」が生徒にもわかりやすく示されている。続く「思考の地図」は、生徒の主体的学びの手がかりとなる思考法がまとめられ、紹介されている。補充的な学習や発展的な学習を促すために、「読書」では、本の一部を紹介し、「続きはこちら」のコーナーで読書活動につながるよう大変よく工夫がされている。</p> <p>以上を総合的に判断して、採択地区内全体の使用にたいへん適していると考えられる。</p>
------	---

報 告 書

教 科	国語	種 目	書写
-----	----	-----	----

発行者名	東京書籍	教科書名	新しい書写 一・二・三年
------	------	------	--------------

観 点	特 記 す べ き 所 見	備 考	
1	<p>字形を整え、文字の大きさや配列を理解して楷書を書くこと、行書の基礎的な書き方等、基礎基本の確実な定着を図るために、教材や学習活動がどのように取り上げられているか。</p>	<p>筆の動きや角度をつかみやすいよう、絵で示したり写真を載せたりしている。各単元で学ぶ内容を明確にし、ねらいを重点化して文字を書くときの知識技能を系統的に示した「書写のかぎ」が示されている。単元間に学習内容を確認する「まとめ」や「書写テスト」が設定されている。筆使いなど動画で確認できる。</p>	
2	<p>目的に応じた書き方等、知識技能を活用し、自ら考え、判断し、表現する力を育む言語活動の内容や情報活用能力を育成する活動の内容がどのように取り上げられているか。</p>	<p>日常生活の中で、自ら考え、判断し、表現することができるように、基本単元の後に「生活に広げよう」という活用単元が配置されている。活用単元では、知識技能を活用するための手順を示し、話し合い活動が取り入れられている。</p>	
3	<p>生徒の主体的に学習に取り組む態度を養い、補足的な学習や発展的な学習、家庭での自主的な学習が促されるために、創意工夫がどのようになされているか。</p>	<p>巻頭の「書写で学ぶこと」では、自分の文字をよりよくしようという態度を養うために、書写学習の意義を示している。自ら進んで学ぶことができる単元で、「書写活用ブック」の該当ページが示されている。</p>	
4	<p>様々な学習活動や実生活に生かすことのできる書写の能力を育成するために、他教科、総合的な学習の時間及び特別活動との関連や実生活の様々な場面への活用、探求的な活動の内容がどのように取り上げられているか。</p>	<p>「行事の案内状」や「本のポップ」など、他教科等で生かされる内容を強調するため、マークが付されている。「職場訪問の手紙」や「防災訓練のパンフレット」など、キャリア教育や防災・安全教育など現代的な課題に対応した題材が示されている。</p>	

5	我が国の伝統的な文字文化について理解を深め、尊重する態度を育てるとともに、他国を尊重し、国際理解や協調に寄与する態度を養うことができる教材や学習活動がどのように取り上げられているか。	コラム「文字のいづみ」では、文字の歴史や手書き文字など伝統的なものから現代に生きるものまで、幅広く示されている。巻末には、日本と世界の文字文化について紹介されている。	
6	内容が系統的に構成され、学習を効果的に進めるために適切な配列であり、全体の分量及びその配分や表記が指導上適切であることや、表紙、目次、巻頭・巻末の資料、挿絵、写真、レイアウトその他使用上の便宜について、どのような特徴があるか。	学習内容がイラストや写真を用いて説明されており、理解しやすいようレイアウトが工夫されている。巻末に「書写活用ブック」があり、様々な書く場面で活用できる資料となっている。	

総合所見	<p>筆使いが動画で確認できるページが多く、毛筆の書き方をわかりやすく提示し、工夫している。「書写のかぎ」のコーナーでは書き方のポイントをおさえて、コンパクトにまとめている、学習活動に取り組みやすいようになっている。「見つけよう」「確かめよう」「生かそう」「振り返って話そう」という一連の学習活動の流れに沿って、主体的に、また対話的に学べるように工夫している。「文字」や「書くこと」に興味を持てるよう、巻末に「書写活用ブック」があり、工夫している。興味を引き、理解しやすいよう、学習内容、レイアウト、資料等が充実していて、適している。</p> <p>以上を総合的に判断して、採択地区内全体の使用にたいへん適していると考えられる。</p>
------	--

報 告 書

教 科	国語	種 目	書写
-----	----	-----	----

発行者名	三省堂	教科書名	現代の書写 一・二・三
------	-----	------	-------------

観 点	特 記 す べ き 所 見	備 考	
1	<p>字形を整え、文字の大きさや配列を理解して楷書を書くこと、行書の基礎的な書き方等、基礎基本の確実な定着を図るために、教材や学習活動がどのように取り上げられているか。</p>	<p>筆の動きをつかみやすいよう、穂先の色を変えて筆使いが示されている。学習内容の定着を図るために、「書いて身につけよう」という書き込みページが設定されている。基本的な内容を押さえやすくするために、書く際の姿勢や持ち方などが動画で見られるよう、二次元コードが付されている。</p>	
2	<p>目的に応じた書き方等、知識技能を活用し、自ら考え、判断し、表現する力を育む言語活動の内容や情報活用能力を育成する活動の内容がどのように取り上げられているか。</p>	<p>各学年に「やってみよう」という、今までに学習したことを活用して課題解決を行う単元が設定されている。「身につけよう、考えよう」という知識技能を活用して、自ら考える学習過程が示されている。</p>	
3	<p>生徒の主体的に学習に取り組む態度を養い、補充的な学習や発展的な学習、家庭での自主的な学習が促されるために、創意工夫がどのようになされているか。</p>	<p>自主的な学習を促すため、巻末で「書き方を学ぼう」が一覧でまとめられており、楷書と行書の特徴が分かるよう折り込みページで示されている。家庭学習で活用できる「書いて身につけよう」という書き込みページが設定されている。3年生では「篆刻」や「書の古典」など高等学校での学習と関連する内容が紹介されている。</p>	
4	<p>様々な学習活動や実生活に生かすことのできる書写の能力を育成するために、他教科、総合的な学習の時間及び特別活動との関連や実生活の様々な場面への活用、探求的な活動の内容がどのように取り上げられているか。</p>	<p>総合的な学習の時間との関連で、「やってみよう」ではグループ新聞や情報誌などの例が取り上げられている。資料編では「送り状」「のし袋」「時候の挨拶」など日常生活に活用できる例が紹介されている。</p>	

5	我が国の伝統的な文字文化について理解を深め、尊重する態度を育てるとともに、他国を尊重し、国際理解や協調に寄与する態度を養うことができる教材や学習活動がどのように取り上げられているか。	「文字文化の豊かさ」の単元では、文化の豊かさに触れ、効果的に文字を書くために、文字の役割や歴史、文化などが示されている。手書きの良さや職業観を養えるように、文字に関わる職業人のインタビューが紹介されている。	
6	内容が系統的に構成され、学習を効果的に進めるために適切な配列であり、全体の分量及びその配分や表記が指導上適切であることや、表紙、目次、巻頭・巻末の資料、挿絵、写真、レイアウトその他使用上の便宜について、どのような特徴があるか。	学年や活動内容によってページの色を変えたり統一したりするなど、レイアウトが工夫されている。資料編で、日常生活や他教科と関連させて活用できる内容がまとめられている。	

総合所見	<p>書く際の姿勢や持ち方などが動画で見られるよう、二次元コードが付されており、工夫されている。各学年に設定されている「やってみよう」では、「グループ新聞」や「情報誌」など、今までに学習したことを活用して課題解決を行う言語活動が示されている。資料編では「送り状」「のし袋」「時候の挨拶」など日常生活に活用できる例が紹介されている。文字文化について理解を深めるために、文字の役割や歴史、文化などが示されている。また、文字に関する職業人のインタビューが紹介されている。レイアウトでは、学年や活動内容によって色を変えたり、統一されたりするなど、ページごとに創意工夫されている。</p> <p>以上を総合的に判断して、選択地域内全体の使用に適していると考えられる。</p>
------	--

報 告 書

教 科	国語	種 目	書写
-----	----	-----	----

発行者名	教育出版	教科書名	中学書写
------	------	------	------

観 点		特 記 す べ き 所 見	備 考
1	字形を整え、文字の大きさや配列を理解して楷書を書くこと、行書の基礎的な書き方等、基礎基本の確実な定着を図るために、教材や学習活動がどのように取り上げられているか。	筆の動きをつかみやすいよう、穂先の色を変えて筆使いが示されている。基礎基本の定着のため、楷書の手本が多く示されている。書体の違いを明確におさえるため、楷書と行書が並べて示されている。各単元の学習内容を確認められるよう「振り返ろう」が設けられている。3年間の学習内容を確認し、振り返る「書写テスト」が設定されている。	
2	目的に応じた書き方等、知識技能を活用し、自ら考え、判断し、表現する力を育む言語活動の内容や情報活用能力を育成する活動の内容がどのように取り上げられているか。	学習したことを他の教科等で活用できるように、ノートの書き方が示されている。「コラム」では、自ら考え、判断し、表現する力を育むために、学習内容をどのような場面で生かせるかを話し合う活動が設けられている。	
3	生徒の主体的に学習に取り組む態度を養い、補充的な学習や発展的な学習、家庭での自主的な学習が促されるために、創意工夫がどのようになされているか。	主体的に学習に取り組むために、目標、考えよう、生かそう、振り返ろうという「学習の進め方」が示されている。写真やふき出しを用いて、主体的な学習を促すよう工夫している。補充的な学習が促されるよう、巻末に「補充教材集」が示されている。	
4	様々な学習活動や実生活に生かすことのできる書写の能力を育成するために、他教科、総合的な学習の時間及び特別活動との関連や実生活の様々な場面への活用、探求的な活動の内容がどのように取り上げられているか。	「学習を生かして書く」では、レポートの書き方や掲示物に書く活動を通して、国語や理科、総合的な学習の時間など、幅広い教科に関連した内容を取り上げている。	

5	我が国の伝統的な文字文化について理解を深め、尊重する態度を育てるとともに、他国を尊重し、国際理解や協調に寄与する態度を養うことができる教材や学習活動がどのように取り上げられているか。	各單元にあるコラムでは、用具の知識や日常生活への関連、季節の行事などを扱い、多角的な視点での文字資料が多く掲載されている。国際交流の観点から、エアメールの基本的な書き方が掲載されている。	
6	内容が系統的に構成され、学習を効果的に進めるために適切な配列であり、全体の分量及びその配分や表記が指導上適切であることや、表紙、目次、巻頭・巻末の資料、挿絵、写真、レイアウトその他使用上の便宜について、どのような特徴があるか。	姿勢と用具の使い方が写真を用いて分かりやすく示されている。行書の特徴が明確で、難易度が適切な文字が手本として選択されている。文字の形や配列を意識して書く活動ができるよう、なぞり書きや中心線が示されている。写真が多く載せられており、視覚的にも工夫されている。	

総合所見	<p>基礎基本の定着のため、楷書の手本が多く示されている。また、書体の違いを明確に押さえるため、楷書と行書が並べて示されており、工夫されている。掲載されている「書写テスト」では、3年間の学習内容を確認し、振り返りができるような内容となっている。「学習の進め方」が、「目標」「考えよう」「生かそう」「振り返ろう」と、項目立てて示されており、主体的に学習に取り組めるよう工夫されている。行書の特徴が分かりやすい文字が手本として選択されている。各單元にあるコラムでは、用具の知識や日常生活への関連、季節の行事など、多角的な視点での写真や資料が多く掲載されており、視覚的にも工夫されている。</p> <p>以上を総合的に判断して、採択地区内全体の使用に適していると考えられる。</p>
------	--

報 告 書

教 科	国語	種 目	書写
-----	----	-----	----

発行者名	光村図書	教科書名	中学書写 一・二・三年
------	------	------	-------------

観 点	特 記 す べ き 所 見	備 考
1	<p>字形を整え、文字の大きさや配列を理解して楷書を書くこと、行書の基礎的な書き方等、基礎基本の確実な定着を図るために、教材や学習活動がどのように取り上げられているか。</p>	<p>筆の動きをつかみやすいよう、穂先の色を変えて筆使いが示されている。学習のポイントが一目で分かる「学習の窓」が設定されている。基礎的な書き方が身につけやすいよう、行書の特徴について分かりやすく整理されている。筆使いや準備片付けの手順など動画で見られるように二次元コードが付されている。</p>
2	<p>目的に応じた書き方等、知識技能を活用し、自ら考え、判断し、表現する力を育む言語活動の内容や情報活用能力を育成する活動の内容がどのように取り上げられているか。</p>	<p>自ら考え、判断し、表現できるよう、各単元の構成は、考えよう、確かめよう、生かそうの3つのパートで構成されている。話し合う活動が設定されており、対話のモデルがイラストを用いて示されている。</p>
3	<p>生徒の主体的に学習に取り組む態度を養い、補充的な学習や発展的な学習、家庭での自主的な学習が促されるために、創意工夫がどのようになされているか。</p>	<p>見通しをもって活動に取り組めるよう、「学習の進め方」が写真を用いて示されている。家庭での学習に活用できるよう、書写ブックが付属されている。筆使いを確認しながら学習に取り組めるよう、二次元コードが付されている。高等学校での学習とのつながりを意識した「発展」の活動が設定されている。</p>
4	<p>様々な学習活動や実生活に生かすことのできる書写の能力を育成するために、他教科、総合的な学習の時間及び特別活動との関連や実生活の様々な場面への活用、探求的な活動の内容がどのように取り上げられているか。</p>	<p>実生活に生かすことができるよう、「日常に役立つ書式」を学習する単元がある。国語科との関連を図るために、国語科で扱われる教材が設定されている。特別活動との関連を図るために、学校行事で活用できる立て看板等の作成例が示されている。</p>

5	我が国の伝統的な文字文化について理解を深め、尊重する態度を育てるとともに、他国を尊重し、国際理解や協調に寄与する態度を養うことができる教材や学習活動がどのように取り上げられているか。	「コラム」では、文字や文学作品の歴史など、我が国の文化について取り上げている。身の回りにある文字文化に触れ、書体の多様さを知り、興味をもつことができるよう「全国文字マップ」が取り上げられている。UD 書体を紹介することによって、漢字や平仮名だけでなく、アルファベットのデザインにも触れている。	
6	内容が系統的に構成され、学習を効果的に進めるために適切な配列であり、全体の分量及びその配分や表記が指導上適切であることや、表紙、目次、巻頭・巻末の資料、挿絵、写真、レイアウトその他使用上の便宜について、どのような特徴があるか。	順序立てて指導・学習しやすいよう、活動内容が項目立てて書かれている。家庭学習に使用できるよう、書写ブックを取り外すことができる。文量が適切で、重要なポイントを押さえやすい。視覚的にも分かりやすいよう、吹き出しに豆知識が書かれている。	

総合所見	<p>筆使いや準備片付けの手順など動画で見られるように二次元コードが付されており、基礎基本の確実な定着のために、たいへん良く工夫されている。自ら考え、判断し、表現できるように、各単元の構成は、「考えよう」「確かめよう」「生かそう」の3つのパートで構成されており、良く工夫されている。取り外しが可能な書写ブックが付属されており、家庭での学習や補充的な学習に取り入れることができ良い。「全国文字マップ」では、身の回りにある文字文化に触れ、書体の多様さを知り、興味をもつことができるようになっている。全体として内容が精選され、順序立てて指導・学習しやすいよう、活動内容が項目立てて書かれており、たいへんよく創意工夫されている。</p> <p>以上を総合的に判断して、採択地区内全体の使用に極めて適していると考えられる。</p>
------	--

報 告 書

教 科	社会	種 目	地理的分野
-----	----	-----	-------

発行者名	東京書籍	教科書名	新しい社会 地理
------	------	------	----------

観 点		特 記 す べ き 所 見	備 考
1	地理的事象に関する基礎基本の確実な定着を図るために、教材や学習活動がどのように取り上げられているか。	編や章、節の終末に用語の意味の説明や文章の空欄補充などを行う「基礎・基本のまとめ」が示されている。基本技能を学ぶ「スキル・アップ」を教科書の前半に集中的に配置している。	
2	地理的事象について、知識技能を活用し、自ら考え、判断し、表現する力を育む言語活動の内容や、情報活用能力を育成する活動の内容がどのように取り上げられているか。	単元の終末に、学習内容をグループの話し合いをもとに図表にまとめ、それをもとに自分の意見をつくる「みんなでチャレンジ」が設定されている。表現する活動「まとめる」がある。	
3	生徒の主体的に学習に取り組む態度を養い、補充的な学習や発展的な学習、家庭での自主的な学習が促される教材や学習活動がどのように取り上げられているか。	コラムの「地理にアクセス」や単元末の「もっと地理」で関連する話題や発展的な内容が示されている。「見方・考え方」のマークで学習を深めるテーマが示されている。	
4	他分野、他教科、総合的な学習の時間及び特別活動との関連や実生活の場面への活用、探求的な活動の内容がどのように取り上げられているか。	他分野や他教科との関連するページがインターネットで確認できるように分野関連マークや教科関連マークが示されている。編、章や節をつらぬく「探求課題」が設けられている。	

5	我が国や郷土の伝統・文化について理解を深め、尊重する態度を育てるとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことができる教材や学習活動がどのように取り上げられているか。	「持続可能な社会の実現にむけて」で、世界の人々が多様な生活や文化を理解し合い互いに尊重することの大切さが記されている。北方領土、竹島、尖閣諸島は「日本固有の領土」と記されている。	
6	内容が系統的に構成され、学習を効果的に進めるために適切な配列であり、全体の分量及びその配分や表記が指導上適切であることや、目次、索引、凡例、諸表その他使用上の便宜について、どのような特徴があるか。	各ページ本文の文章量は15～17行程度である。文字も細めで、重要語句は別のフォント(ゴシック太文字)になっている。本文文章の漢字にはルビが付いている。	

総合所見	<p>グラフや地図の読み取り方、作成の仕方などを示した「スキルアップ」が教科書の前半に集中していて、地理的な技能、考え方を獲得することにおいてたいへん優れている。また、ページの随所に学習を深める「見方・考え方」が設定されていることで、生徒が探求的な学習に取り組めるよう工夫されている。コラム「地理にアクセス」では関連する話題やより発展的な内容が示され、単元ごとの特設ページ「もっと地理」などで発展的な内容が示されるなど工夫されている。</p> <p>以上を総合的に判断して、採択地区内全体の使用にたいへん適している。</p>
------	--

報 告 書

教 科	社会	種 目	地理的分野
-----	----	-----	-------

発行者名	教育出版	教科書名	中学社会 地理 地域にまなぶ
------	------	------	-------------------

観 点		特 記 す べ き 所 見	備 考
1	地理的事象に関する基礎基本の確実な定着を図るために、教材や学習活動がどのように取り上げられているか。	「世界の諸地域」、「日本の諸地域」の学習では単元末に各州・各地方の地形を確認させるようにしている。巻頭に地理の基礎的技能を学ぶ「地理にアプローチ」が設定されている。	
2	地理的事象について、知識技能を活用し、自ら考え、判断し、表現する力を育む言語活動の内容や、情報活用能力を育成する活動の内容がどのように取り上げられているか。	見開きページに学習内容を表現する活動を示した「表現！」と「確認！」が設定されている。単元末に学習内容を文章にまとめる「表現しよう」が設定されている。	
3	生徒の主體的に学習に取り組む態度を養い、補充的な学習や発展的な学習、家庭での自主的な学習が促される教材や学習活動がどのように取り上げられているか。	導入資料の読み取りのヒントが「LOOK!」で示されている。見開きページが、導入資料→学習課題の提示→「確認!」「表現!」でまとめる構成である。「地理の窓」で発展的な内容が示されている。	
4	他分野、他教科、総合的な学習の時間及び特別活動との関連や実生活の場面への活用、探求的な活動の内容がどのように取り上げられているか。	巻頭に「なぜ地理を学ぶのか?」が明記されている。小学校の学習を振り返るページが設けられている。現代の世界の話題、日本の課題から学習を深める特設ページが設けられている。	

5	我が国や郷土の伝統・文化について理解を深め、尊重する態度を育てるとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことができる教材や学習活動がどのように取り上げられているか。	北方領土、竹島、尖閣諸島は「日本固有の領土」と記されており、歴史の説明もある。巻頭の「さあ地理の学習をはじめよう」では、国際問題解決の視点から学ぶ意義が示されている。	
6	内容が系統的に構成され、学習を効果的に進めるために適切な配列であり、全体の分量及びその配分や表記が指導上適切であることや、目次、索引、凡例、諸表その他使用上の便宜について、どのような特徴があるか。	本文の文章量は15～17行程度である。本文文章の漢字にはルビが付いている。文章の重要語句には別フォント(ゴシック太文字)になっている。図版は全ページの彩度が抑えられている。	

総合所見	<p>「世界の諸地域」、「日本の諸地域」の学習では単元末に各州・各地方の地形を確認させたり文章の空欄補充をさせたりする「学習のまとめと表現」が設定されており、基礎、基本の確実な定着が図れるよう工夫されている。見開きページが、導入資料→学習課題の提示→「確認!」「表現!」と構成されており、生徒が主体的に学習に取り組める構成になっている。折り込みのページやコラム「地理の窓」では、発展的な内容が示されているなどの点が工夫されている。</p> <p>以上を総合的に判断して、採択地区内全体の使用に適している。</p>
------	--

報 告 書

教 科	社会	種 目	地理的分野
-----	----	-----	-------

発行者名	帝国書院	教科書名	中学生の地理 世界の姿と日本の国土
------	------	------	----------------------

観 点		特 記 す べ き 所 見	備 考
1	地理的事象に関する基礎基本の確実な定着を図るために、教材や学習活動がどのように取り上げられているか。	各単元の終末に語句の確認や地図や文章の空欄補充を行う「学習を振り返ろう」が設けられている。地理の基礎的技能を学ぶ「技能をみがく」のコーナーが設けられている。	
2	地理的事象について、知識技能を活用し、自ら考え、判断し、表現する力を育む言語活動の内容や、情報活用能力を育成する活動の内容がどのように取り上げられているか。	世界や日本の諸地域の学習では、各単元末に「私たちとの関わり」という小見出しを設けており、学習内容をより身近なものとして探求できるような活動が設定されている。	
3	生徒の主体的に学習に取り組む態度を養い、補充的な学習や発展的な学習、家庭での自主的な学習が促される教材や学習活動がどのように取り上げられているか。	「未来に向けて」でSDGsに関連したテーマを取り上げている。章の始めに「序説」や「章のねらい」が明記されている。「地理プラス」では学習内容に関連した事例が取り上げられている。	
4	他分野、他教科、総合的な学習の時間及び特別活動との関連や実生活の場面への活用、探求的な活動の内容がどのように取り上げられているか。	節の末尾に学習を振り返るページがあり、節の問いについて自分の考えを確かめたり、説明したりできるなどのまとめの学習活動が設定されている。既習事項や他分野との関連が示されている。	

5	我が国や郷土の伝統・文化について理解を深め、尊重する態度を育てるとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことができる教材や学習活動がどのように取り上げられているか。	「地域のより良い発展を目指して」で、持続可能な社会を実現するための活動が写真付きで紹介されている。北方領土、竹島、尖閣諸島は「日本固有の領土」と記されており、歴史や資源の説明もある。	
6	内容が系統的に構成され、学習を効果的に進めるために適切な配列であり、全体の分量及びその配分や表記が指導上適切であることや、目次、索引、凡例、諸表その他使用上の便宜について、どのような特徴があるか。	巻頭で1時間ごとの学習の流れが明示されている。見開きページが、導入資料→学習課題→本文→内容を振り返る課題という流れで構成されている。本文の文章量の行数は17～20行程度である。	

総合所見	<p>巻頭で1時間ごとの学習の流れが明示されており、見開きページが、導入資料→学習課題→本文→内容を振り返る課題という流れで構成されているため、生徒が見通しをもって主体的に学習する点でたいへん優れている。各単元の終末に語句の確認や地図や文章の空欄補充を行う「学習を振り返ろう」が設定されており基礎基本の定着を図ると共に、「節の問い」では自分の考えを確かめたり説明したりできるまとめの学習活動が設定されており、生徒がより探求的な学習をしていくのに極めて適している。</p> <p>以上を総合的に判断して、採択地区内全体の使用に極めて適している。</p>
------	---

報 告 書

教 科	社会	種 目	地理的分野
-----	----	-----	-------

発行者名	日本文教出版	教科書名	中学社会 地理的分野
------	--------	------	------------

観 点		特 記 す べ き 所 見	備 考
1	地理的事象に関する基礎基本の確実な定着を図るために、教材や学習活動がどのように取り上げられているか。	<p>地図や文章の空欄補充などができるように、章末に「振り返ろう」、節末に「学習のまとめ」が設定されている。写真を用いて振り返りができるようになっている単元もある。</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p>	
2	地理的事象について、知識技能を活用し、自ら考え、判断し、表現する力を育む言語活動の内容や、情報活用能力を育成する活動の内容がどのように取り上げられているか。	<p>見開きページに学習内容をまとめて自分の言葉で説明する「確認」が設けられている。単元のまとめにはグループで意見交換する「アクティビティ」が設けられている。</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p>	
3	生徒の主体的に学習に取り組む態度を養い、補完的な学習や発展的な学習、家庭での自主的な学習が促される教材や学習活動がどのように取り上げられているか。	<p>見開きページに学習課題に対応した「見方・考え方」の例が示されている。「深めよう」ではまとめたり、身近な話題とリンクさせたり、理由を説明したりするなどの学習を深める課題が設定されている。</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p>	
4	他分野、他教科、総合的な学習の時間及び特別活動との関連や実生活の場面への活用、探求的な活動の内容がどのように取り上げられているか。	<p>「チャレンジ地理」では、具体的な課題について、学習を深める活動や、学習内容の理解のため「自由研究」が設定されており、探求的な学習活動をすることができる。</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p>	

5	我が国や郷土の伝統・文化について理解を深め、尊重する態度を育てるとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことができる教材や学習活動がどのように取り上げられているか。	「地域のより良い発展を目指して」で、持続可能な社会を実現するための活動が写真付きで紹介されている。北方領土、竹島、尖閣諸島は「日本固有の領土」と記されており、歴史や資源の説明もある。	
6	内容が系統的に構成され、学習を効果的に進めるために適切な配列であり、全体の分量及びその配分や表記が指導上適切であることや、目次、索引、凡例、諸表その他使用上の便宜について、どのような特徴があるか。	全体的なページの色使いが視覚的に抑えられている。各ページの行数は15～17行程度で、行間が比較的開いている。巻末に用語解説が4ページ分記載されている。	

総合所見	<p>「トライ」では学習内容を深める作業が、「深めよう」では課題の理解を深める問いが示されるなどの課題が設定されており、学習を深めることができるよう工夫されている。また、特設ページの「チャレンジ地理」では、具体的な課題について調べたり、クラスで議論したりする活動が設定されており、生徒が主体的に探求的な活動に取り組むことができるよう工夫されている。全体的なページの色使いが視覚的に抑えるよう工夫されている。グループで意見交換する「アクティビティ」を設け、表現する力をはぐくむ言語活動ができるよう工夫されている。</p> <p>以上を総合的に判断して、採択地区内全体の使用に適している。</p>
------	--

報 告 書

教 科	社会	種 目	歴史的分野
-----	----	-----	-------

発行者名	東京書籍	教科書名	新しい社会 歴史
------	------	------	----------

観 点		特 記 す べ き 所 見	備 考
1	歴史的事象に関する基礎基本の確実な定着を図るために、教材や学習活動がどのように取り上げられているか。	<p>..... 毎時間ごとの「学習課題」を明記し、「チェック」で基本的な学習内容を本文から抜き出す活動が設定されている。章末の「学習をふり返ろう」で、空欄や年表に記入する活動がある。</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p>	
2	歴史的事象について、知識技能を活用し、自ら考え、判断し、表現する力を育む言語活動の内容や、情報活用能力を育成する活動の内容がどのように取り上げられているか。	<p>..... 「トライ」では記述する活動、「みんなでチャレンジ」では話し合い活動等ができるようになっている。章末には「まとめの活動」として様々な思考ツールを活用し、時代の特色を記述する活動が設定されている。</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p>	
3	生徒の主体的に学習に取り組む態度を養い、補充的な学習や発展的な学習、家庭での自主的な学習が促される教材や学習活動がどのように取り上げられているか。	<p>..... 「歴史にアクセス」「資料から発見!」「もっと歴史」等で、本文の学習内容が詳しく説明されたり、関連する内容が示されたりしている。</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p>	
4	他分野、他教科、総合的な学習の時間および特別活動との関連や実生活の場面への活用、探求的な活動の内容がどのように取り上げられているか。	<p>..... 「地域の歴史を調べよう」では、探求的な学習の例が示されている。現代的な課題への取り組みとしてSDGsについて取り上げている。</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p>	

5	我が国や郷土の伝統・文化について理解を深め、尊重する態度を育てるとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことができる教材や学習活動がどのように取り上げられているか。	領土問題については本文中に現在の日本の領土を示す地図とともに、歴史的背景を掲載し日本固有の領土と記されている。巻頭2ページで日本の国宝・重要文化財の特集がある。	
6	内容が系統的に構成され、学習を効果的に進めるために適切な配列であり、全体の分量およびその配分や表記が指導上適切であることや、目次、索引、凡例、諸表その他使用上の便宜について、どのような特徴があるか。	古代に44ページ、近現代に140ページ、世界史的内容に44ページが割り当てられている。各章ごとに、「探求のステップ」として探求課題の取り組み方法について段階的に示し、時代を大観する活動につなげている。	

総合所見	<p>「トライ」ではキーワードを使用して記述する活動、「みんなでチャレンジ」では話し合い活動などができるようになっている。また、章末では「まとめの活動」で様々な思考ツールを活用して学習内容を整理し時代の特色を記述する活動を行うなど、自ら考え表現する力を育み言語活動を充実することができるよう工夫されている。章末の「学習を振り返ろう」のなかに「探求のステップ」を設け、各章の課題を段階的に解決することができるよう工夫されている。</p> <p>以上を総合的に判断して、採択地区内全体の使用にたいへん適している。</p>
------	--

報告書

教科	社会	種目	歴史的分野
----	----	----	-------

発行者名	教育出版	教科書名	中学社会 歴史 未来をひらく
------	------	------	----------------

観	点	特記すべき所見	備考
1	歴史的事象に関する基礎基本の確実な定着を図るために、教材や学習活動がどのように取り上げられているか。	<p>..... 毎時間ごとの「学習課題」が示され、「確認」で学習活動の焦点化ができるように構成されている。写真や資料の吹き出しには活用のヒントが示されている。</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p>	
2	歴史的事象について、知識技能を活用し、自ら考え、判断し、表現する力を育む言語活動の内容や、情報活用能力を育成する活動の内容がどのように取り上げられているか。	<p>..... 各章末の「学習のまとめと表現」で時代の変化に注目して説明する活動や、新聞や関係図を作成して時代の特色を記述する活動が設定されている。</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p>	
3	生徒の主體的に学習に取り組む態度を養い、補充的な学習や発展的な学習、家庭での自主的な学習が促される教材や学習活動がどのように取り上げられているか。	<p>..... その時代に関連する発展的な資料が掲載され、歴史学習を掘り下げていく内容が示されている。「歴史の窓」では興味や関心をさらに広げる話題が掲載されている。</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p>	
4	他分野、他教科、総合的な学習の時間および特別活動との関連や実生活の場面への活用、探求的な活動の内容がどのように取り上げられているか。	<p>..... 各章の「身近な地域の歴史を調べよう」で探求的な学習につながるテーマが示されるとともに、欄外に他分野との関連も示されている。巻末にSDGsや現代社会の課題が取り上げられている。</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p>	

5	我が国や郷土の伝統・文化について理解を深め、尊重する態度を育てるとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことができる教材や学習活動がどのように取り上げられているか。	領土問題については本文中に尖閣諸島と竹島についての記述がある。特設ページで地図や写真、歴史的背景を掲載し日本固有の領土であると記されている。「平和と共生を願う人々」でオリンピック・パラリンピックの始まりが紹介されている。	
6	内容が系統的に構成され、学習を効果的に進めるために適切な配列であり、全体の分量およびその配分や表記が指導上適切であることや、目次、索引、凡例、諸表その他使用上の便宜について、どのような特徴があるか。	古代に42ページ、近現代に121ページ、世界史的内容に54ページが割り当てられている。各章の扉のページで、学習のイメージがつかめるよう、先生や生徒との会話が掲載されている。	

総合所見	<p>各章末の「学習のまとめと表現」で時代の変化に注目して説明する活動や、新聞や関係図を作成して時代の特色を記述する活動が設定されており、思考力や表現力を育む工夫がなされている。日本で開催が予定されるオリンピック・パラリンピックを取り上げることで、「平和と共生」について身近なこととして考えさせる工夫がなされている。「歴史を探ろう」では、特設ページを設けて歴史学習を掘り下げて行えるよう工夫されている。</p> <p>以上を総合的に判断して、採択地区内全体の使用に適している。</p>
------	--

報 告 書

教 科	社会	種 目	歴史的分野
-----	----	-----	-------

発行者名	帝国書院	教科書名	社会科 中学生の歴史 日本の歩みと世界の動き
------	------	------	---------------------------

観 点		特 記 す べ き 所 見	備 考
1	歴史的事象に関する基礎基本の確実な定着を図るために、教材や学習活動がどのように取り上げられているか。	毎時間ごとの「学習課題」を明記し、「確認しよう」で基本的な学習内容を本文から抜き出す活動が設定されている。章末の「学んだことを確かめよう」では、年表で整理する活動がある。	
2	歴史的事象について、知識技能を活用し、自ら考え、判断し、表現する力を育む言語活動の内容や、情報活用能力を育成する活動の内容がどのように取り上げられているか。	毎時間ごとの「説明しよう」では、学習課題をふり返り、記述する活動が設定されている。各章末には様々な方法で思考を整理して、時代の特色を説明する活動が設定されている。	
3	生徒の主体的に学習に取り組む態度を養い、補充的な学習や発展的な学習、家庭での自主的な学習が促される教材や学習活動がどのように取り上げられているか。	異なる意見や立場から考察することができるように「多面的・多角的に考えてみよう」の特設ページが設定されている。本文欄外に関連するできごとや人物についての補足がある。	
4	他分野、他教科、総合的な学習の時間および特別活動との関連や実生活の場面への活用、探求的な活動の内容がどのように取り上げられているか。	コラム「未来に向けて」のうち、SDGsに関連するものにはマークがついている。本文の学習を深めるために欄外に他分野との関連が示されている。	

5	我が国や郷土の伝統・文化について理解を深め、尊重する態度を育てるとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことができる教材や学習活動がどのように取り上げられているか。	領土問題については、本文中と「歴史を探ろう」で地図や写真で、歴史的背景を掲載し日本固有の領土であると記されている。巻頭2ページで日本各地の伝統行事と祭りの特集がある。	
6	内容が系統的に構成され、学習を効果的に進めるために適切な配列であり、全体の分量およびその配分や表記が指導上適切であることや、目次、索引、凡例、諸表その他使用上の便宜について、どのような特徴があるか。	古代に44ページ、近現代に138ページ、世界史的内容に32ページが割り当てられている。各章のはじめに、「タイムトラベル」があり、導入で時代を大きく捉え、章末のまとめで時代の特色をふり返る活動を設定している。	

総合所見	<p>異なる意見や立場から考察する「多面的・多角的に考えてみよう」のページを設定することによって、生徒が主体的に学習に取り組むことができるように工夫している。本文欄外には関連するできごとや人物についての補足があり、生徒の関心を深め自主的な学習を促すことに適している。單元ごとの「説明しよう」で、学習課題を振り返り記述する活動が設定され、章末には思考を整理して時代の特色を説明する活動を設定するなど、自ら考え表現する力を育む言語活動に取り組む工夫がされている。</p> <p>以上を総合的に判断して、採択地区内全体の使用に適している。</p>
------	--

報 告 書

教 科	社会	種 目	歴史的分野
-----	----	-----	-------

発行者名	山川出版	教科書名	中学歴史 日本と世界
------	------	------	------------

観 点	特 記 す べ き 所 見	備 考
1	<p>歴史的事象に関する基礎基本の確実な定着を図るために、教材や学習活動がどのように取り上げられているか。</p> <p>..... 毎時間ごとの「学習課題」が明記されている。本文中の重要語句や人物についての解説が詳細に記載されている。写真や資料に読み解くヒントを与えながら、考えさせる課題が示されている。</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p>	
2	<p>歴史的事象について、知識技能を活用し、自ら考え、判断し、表現する力を育む言語活動の内容や、情報活用能力を育成する活動の内容がどのように取り上げられているか。</p> <p>..... 各章末に時代ごとの「まとめ」の活動があり、各節の学習内容を表で整理したり、考えや理由を説明したり、記述したりできるように設定されている。</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p>	
3	<p>生徒の主体的に学習に取り組む態度を養い、補充的な学習や発展的な学習、家庭での自主的な学習が促される教材や学習活動がどのように取り上げられているか。</p> <p>..... 「コラム」や「人物」が設定され、事象や人物について、より詳しく記述されている。「歴史へのアプローチ」では多面的・多角的に捉えることができるような資料が掲載されている。</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p>	
4	<p>他分野、他教科、総合的な学習の時間および特別活動との関連や実生活の場面への活用、探求的な活動の内容がどのように取り上げられているか。</p> <p>..... 「地域へのアプローチ」で各時代に関連する地域を具体例として、地域を通じた学習が示されている。「歴史を考えよう」では各時代に関連したテーマで、探求的な学習につながる資料が掲載されている。</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p>	

5	我が国や郷土の伝統・文化について理解を深め、尊重する態度を育てるとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことができる教材や学習活動がどのように取り上げられているか。	領土問題については、特設ページで「日本の領土の変遷」が掲載され、日本の国境の歴史的背景について記載されている。国際貢献と平和外交について緒方貞子が紹介されている。	
6	内容が系統的に構成され、学習を効果的に進めるために適切な配列であり、全体の分量およびその配分や表記が指導上適切であることや、目次、索引、凡例、諸表その他使用上の便宜について、どのような特徴があるか。	古代に48ページ、近現代に130ページ、世界史的な内容に52ページが割り当てられている。各章のはじめに、日本と世界を並行させた年表があり、世界的な視点に立って日本と世界の関わりを捉えることができるように、イラストを掲載している。	

総合所見	<p>掲載されている知識量が豊富で重要語句や人物についての解説が充実している。各章のはじめに世界と日本を並行させた年表があり、相互の関連性をわかりやすくする工夫が見られる。世界的な視点に立って日本と世界の関わりを捉えるイラストによって学習を効果的に進めることができる。「コラム」や「人物」のコーナーでは事象や人物についてより詳しく記述し、発展的な学習に取り組めるよう工夫されている。「歴史へのアプローチ」では、特設ページを設け多面的・多角的に考えることができるよう工夫されている。</p> <p>以上を総合的に判断して、採択地区内全体の使用に適している。</p>
------	---

報 告 書

教 科	社会	種 目	歴史的分野
-----	----	-----	-------

発行者名	日本文教出版	教科書名	中学社会 歴史的分野
------	--------	------	------------

観 点		特 記 す べ き 所 見	備 考
1	歴史的事象に関する基礎基本の確実な定着を図るために、教材や学習活動がどのように取り上げられているか。	<p>..... 毎時間ごとの「学習課題」解決の手がかりとして「見方・考え方」が示されている。「深めよう」で基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着を図り、理解を深める活動が設定されている。</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p>	
2	歴史的事象について、知識技能を活用し、自ら考え、判断し、表現する力を育む言語活動の内容や、情報活用能力を育成する活動の内容がどのように取り上げられているか。	<p>..... 各編末の「学習の整理と活用」で地図や年表をもとに説明したり、「アクティビティ」で6つのテーマについて学習内容をまとめ、時代の特色を記述したりする活動などが設定されている。</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p>	
3	生徒の主体的に学習に取り組む態度を養い、補充的な学習や発展的な学習、家庭での自主的な学習が促される教材や学習活動がどのように取り上げられているか。	<p>..... 発展的な学習内容として多面的・多角的に考えることができるよう、その時代に関連したテーマで構成される「チャレンジ歴史」が設定されている。</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p>	
4	他分野、他教科、総合的な学習の時間および特別活動との関連や実生活の場面への活用、探求的な活動の内容がどのように取り上げられているか。	<p>..... 『歴史との対話』を未来に活かす』では、歴史学習のまとめとして、現代の課題について歴史をふまえて考える学習が設定されている。SDGs のモデル都市として北九州市が紹介されている。</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p>	

5	我が国や郷土の伝統・文化について理解を深め、尊重する態度を育てるとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことができる教材や学習活動がどのように取り上げられているか。	領土問題については、本文中に尖閣諸島と竹島についての記述がある。「歴史を掘り下げる」では地図や写真、歴史的背景を掲載し、日本固有の領土を明記している。「先人に学ぶ」「課題例」で伝統・文化や国際平和について記述されている。	
6	内容が系統的に構成され、学習を効果的に進めるために適切な配列であり、全体の分量およびその配分や表記が指導上適切であることや、目次、索引、凡例、諸表その他使用上の便宜について、どのような特徴があるか。	古代に50ページ、近現代に140ページ、世界史的内容に31ページが割り当てられている。各編のはじめに、世界史的な地図と年表を掲載した「地図で見る世界の動き」が配置されている。	

総合所見	<p>小單元ごとに導入や最後にまとめを設定し学習に見通しを立てることができる工夫がされている。各編末の「アクティビティ」で各時代の特色にせまり、時代の特色を記述する活動を設定するなど、自ら考え、判断し、表現する力を育む活動に大変優れている。毎時間ごとに「深めよう」で基礎・基本の知識・技能の定着を図る工夫がなされている。「チャレンジ歴史」で多面的・多角的に考えることができる資料が豊富である。</p> <p>以上を総合的に判断して、採択地区内全体の使用に極めて適している。</p>
------	--

報 告 書

教 科	社会	種 目	歴史的分野
-----	----	-----	-------

発行者名	育鵬社	教科書名	〔最新〕新しい日本の歴史
------	-----	------	--------------

観 点		特 記 す べ き 所 見	備 考
1	歴史的事象に関する基礎基本の確実な定着を図るために、教材や学習活動がどのように取り上げられているか。	<p>「鳥の目で見ると」で時代の主なできごとなどを大観するとともに、「虫の目で見ると」で資料を細部まで読み取る学習が設定されている。各章末に年表や地図で整理する活動がある。</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p>	
2	歴史的事象について、知識技能を活用し、自ら考え、判断し、表現する力を育む言語活動の内容や、情報活用能力を育成する活動の内容がどのように取り上げられているか。	<p>「歴史のターニングポイント」で時代ごとの題材についてクラスで議論する活動が設定されている。「『私の歴史博物館』をデザインしてみよう」で各時代の特色を捉える学習活動がある。</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p>	
3	生徒の主体的に学習に取り組む態度を養い、補充的な学習や発展的な学習、家庭での自主的な学習が促される教材や学習活動がどのように取り上げられているか。	<p>「歴史ズームイン」や「このころ世界は」、「なでしこ日本史」で発展的な学習につながる資料や人物が掲載されている。補充的な学習として「歴史ビュー」「人物クローズアップ」がある。</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p>	
4	他分野、他教科、総合的な学習の時間および特別活動との関連や実生活の場面への活用、探求的な活動の内容がどのように取り上げられているか。	<p>「歴史ワクワク調査隊6つの心得」で調べ方や調査の具体例が示されている。巻末の「歴史学習のまとめ」で新聞作成やできごと、重要人物を通じてまとめる活動が設定されている。</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p>	

5	我が国や郷土の伝統・文化について理解を深め、尊重する態度を育てるとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことができる教材や学習活動がどのように取り上げられているか。	領土問題については、本文中と「歴史ズームイン」で古地図や年表で、歴史的背景を掲載し、日本固有の領土であると記され、北方領土及び竹島は不法占拠であると記載されている。	
6	内容が系統的に構成され、学習を効果的に進めるために適切な配列であり、全体の分量およびその配分や表記が指導上適切であることや、目次、索引、凡例、諸表その他使用上の便宜について、どのような特徴があるか。	古代に49ページ、近現代に135ページ、世界史的内容に26ページが割り当てられている。各章のはじめに、「海洋国家日本の歩み」として、時代を象徴する海上交通が取り上げられている。	

総合所見	<p>「鳥の目で見ると」で時代の主なできごとを大観させ、「虫の目で見ると」で資料を細部まで読み取らせる学習が設定されていることで、関心をもって学習に取り組む、基礎基本の定着を図るきっかけをもたせることに適している。「歴史のターニングポイント」でクラスで議論する活動を取り入れることで、生徒の主体的な学習を促している。巻末の「歴史学習のまとめ」では、新聞作成やできごと、重要人物を通じてまとめる活動を通して探求的な取り組みが行えるよう工夫されている。</p> <p>以上を総合的に判断して、採択地区内全体の使用に適している。</p>
------	---

報 告 書

教 科	社会	種 目	公民的分野
-----	----	-----	-------

発行者名	東京書籍	教科書名	新しい社会 公民
------	------	------	----------

観 点		特 記 す べ き 所 見	備 考
1	社会的事象に関する基礎基本の確実な定着を図るために、教材や学習活動がどのように取り上げられているか。	見開き左上段に、学習課題が示されている。「集める」「読み取る」などの基礎的・基本的な技能を身につけるための「スキルアップ」のコーナーが設けられている。	
2	社会的事象について、知識技能を活用し、自ら考え、判断し、表現する力を育む言語活動の内容や、情報活用能力を育成する活動の内容がどのように取り上げられているか。	各ページの最後にある「チェック」における基礎的な内容を踏まえ、学習課題に対するまとめを行う「トライ」が設定されている。「みんなでチャレンジ」では、対話的な学習が示されている。	
3	生徒の主体的に学習に取り組む態度を養い、補充的な学習や発展的な学習、家庭での自主的な学習が促される教材や学習活動がどのように取り上げられているか。	生徒が主体的に学習に取り組むために、図を用いて「見方・考え方」をまとめる活動や、資料を読み取る課題が設定されている。「集める」「読み取る」「まとめる」では、自主的な学習を促す課題が示されている。	
4	他分野、他教科、総合的な学習の時間及び特別活動との関連や実生活の場面への活用、探求的な活動の内容がどのように取り上げられているか。	他分野、他教科との関連のマークがあり、一部は QR コードから関連する教科書の確認ができるよう設定されている。すべての章が探究活動の流れで構成されている。終章では「持続可能な社会の実現」をテーマに探究活動が設定されている。	

5	我が国や郷土の伝統・文化について理解を深め、尊重する態度を育てるとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことができる教材や学習活動がどのように取り上げられているか。	<p>… 伝統文化として、伝統芸能などが記されている。伝統文化の継承、文化の創造について記されている。領土問題では、北方領土と竹島、尖閣諸島といった問題の経緯や解決への取り組みが示されている。SDGsについては第5章で取り上げられている。</p>	
6	内容が系統的に構成され、学習を効果的に進めるために適切な配列であり、全体の分量及びその配分や表記が指導上適切であることや、目次、索引、凡例、諸表その他使用上の便宜について、どのような特徴があるか。	<p>… 現代社会3.0P、憲法3.6P、政治5.0P、経済5.0P、地球社会3.2P、終章8Pとなっている。見開きを「興味関心を喚起する導入資料」→「学習のめあてを示す『学習課題』」→「本文」→「整理とまとめ『チェック&トライ』」の流れで構成されている。</p>	

総合所見	<p>ウェビングなどを用いて「見方・考え方」をまとめる活動がしやすいため、生徒が主体的に学習に取り組む点において、極めて適している。見開きが「チェック&トライ」の流れで構成されていたり、全ての章が探究活動の流れで構成されていたりするため、知識の定着や探究的な活動という点において、大変優れている。</p> <p>以上を総合的に判断して、採択地区内全体の使用に極めて適している。</p>
------	--

報 告 書

教 科	社会	種 目	公民的分野
-----	----	-----	-------

発行者名	教育出版	教科書名	中学社会 公民 ともに生きる
------	------	------	----------------

観 点		特 記 す べ き 所 見	備 考
1	社会的事象に関する基礎基本の確実な定着を図るために、教材や学習活動がどのように取り上げられているか。	見開き左上段に学習課題が示されている。本文の語句や言葉を補足して、それらをさらに詳しく解説した「側注解説」が記されている。	
2	社会的事象について、知識技能を活用し、自ら考え、判断し、表現する力を育む言語活動の内容や、情報活用能力を育成する活動の内容がどのように取り上げられているか。	各項の最後にある「表現」で、学習内容の確認と学習内容を活用した説明を必要とする課題が設定されている。「言葉で伝え合おう」では6つのテーマを紹介し、ディベートやレポート作成といった形式で表現活動が設定されている。	
3	生徒の主体的に学習に取り組む態度を養い、補充的な学習や発展的な学習、家庭での自主的な学習が促される教材や学習活動がどのように取り上げられているか。	主体的に学習に取り組むために、「Q」という資料についての、問いかけや活動、活用を意識した「見方・考え方」が設定されている。「読んで深く考えよう」や「読み解こう」では、発展的な学習や自主的な学習を促す課題が示されている。	
4	他分野、他教科、総合的な学習の時間及び特別活動との関連や実生活の場面への活用、探求的な活動の内容がどのように取り上げられているか。	ページ下部に小学校、他分野、他教科、SDGsとの関連項目が記載されている。全体の学習を通して持続可能な未来について探究していくという形で構成されている。終章でこのテーマに対する「私の提案」を作成する探究活動が設定されている。	

5	我が国や郷土の伝統・文化について理解を深め、尊重する態度を育てるとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことができる教材や学習活動がどのように取り上げられているか。	<p>… 伝統文化については、地域の伝統の継承、日本の「美德」、異文化理解が掲載されている。領土問題では、北方領土と竹島、尖閣諸島について、それらの経緯と、解決に向けた取り組みが示されている。SDGsについて、巻頭・巻末で記されている。</p> <p>-----</p> <p>-----</p> <p>-----</p>	
6	内容が系統的に構成され、学習を効果的に進めるために適切な配列であり、全体の分量及びその配分や表記が指導上適切であることや、目次、索引、凡例、諸表その他使用上の便宜について、どのような特徴があるか。	<p>現代社会 22P、憲法 40P、政治 42P、経済 36P、社会保障 20P、国際社会 32P、終章 8Pとなっている。公民学習を始めるにあたっての説明が2ページ記されている。見開きが「学習課題」→「本文」→「確認／表現」という流れで構成されている。</p> <p>-----</p> <p>-----</p> <p>-----</p>	

総合所見	<p>学習課題に対して、確認と表現という2つのまとめがある。基礎・基本的な概念を自分の言葉でまとめる課題と、思考・表現する課題があり、言語活動を充実させる工夫がされている。また、終章では、持続可能な社会について、具体的な提案をする活動が設けられ、国際社会の発展に寄与する態度を養うのに適している。</p> <p>以上を総合的に判断して、採択地区内全体の使用にたいへん適している。</p> <p>-----</p> <p>-----</p> <p>-----</p> <p>-----</p> <p>-----</p> <p>-----</p> <p>-----</p>
------	--

報 告 書

教 科	社会	種 目	公民的分野
-----	----	-----	-------

発行者名	帝国書院	教科書名	社会科 中学生の公民 よりよい社会を目指して
------	------	------	---------------------------

観 点		特 記 す べ き 所 見	備 考
1	社会的事象に関する基礎 基本の確実な定着を図る ために、教材や学習活動が どのように取り上げられ ているか。	見開きの左上に、その節の学習課題と、このページの学習課 題が記されている。「文章・語句に関する関連する資料」「本文 の補足説明」「人の声」が記されている。	
2	社会的事象について、知識 技能を活用し、自ら考え、 判断し、表現する力を育む 言語活動の内容や、情報活 用能力を育成する活動の 内容がどのように取り上 げられているか。	各項の最後にある、「説明しよう」に学習内容についての論 理的な説明を必要とする課題が設定されている。各節末にある 「アクティブ公民」では、対話的な活動が設定されている。「技 能をみがく」では、言語活動に関する学習が掲載されている。	
3	生徒の主体的に学習に取 り組む態度を養い、補充的 な学習や発展的な学習、家 庭での自主的な学習が促 される教材や学習活動が どのように取り上げられ ているか。	主体的に学習に取り組むために、章や節ごとに問いが示さ れ、「資料活用」という課題が設定されている。「やってみよう」 では、自主的な学習を促す課題が示されている。章末には「学 習を振り返ろう」という復習課題が設定されている。	
4	他分野、他教科、総合的な 学習の時間及び特別活動 との関連や実生活の場 面の活用、探求的な活動の 内容がどのように取り上 げられているか。	ページ下部に「小学校・地理・歴史との関連」が記載されて いる。「公民にプラス」「先輩たちの選択」で学習内容に関連す る実社会の動きや取り組みの様子が掲載されている。終章では 「持続可能な社会」に向けての探究活動が設定されている。	

5	我が国や郷土の伝統・文化について理解を深め、尊重する態度を育てるとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことができる教材や学習活動がどのように取り上げられているか。	<p>..... 伝統文化では、年中行事や伝統芸能が掲載され、異文化との調和についても説明されている。領土問題では、北方領土と竹島、尖閣諸島について、起こった経緯と、解決に向けた取り組みが示されている。SDGsについて、第4部で取り上げられている。</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p>	
6	内容が系統的に構成され、学習を効果的に進めるために適切な配列であり、全体の分量及びその配分や表記が指導上適切であることや、目次、索引、凡例、諸表その他使用上の便宜について、どのような特徴があるか。	<p>..... 現代社会 25P、憲法 36P、政治 50P、経済 62P、国際 40P、終章 8Pとなっている。見開きが、興味・関心をひく「導入」→「学習課題」→「本文」→「学習内容を振り返る『確認しよう』『説明しよう』」の流れで構成されている。</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p>	

総合所見	<p>..... 「アクティブ公民」での、具体的な課題の設定によって、生徒が対話的に活動することができるように工夫されている。時事的なニュースや身近な公民的課題を取り上げた導入が見開きごとに設けられ、生徒の関心・意欲を高める点において優れている。</p> <p>.....</p> <p>..... 以上を総合的に判断して、採択地区内全体の使用に適している。</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p>
------	---

報 告 書

教 科	社会	種 目	公民的分野
-----	----	-----	-------

発行者名	日本文教出版	教科書名	中学社会 公民的分野
------	--------	------	------------

観 点		特 記 す べ き 所 見	備 考
1	社会的事象に関する基礎基本の確実な定着を図るために、教材や学習活動がどのように取り上げられているか。	見開き左上段に、学習課題が示されている。課題について考える手助けとなるチャートや表などを「シンキングツールマーク」で示している。	
2	社会的事象について、知識技能を活用し、自ら考え、判断し、表現する力を育む言語活動の内容や、情報活用能力を育成する活動の内容がどのように取り上げられているか。	各頁の最後にある、「確認」では、学習課題に対する自分の考えを説明する問いが設定されている。「情報スキルアップ」では、統計データやグラフの読み方や使い方、新聞の読み方などの情報活用能力の向上に必要なテーマが紹介されている。	
3	生徒の主体的に学習に取り組む態度を養い、補充的な学習や発展的な学習、家庭での自主的な学習が促される教材や学習活動がどのように取り上げられているか。	生徒が主体的に学習に取り組むために、「見方・考え方」では、学習課題の解決の手がかりが示されている。章末には発展的な学習として「アクティビティ」が示されている。章末に「学習の整理と活動」という復習課題が設定されている。	
4	他分野、他教科、総合的な学習の時間及び特別活動との関連や実生活の場面への活用、探求的な活動の内容がどのように取り上げられているか。	ページ下部の「連携コーナー」に小学校、他分野との関連が発問形式で示されている。「明日に向かって」「公民Ⅰα」に社会参画に関するコラムが掲載されている。終章では「持続可能な社会を目指して」をテーマとした探究活動が設定されている。	

5	我が国や郷土の伝統・文化について理解を深め、尊重する態度を育てるとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことができる教材や学習活動がどのように取り上げられているか。	... 伝統文化では、年中行事、伝統芸能、現代に生かす工夫などが記されている。領土問題では、北方領土と竹島、尖閣諸島について、経緯や解決に向けた取り組みと世界の領土問題が示されている。SDGsについては、巻頭ページで取り上げられている。	
6	内容が系統的に構成され、学習を効果的に進めるために適切な配列であり、全体の分量及びその配分や表記が指導上適切であることや、目次、索引、凡例、諸表その他使用上の便宜について、どのような特徴があるか。	現代社会2.8P、憲法4.2P、政治4.2P、経済5.2P、国際4.4P、終章5Pとなっている。見開きで、「学習課題」→「本文」→「確認コーナー」が設けられ、基礎的な知識の定着をねらいとした活動が示されている。イラストや対話資料が多用されている。	

総合所見	<p>イラストや対話資料が多用されているため、生徒の関心・意欲を高めるという点において、工夫されている。「情報スキルアップ」において、統計やグラフ、新聞の読み取りといった活動が取り上げられ、情報活用能力の向上という点において優れている。</p> <p>以上を総合的に判断して、採択地区内全体の使用に適している。</p>
------	---

報 告 書

教 科	社会	種 目	公民的分野
-----	----	-----	-------

発行者名	育鵬社	教科書名	〔最新〕 新しいみんなの公民
------	-----	------	----------------

観 点		特 記 す べ き 所 見	備 考
1	社会的事象に関する基礎基本の確実な定着を図るために、教材や学習活動がどのように取り上げられているか。	<p>各章の最初には、小学校との関連内容や章で学ぶ課題について記されている。語句の解説が見開きページの中に記されている。見開き左上部に、学習課題が示されている。</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p>	
2	社会的事象について、知識技能を活用し、自ら考え、判断し、表現する力を育む言語活動の内容や、情報活用能力を育成する活動の内容がどのように取り上げられているか。	<p>各項の右下に「鉛筆マーク」があり、学習課題に対する自分の考えをまとめ、表現する課題が設定されている。各章末には、言語活動を行うテーマが示されている。また、「スキルアップ」では、ディベートの方法などが紹介されている。</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p>	
3	生徒の主体的に学習に取り組む態度を養い、補充的な学習や発展的な学習、家庭での自主的な学習が促される教材や学習活動がどのように取り上げられているか。	<p>生徒が主体的に学習に取り組むために、章の冒頭に「入り口」のコーナーが設けられている。発展的な学習として「学習を深めよう」のコーナーが用意されている。「TRY!」では主体的な学習を促す課題が示されている。</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p>	
4	他分野、他教科、総合的な学習の時間及び特別活動との関連や実生活の場面への活用、探求的な活動の内容がどのように取り上げられているか。	<p>他分野と関連するページには、マークと語句が示されている。また、「やってみよう」「学習を深めよう」では、実生活に関する話題が取り上げられている。終章では、探究的な活動としてレポート作成から発表までの手順や方法が記述されている。</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p>	

5	我が国や郷土の伝統・文化について理解を深め、尊重する態度を育てるとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことができる教材や学習活動がどのように取り上げられているか。	<p>..... 伝統文化の影響、文化の継承と創造について、示されている。</p> <p>..... 領土問題では、北方領土と竹島、尖閣諸島について、経緯や解決に向けた取り組みとともに、世界各地の領土問題が示されている。</p> <p>..... SDGsについては、第5章の章末で取り上げられている。</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p>	
6	内容が系統的に構成され、学習を効果的に進めるために適切な配列であり、全体の分量及びその配分や表記が指導上適切であることや、目次、索引、凡例、諸表その他使用上の便宜について、どのような特徴あるか。	<p>..... 現代社会27P、憲法40P、政治40P、経済52P、国際35P、終章6Pとなっている。見開きが「学習課題」→「本文」→「学習のまとめ」という流れで掲載されている。また、新聞記事など、現代社会と結びついた資料が示されている。</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p>	

総合所見	<p>..... 「TRY!」や「学習を深めよう」など、学習内容と関連のある探究的な活動が示されており、主体的な学習を進めるための工夫がなされている。また、新聞記事など、現代社会と結びついた資料が示されており、学習内容と実生活を結びつけて知識・技能を習得するのに適している。</p> <p>..... 以上を総合的に判断して、採択地区内全体の使用に適している。</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p>
------	---

報 告 書

教 科	社会	種 目	地図
-----	----	-----	----

発行者名	東京書籍	教科書名	新しい社会 地図
------	------	------	----------

観 点		特 記 す べ き 所 見	備 考
1	地図の活用に関する基礎基本の確実な定着を図るために、教材や学習活動がどのように取り上げられているか。	「この地図帳の活用方法」では各テーマ図やグラフ等の資料の特徴が示され、活用方法が説明されている。また、他分野を学習する際の地図の活用が説明されている。	
2	地理的事象についての知識技能を活用し、自ら考え、判断し、表現する力を育む言語活動の内容や、情報活用能力を育成する活動の内容がどのように取り上げられているか。	課題を示す「先生」、資料の読み取りのヒントを与える「生徒」のキャラクターが設定されており、台詞を読み取ることで課題に応じて情報を収集、判断、表現する活動が促されている。	
3	生徒の主體的に学習に取り組む態度を養い、補充的な学習や発展的な学習、家庭での自主的な学習が促される教材や学習活動がどのように取り上げられているか。	テーマ図に「ジャンプ」のマークが付けられており、関連するテーマ図や資料が明示されている。地図のタイトルに「注みたい地図記号」が示されていて学習を深めることができる。	
4	他分野、他教科、総合的な学習の時間及び特別活動との関連や実生活の場面への活用、探求的な活動の内容がどのように取り上げられているか。	21 ページに世界の生活文化、世界の宗教、世界文化遺産、オリンピック開催地について示され、111、112 ページに近畿地方の歴史について、134 ページに東北地方、伝統文化について示されている。	

5	我が国や郷土の伝統・文化について理解を深め、尊重する態度を育てるとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことができる教材や学習活動がどのように取り上げられているか。	北方領土の択捉島、竹島、尖閣諸島の写真が掲載され、「日本固有の領土」とも記されており、日本は抗議しつつ問題解決の努力を続けていることが説明されている。	
6	内容が系統的に構成され、学習を効果的に進めるために適切な配列であり、全体の分量及びその配分や表記が指導上適切であることや、目次、索引、凡例、諸表その他使用上の便宜について、どのような特徴があるか。	カラーユニバーサルデザインに対応し、地図やグラフは色覚特性のある生徒が容易に見分けられる色の組み合わせが採用されている。地名などすべての漢字にはルビがつけられている。	

総合所見	<p>地図のタイトルに「注目したい地図記号」が示されていて学習を深めることができるような工夫がなされている。また、様々なテーマが設定されており、他教科や総合的な学習の時間に活用できるよう工夫されており、地理の学習をより深めることができる。課題を示す役割の先生、資料の読み取りのヒントを与える役割の生徒というキャラクターが示され、情報を収集、判断、表現する活動に取り組みやすい工夫がされている。</p> <p>以上を総合的に判断して、採択地区内全体の使用にたいへん適している。</p>
------	---

報 告 書

教 科	社会	種 目	地図
-----	----	-----	----

発行者名	帝国書院	教科書名	中学校社会科地図
------	------	------	----------

観 点	特 記 す べ き 所 見	備 考
1	<p>地図の活用に関する基礎基本の確実な定着を図るために、教材や学習活動がどのように取り上げられているか。</p>	<p>「地図帳の使い方」では既習の内容を補足し地図を読み取る際に必要な基礎的な知識が説明されている。また、地形図や資料図の読み取り方、地図の活用方法も説明されている。</p>
2	<p>地理的事象についての知識技能を活用し、自ら考え、判断し、表現する力を育む言語活動の内容や、情報活用能力を育成する活動の内容がどのように取り上げられているか。</p>	<p>「地図活用」のコーナーが設定されていて、地図活用の技能を身に付けさせる課題として、複数の資料を組み合わせたり、地図と資料を組み合わせたりして説明させる課題が設定されている。</p>
3	<p>生徒の主体的に学習に取り組む態度を養い、補充的な学習や発展的な学習、家庭での自主的な学習が促される教材や学習活動がどのように取り上げられているか。</p>	<p>日本のテーマ図のページでは、ページごとに学習を深めるための学習課題が設定されている。学習内容に関連した資料やクイズなどを見ることができるQRコードが示されている。</p>
4	<p>他分野、他教科、総合的な学習の時間及び特別活動との関連や実生活の場面への活用、探求的な活動の内容がどのように取り上げられているか。</p>	<p>13 ページに環境問題について、15、16 ページに住居と衣装、料理、食事について、17、18 ページに言語と宗教について、99、100 ページに日本の自然災害や防災について示されている。</p>

5	我が国や郷土の伝統・文化について理解を深め、尊重する態度を育てるとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことができる教材や学習活動がどのように取り上げられているか。	<p>国後島、竹島、尖閣諸島が写真で紹介され、尖閣諸島は「日本固有の領土」と記されており、竹島と北方領土は日本の固有の領土であるが、不法に占拠されていることが説明されている。</p>	
6	内容が系統的に構成され、学習を効果的に進めるために適切な配列であり、全体の分量及びその配分や表記が指導上適切であることや、目次、索引、凡例、諸表その他使用上の便宜について、どのような特徴があるか。	<p>A4版の判型であるため、地図が大きく表示されている。世界遺産や文化遺産の歴史のマークが地図に入っている。カラーユニバーサルデザインに対応した色使いが採用されている。</p>	

総合所見	<p>地図活用の技能を身に付けさせる課題が、随所に設定されており、地図の読図や比較などの地理的な技能を向上させるうえで、極めて適している。様々なテーマが設定されており、探求的な学習に取り組んだり、他教科との関連で学習したりできるよう工夫している。また、A4版の判型であるため、地図が大きく表示され、とらえやすくなっている。</p> <p>以上を総合的に判断して、採択地区内全体の使用に極めて適している。</p>
------	---

報 告 書

教 科	数学	種 目	数学
-----	----	-----	----

発行者名	東京書籍	教科書名	新しい数学
------	------	------	-------

観 点	特 記 す べ き 所 見	備 考
1	<p>数量や図形等についての基礎・基本的な知識技能の確実な定着を図るために、教材や学習活動がどのように取り上げられているか。</p> <p>「基本の問題」には、学び直しができるよう章内で関連する問題の見出し、ページ、問題番号が示されている。巻末には、既習の基本的な知識及び技能を確認できる折り込みページ「学びのつながり」が設定されている。</p>	
2	<p>数量や図形等について習得した知識技能を活用し、事象から問題を見だし論理的に考え、判断し、表現する力を育成するための言語活動の内容や、情報活用能力を育成する活動の内容がどのように取り上げられているか。</p> <p>「深い学び」のコーナーでは、問題を見だし論理的に考えられるよう、ページの側注に問題解決の過程が段階的に示されている。「学びをふり返ろう」では、学習を振り返って、他者と話し合ったり自らの考えをまとめ直したりするための視点が示されている。</p>	
3	<p>主体的に学習に取り組む態度を養い、補充的な学習や発展的な学習、家庭での自主的な学習を促すために、教材や学習活動がどのように取り上げられているか。</p> <p>「問」の側注には、巻末の「補充の問題」の関連ページと問題番号が示されており、各章の学習内容を繰り返し練習するための問題が掲載されている。「章の問題B」には、「活用の問題」が発展的な学習として取り上げられている。</p>	
4	<p>他教科、総合的な学習の時間及び特別活動との関連や日常や社会における生活場面への活用、探求的な活動の内容がどのように取り上げられているか。</p> <p>巻末の「数学の自由研究」には、他教科や日常生活と関連した課題が示されており、取組成果をレポートにまとめ発表するなど、数学を用いた探求的な活動内容が示されている。各課題の右上には、関連する教科名が示されている。</p>	

5	我が国や郷土の伝統・文化について理解を深め、尊重する態度を育てるとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことができる教材や学習活動がどのような取り上げられているか。	「数学のまど」や問題の挿絵に、金沢駅の鼓門等、日本古来の建築物や伝統模様が取り上げられている。また、伊能忠敬の業績が紹介されるとともに、ガリレオの落下の実験や業績について紹介されている。	
6	内容が系統的に構成され、学習を効果的に進めるために適切な配列であり、全体の分量及びその配分や表記、目次、巻頭・巻末の資料、挿絵、写真、図表、文字表記、レイアウト、その他使用上の便宜について、どのような特徴があるか。	各節において、考えさせたり振り返らせたりしたい内容を示した上で、「Q」に関連する具体的な問題を取り上げる構成になっている。「問」における出題では、直前の「例」と似た問題にはマークが付されている。また、まちがい例を基に正しく直し、説明させる問題が設けられている。	

総合所見	<p>基礎・基本的な知識技能の確実な定着を図るために、直前の「例」と類似した問題にマークをつけたり、学び直しができるように章内で関連する問題の見出し、ページ、問題番号が示されたりするなど、生徒が取り組みやすいよう、たいへんよく工夫がされている。思考力・判断力・表現力を育成するために、「学びをふり返ろう」では、学習を振り返り、他者と話し合ったり自らの考えをまとめ直したりするための視点が示されている。主体的に学習に取り組む態度を養うために、「問」の側注には、巻末の「補充の問題」の関連ページと問題番号が示されている。各章の学習内容を繰り返し練習するための問題が掲載され、「章の問題B」には「活用の問題」が取り上げられており、生徒自らが発展的な学習に取り組むやすいよう、たいへんよく工夫がされている。中学1年では、算数から数学に移行しやすくするため0章を設けるなど、系統的構成が極めて適している。</p> <p>以上を総合的に判断して、「採択地区全体の使用に極めて適している。」と考えられる。</p>
------	---

報 告 書

教 科	数学	種 目	数学
-----	----	-----	----

発行者名	大日本図書	教科書名	数学の世界
------	-------	------	-------

観 点	特 記 す べ き 所 見	備 考
1	<p>数量や図形等についての基礎・基本的な知識技能の確実な定着を図るために、教材や学習活動がどのように取り上げられているか。</p> <p>「Q」の問題を補充し、繰り返し学習ができるように「プラスワン」の問題が掲載されている。節のまとめをするための「たしかめよう」には、既習事項を確認するための見出しとページ番号が示されている。</p>	
2	<p>数量や図形等について習得した知識技能を活用し、事象から問題を見だし論理的に考え、判断し、表現する力を育成するための言語活動の内容や、情報活用能力を育成する活動の内容がどのように取り上げられているか。</p> <p>第1学年の巻頭に、数学の学習としての問題発見・解決の流れを紹介する折り込みページ「数学の世界へようこそ」が設定されている。「活用・探究」における出題では、挿絵のキャラクターの対話を基に、問いをつかみ、考えを整理する展開で示されている。</p>	
3	<p>主体的に学習に取り組む態度を養い、補充的な学習や発展的な学習、家庭での自主的な学習を促すために、教材や学習活動がどのように取り上げられているか。</p> <p>巻末には、各章ごとに「補充問題」が掲載されており、発展的な学習が「総合問題」として示されている。巻末には、各学年の学習の要点がまとめられた折り込みページがあり、自主的に振り返るための小冊子を作るよう構成されている。</p>	
4	<p>他教科、総合的な学習の時間及び特別活動との関連や日常や社会における生活場面への活用、探求的な活動の内容がどのように取り上げられているか。</p> <p>他教科と関連がある問題の横には、教科書を表すマークがある。「MATHFUL」では、日常の題材を扱ったコラムが紹介されており、その内容と関連する数学の単元名と探求的な活動が示されている。</p>	

5	我が国や郷土の伝統・文化について理解を深め、尊重する態度を育てるとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことができる教材や学習活動がどのような取り上げられているか。	数学史や偉人などの数学に関する話題が紹介されている。日本や世界の伝統ある模様について取り上げており、それが現代生活に生かされている場面を問題の挿絵やコラムに掲載している。	
6	内容が系統的に構成され、学習を効果的に進めるために適切な配列であり、全体の分量及びその配分や表記、目次、巻頭・巻末の資料、挿絵、写真、図表、文字表記、レイアウト、その他使用上の便宜について、どのような特徴があるか。	各節で学習を始める手がかりとなる問題を「考えよう」で出題した上で、めあて、学習活動へ進むレイアウトに構成されている。各章末にある「ふり返ろう」では、知識や技能が身に付いたと感じるかなど、振り返る視点とともに各問題番号の横に自己チェックを記入する欄が設けられている。	

総合所見	<p>基礎・基本的の知識技能の定着を図るために、「プラスワン」の問題が掲載されている。レベル分けができていて、繰り返し学習ができるようになっている。論理的に考え、判断し、表現する力を育成するために、第1学年の巻頭に、数学の学習としての問題発見・解決の流れを紹介する折込ページが設定されている。また、家庭学習を促すために巻末に学習の要点がまとめられた折込ページがあり、自主的に振り返りができるように構成されている。「MATHFUL」では、日常の題材を扱ったコラムが紹介されており、題材も身近で比較的新しいものが多い。</p> <p>以上を総合的に判断して、「採択地区内全体の使用に適している。」と考えられる。</p>
------	---

報 告 書

教 科	数学	種 目	数学
-----	----	-----	----

発行者名	学校図書	教科書名	中学校数学
------	------	------	-------

観 点	特 記 す べ き 所 見	備 考
1	<p>数量や図形等についての基礎・基本的な知識技能の確実な定着を図るために、教材や学習活動がどのように取り上げられているか。</p> <p>「<u>どんなことがわかったかな</u>」には、学習内容を生徒が確認できるポイントが示されている。「<u>確かめよう</u>」には、関連する問題を扱ったページと問題番号の表記がある。数と式領域では、「<u>計算力を高めよう</u>」のページが設けられている。</p>	
2	<p>数量や図形等について習得した知識技能を活用し、事象から問題を見だし論理的に考え、判断し、表現する力を育成するための言語活動の内容や、情報活用能力を育成する活動の内容がどのように取り上げられているか。</p> <p>「<u>Q u e s t i o n</u>」では、挿絵の登場人物の対話を通して、問題について考えるための要点が示されている。また、問題解決の過程や解決後の「<u>次への課題へ!</u>」などで、登場人物の発言に見立てた吹き出しを用いて、確認したり問いかけたりする内容が示されている。</p>	
3	<p>主体的に学習に取り組む態度を養い、補充的な学習や発展的な学習、家庭での自主的な学習を促すために、教材や学習活動がどのように取り上げられているか。</p> <p>巻末に、補充的な問題を集めた「<u>〇年の復習</u>」、章末には、学びを振り返ることができるコーナーがあり、自己チェックができる観点が設けられている。「<u>役立つ数学</u>」「<u>深めよう</u>」には、発展的な問題が示されている。</p>	
4	<p>他教科、総合的な学習の時間及び特別活動との関連や日常や社会における生活場面への活用、探求的な活動の内容がどのように取り上げられているか。</p> <p>巻末の「<u>さらなる数学へ</u>」のコーナーでは、日常的な事象を取り上げた問題が示されている。また、<u>SDG s</u>の17の目標が紹介されており、それらの目標と関連づけた探求的な活動の内容が全学年で取り上げられている。</p>	

5	我が国や郷土の伝統・文化について理解を深め、尊重する態度を育てるとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことができる教材や学習活動がどのよう取り上げられているか。	葛飾北斎の絵について記載され、海外での見方との共通点について取り上げられている。巻頭の「数学見つけた!!」には、日本や世界の伝統的な建築物が紹介されており、「数学の力」には、伝統的なものづくりの内容が示されている。	
6	内容が系統的に構成され、学習を効果的に進めるために適切な配列であり、全体の分量及びその配分や表記、目次、巻頭・巻末の資料、挿絵、写真、図表、文字表記、レイアウト、その他使用上の便宜について、どのような特徴があるか。	各章の扉ページで問題発見し、その問題について考え、まとめ、次の問題を発見する数学的な活動につなげる構成が示されており、教科書の使い方として巻頭ページで紹介されている。各学年の巻末に折り込みページ「プログラミング学習を体験してみよう」が掲載されている。	

総合所見	<p>基礎・基本的な知識技能の確実な定着のために「どんなことがわかったかな」には、学習内容を生徒が確認できるポイントが示されている。また、「確かめよう」には、関連する問題を扱ったページと問題番号の表記があり、生徒が学習に取り組みやすいように工夫されている。思考力・判断力・表現力を育成するために、問題解決の過程や解決後の「次への課題へ！」などで、登場人物の発言に見立てた吹き出しを用いて、確認したり問いかけたりする内容が示されおり、工夫されている。主体的に学習に取り組む態度を養うために、巻末に、補充的な問題を集めた「〇年の復習」、章末には、学びを振り返ることができるコーナーがあり、自己チェックができる観点が設けられている。また、「役立つ数学」「深めよう」には、発展的な問題が示されており、生徒が主体的に取り組むことができるように工夫されている。</p> <p>以上を総合的に判断して、「採択地区内全体の使用に適している。」と考えられる。</p>
------	--

報 告 書

教 科	数 学	種 目	数 学
-----	-----	-----	-----

発行者名	教育出版	教科書名	中学数学
------	------	------	------

観	点	特 記 す べ き 所 見	備 考
1	数量や図形等についての基礎・基本的な知識技能の確実な定着を図るために、教材や学習活動がどのように取り上げられているか。	<p>節の終わりに基本問題があり、知識技能の定着のために適切な量と内容である。また、章で学習した内容の要点を振り返ることができる「学習のまとめ」が章末に設定されている。章末にある「～さんのノートの例」は学習の振り返りに役立つ。</p>	
2	数量や図形等について習得した知識技能を活用し、事象から問題を見だし論理的に考え、判断し、表現する力を育成するための言語活動の内容や、情報活用能力を育成する活動の内容がどのように取り上げられているか。	<p>活用型の問題を出題しているページの側注には、問題を見いだそう、自分の考えをもとう、みんなで話し合おうなど、問題解決の過程が段階的に示されている。また、その過程において働かせたい数学的な考え方の具体的な内容が、注釈として加えられている。</p>	
3	主体的に学習に取り組む態度を養い、補充的な学習や発展的な学習、家庭での自主的な学習を促すために、教材や学習活動がどのように取り上げられているか。	<p>巻末の「補充問題」には、各章の節ごとの基本的な問題が集められており、問題番号の下には、関連する学習内容を扱ったページ、問題番号などの情報が示されている。また、「実力アップ問題」として、発展的な問題も示されている。</p>	
4	他教科、総合的な学習の時間及び特別活動との関連や日常や社会における生活場面への活用、探求的な活動の内容がどのように取り上げられているか。	<p>各章の扉絵では、その章の学習内容が社会や職業において活用されている内容が紹介されている。また、「数学の広場」には、実際に仕事で数学を活用している人のインタビューや具体的な活用場面などを紹介したコラムが掲載されている。</p>	

5	我が国や郷土の伝統・文化について理解を深め、尊重する態度を育てるとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことができる教材や学習活動がどのよう取り上げられているか。	日本の伝統模様である麻の葉紋様や葛飾北斎の富嶽三十六景が取り上げられ、黄金比に関連した海外の作品が紹介されている。和算や算額、さしがねやおおがねなどの日本の伝統的な物を題材としたコラムが掲載されている。	
6	内容が系統的に構成され、学習を効果的に進めるために適切な配列であり、全体の分量及びその配分や表記、目次、巻頭・巻末の資料、挿絵、写真、図表、文字表記、レイアウト、その他使用上の便宜について、どのような特徴があるか。	巻頭の折り込みページ「数学的な考え方」に、数学の学習で使いたい考え方をまとめており、考え方をを使う具体的な問題例が示されている。各章の始めに既習事項の確認やLet's Tryは章の導入として取りくみやすい。各授業で「Q」の問題を扱うことで、生徒が考えやすい授業の進め方ができる。	

総合所見	<p>基礎・基本的な知識技能の確実な定着を図るために、節の終わりにある基本問題が適切な量と内容で設定されており、学習に取り組みやすくなっている、適切である。また、知識技能を活用し、論理的に考え、判断し、表現する力を育成するために、表現力を伸ばす「Q」や論理的思考が促される「みんなに説明してみよう」が設定されており、工夫されている。主体的に学習に取り組む態度を養うために、各章の始めに既習事項の確認やLet's Tryは章の導入として取り組みやすいように工夫されている。各章の扉絵や数学の広場など、日常生活と数学の結びつきを強く意識できるようになっている。「学んだことを活用しよう」では、活用力や表現力の育成、主体性など様々な観点から効果的であると考えられる。</p> <p>以上を総合的に判断して、「採択地区内全体の使用に適している。」と考えられる。</p>
------	--

報 告 書

教 科	数学	種 目	数学
-----	----	-----	----

発行者名	啓林館	教科書名	未来へひろがる数学
------	-----	------	-----------

	観 点	特 記 す べ き 所 見	備 考
1	数量や図形等についての基礎・基本的な知識技能の確実な定着を図るために、教材や学習活動がどのように取り上げられているか。	<p>..... 巻末に「もっと練習しよう」が設けられており、繰り返し練習ができるよう、関連するページと問題番号が表記されている。また、章末問題に「学びをたしかめよう」があり、既習事項がわかるように見出しとページ番号が記載されている。</p> <p>.....</p> <p>.....</p>	
2	数量や図形等について習得した知識技能を活用し、事象から問題を見だし論理的に考え、判断し、表現する力を育成するための言語活動の内容や、情報活用能力を育成する活動の内容がどのように取り上げられているか。	<p>..... 「説明しよう」、「話し合おう」、「まとめよう」では、学んだことを表現し、他者と話し合う言語活動が設けられている。また、数学を用いた問題解決では、問題場面、状況整理、問題設定、解決の見通し、新たな発見を促すなど、問題解決の過程が挿絵とともに示されている。</p> <p>.....</p> <p>.....</p>	
3	主体的に学習に取り組む態度を養い、補充的な学習や発展的な学習、家庭での自主的な学習を促すために、教材や学習活動がどのように取り上げられているか。	<p>..... 「自分で学ぼう編」には、学習した内容の補充的な問題や発展的な問題が掲載されている。「学びのあしあと」では、取組の日付や自らの理解の状況等を自主的に記録できるように構成されている。</p> <p>.....</p> <p>.....</p>	
4	他教科、総合的な学習の時間及び特別活動との関連や日常や社会における生活場面への活用、探求的な活動の内容がどのように取り上げられているか。	<p>..... 「学びをいかそう」では、各章の学習内容を身のまわりで役立つ題材が紹介されており、関連する教科名や仕事などの活用場面が示されている。「数学ライブラリー」では、数学的に考えることで見えてくる事柄などが紹介されている。</p> <p>.....</p> <p>.....</p>	

5	我が国や郷土の伝統・文化について理解を深め、尊重する態度を育てるとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことができる教材や学習活動がどのような取り上げられているか。	日本の伝統的な模様である市松模様や矢絨模様が紹介されている。日本発祥のミウラ折りと人工衛星との関係について触れられている。数学の偉人として、ユークリッドやガリレオの業績について紹介されている。	
6	内容が系統的に構成され、学習を効果的に進めるために適切な配列であり、全体の分量及びその配分や表記、目次、巻頭・巻末の資料、挿絵、写真、図表、文字表記、レイアウト、その他使用上の便宜について、どのような特徴があるか。	巻頭から始まる「みんなで学ぼう編」と巻末から始まる「自分から学ぼう編」で構成されている。「みんなで学ぼう編」における活用型の問題の側注には、「自分から学ぼう編」の関連する題材名とページ番号が示されているなど、相互に活用を促すレイアウトに構成されている。	

総合所見	<p>基礎・基本的な知識技能の確実な定着のために、章末問題に「学びをたしかめよう」があり、既習事項がわかるように見出しとページ番号が記載されている。生徒に単元のまとまりを意識させ、生徒自身がどの部分につまずいているのかが確認できるようによく工夫されている。思考力・判断力・表現力を育成するために、「説明しよう」、「話し合おう」、「まとめよう」で、学んだことを表現し、他者と話し合う言語活動が設けられる工夫がされている。主体的に学習に取り組む態度を養うために、「自分で学ぼう編」には、学習した内容の補充的な問題や発展的な問題が掲載されており、学習意欲を高めようとする点でたいへん優れている。学習に関する動画やURLにアクセスできるようにQRコードが掲載されており、ICTを活用した授業や家庭学習が充実させられるようによく工夫されている。</p> <p>以上を総合的に判断して、「採択地区内全体の使用にたいへん適している。」と考えられる。</p>
------	---

報 告 書

教 科	数学	種 目	数学
-----	----	-----	----

発行者名	数研出版	教科書名	これからの数学
------	------	------	---------

観 点		特 記 す べ き 所 見	備 考
1	数量や図形等についての基礎・基本的な知識技能の確実な定着を図るために、教材や学習活動がどのように取り上げられているか。	「確認問題」には、既習事項の確認ができるようページ番号が記載されている。基本的な知識及び技能の習得段階において、既習内容で忘れやすいこと、誤りやすいことなどが、挿絵のキャラクターの発言によって示されている。	
2	数量や図形等について習得した知識技能を活用し、事象から問題を見いだし論理的に考え、判断し、表現する力を育成するための言語活動の内容や、情報活用能力を育成する活動の内容がどのように取り上げられているか。	問題発見、解決の見通しなどの問題解決の過程が、挿絵の登場人物の対話で進む形式が繰り返し記されている。「考えよう」「調べよう」などのコーナーでは、登場人物が考えたり調べたりした情報を基に、生徒が解決する問題が設けられており、数学が得意な生徒にも飽きさせないようにされている。	
3	主体的に学習に取り組む態度を養い、補充的な学習や発展的な学習、家庭での自主的な学習を促すために、教材や学習活動がどのように取り上げられているか。	巻末の「チャレンジ編」には、補充的な問題を集めた「力をつけよう」と、応用問題を集めた「力をのばそう」のコーナーが設けられている。別冊「探究ノート」には、生徒の自主的な取組を促す発展的な学習の題材が掲載されている。	
4	他教科、総合的な学習の時間及び特別活動との関連や日常や社会における生活場面への活用、探求的な活動の内容がどのように取り上げられているか。	巻末の「数学旅行」では、身のまわりにひそむ数学を活用した題材が紹介されており、その情報を基に調べ学習などを促す問題が設定されている。学年を超えた内容には「発展」マークが付され、探究的な学習として示されている。	

5	我が国や郷土の伝統・文化について理解を深め、尊重する態度を育てるとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことができる教材や学習活動がどのような取り上げられているか。	単元の最初に宇治平等院鳳凰堂などの全国にある建物や京都の通りの名前を使い、課題に向けての導入が設定されている。ライプニッツやユークリッドなどの数学者や国内外の幾何学的な建築物が紹介されている。	
6	内容が系統的に構成され、学習を効果的に進めるために適切な配列であり、全体の分量及びその配分や表記、目次、巻頭・巻末の資料、挿絵、写真、図表、文字表記、レイアウト、その他使用上の便宜について、どのような特徴があるか。	基本的な内容は「これからの数学」で、論理的に思考、表現する内容は別冊「探究ノート」で構成されている。ページの側注に「ふりかえり」マークがあり、関連する内容を扱ったページ数が示されている。各章の扉ページの前には、次章に関連する既習内容と問題をまとめた「ふりかえり」のページが掲載されている。	

総合所見	<p>基本的な内容は「これからの数学」で、論理的に思考、表現する内容は別冊「探究ノート」で構成されている。基本的な知識及び技能の習得を行うために、「確認問題」を通じて、既習事項の確認ができるようページ番号を記載する工夫がされている。論理的に考える問題では、問題発見、解決の見通しなどの問題解決の過程が、挿絵の登場人物の対話で進む形式が繰り返し記されている。巻末の「チャレンジ編」には、補充的な問題を集めた「力をつけよう」と、応用問題を集めた「力をのぼそう」のコーナーが設けられており、補充的な学習や発展的な学習にも対応している。各章の扉のページの前には、次章に関連する既習内容と問題をまとめた「ふりかえり」のページが掲載されており、新しい学習内容に取り組みやすいよう工夫されている。</p> <p>以上を総合的に判断して、「採択地区内全体の使用に適している。」と考えられる。</p>
------	---

報 告 書

教 科	数学	種 目	数学
-----	----	-----	----

発行者名	日本文教出版	教科書名	中学数学
------	--------	------	------

観	点	特 記 す べ き 所 見	備 考
1	数量や図形等についての基礎・基本的な知識技能の確実な定着を図るために、教材や学習活動がどのように取り上げられているか。	基本の定着のため、節末に「基本問題」が設けられている。また、学び直しができるよう章内で関連する例題番号やページが示されている。繰り返し学習ができるように、「問」にチャレンジ問題が掲載されている。	
2	数量や図形等について習得した知識技能を活用し、事象から問題を見だし論理的に考え、判断し、表現する力を育成するための言語活動の内容や、情報活用能力を育成する活動の内容がどのように取り上げられているか。	「学びあおう」マークが示されている小節では、自分で考え、話し合いを通して問題解決するための過程が段階的に示されている。「学びあおう」の内容と対応した巻末の「対話シート」には、問題解決に必要な情報の整理を促す内容と振り返りの記入欄が設けられている。	
3	主体的に学習に取り組む態度を養い、補充的な学習や発展的な学習、家庭での自主的な学習を促すために、教材や学習活動がどのように取り上げられているか。	巻末の「補充問題」には、各章の基本的な問題が掲載されており、側注には章内で扱ったページと関連する例題や問題の番号が示されている。各章末の「とりくんでみよう」には、自主的な学習を促す発展的な問題が掲載されている。	
4	他教科、総合的な学習の時間及び特別活動との関連や日常や社会における生活場面への活用、探求的な活動の内容がどのように取り上げられているか。	巻末の「数学の仕事に生かす」には、数学を仕事で活用している人へのインタビューと活用例を紹介したコラムが示されている。「数学研究室」には、他教科と関連した内容や高校数学につながる探求的な活動が取り上げられている。	

5	我が国や郷土の伝統・文化について理解を深め、尊重する態度を育てるとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことができる教材や学習活動がどのような形で取り上げられているか。	伊能忠敬の測量やユークリッドの幾何学の業績について紹介し、現代数学とのつながりについて解説されている。第3学年の巻末には、数学史が一望できる形で数学の歴史についてまとめた見開きページが設けられている。	
6	内容が系統的に構成され、学習を効果的に進めるために適切な配列であり、全体の分量及びその配分や表記、目次、巻頭・巻末の資料、挿絵、写真、図表、文字表記、レイアウト、その他使用上の便宜について、どのような特徴があるか。	各節の小節で分けられた学習内容が、見開きの2ページまでまとまるよう構成されている。各章の扉ページの前に「次の章を学ぶ前に」があり、前学年までの既習内容で、次章の学習に関わる知識及び技能の要点がまとめられており、基本的な確認問題が取り上げられている。	

総合所見	<p>基礎・基本の定着のために節末に「基本問題」が設けられている。また、学び直しができるよう章内で関連する例題番号やページが示されている。論理的に考え、判断し、表現する力を育成するための言語活動に対応するために、「学びあおう」の内容と対応した巻末の「対話シート」には、問題解決に必要な情報の整理を促す内容と振り返りの記入欄が設けられている。さらに、家庭でも学習に取り組めるように、各章末の「とりくんでみよう」に、自主的な学習を促す発展的な問題が掲載されている。また、細かく「めあて」が設定されており、1時間の学習の見通しが立てやすくなっている。</p> <p>以上を総合的に判断して、「採択地区内全体の使用に適している。」と考えられる。</p>
------	--

報 告 書

教 科	理 科	種 目	理 科
-----	-----	-----	-----

発行者名	東京書籍	教科書名	新しい科学
------	------	------	-------

観 点	特 記 す べ き 所 見	備 考
1	<p>自然の事物・現象についての理解や、観察、実験に関する技能の習得等、基礎基本の確実な定着を図るために、教材や学習活動がどのように取り上げられているか。</p> <p>各章末に、各節の課題に対する結論の例が紹介されている。各単元末には、「学習内容の整理」として、基礎的・基本的事項や用語がまとめられ、「確かめと応用」として、知識・技能に関する問いが設けられている。各巻末に、薬品の扱いや実験器具の基本操作等がたいへん分かりやすくまとめられている。</p>	
2	<p>自然の事物・現象の中に問題を見だし、見通しをもって観察、実験を行い、得られた結果を分析して解釈する等、知識・技能を活用し、自ら考え、判断し、表現する力を育む言語活動の内容や情報活用能力を育成する活動の内容がどのように取り上げられているか。</p> <p>各巻頭の「考えが異なったら、考えを言葉にして議論しよう」「伝わる言葉にしよう。発表のしかた」で、議論や発表のポイントが扱われている。「学びを生かして考えよう」では学習内容の活用、「課題に対する結論を表現しよう」では自分の考えをまとめ他者と考えを比較するなどの活動場面が設定されている。</p>	
3	<p>主体的に学習に取り組む態度を養い、補充的な学習や発展的な学習、家庭での自主的な学習が促されるために、教材や学習活動がどのように取り上げられているか。</p> <p>動画やシミュレーション、他教科との関連等のコンテンツがインターネット上に用意されている。各単元末の「科学の本だな」で関連した書籍が紹介されている。各巻末では自由研究例の例が示されるとともに、学習内容に関連した科学館や博物館、ジオパーク等が紹介されている。</p>	
4	<p>理科を学ぶことの意義や有用性を実感したり理科への関心を高めたりするために、他教科、総合的な学習の時間及び特別活動との関連や日常生活や社会との関連、探求的な活動の内容がどのように取り上げられているか。</p> <p>「つながる科学」の中で、身近な現象や技術、他瀬科等との関連が紹介されている。「どこでも科学」で、生活に関連した観察・実験等が示されている。各巻末の「未来への科学」で、学習内容に関連した研究等が紹介されている。各巻頭の「科学はこんなに便利」で科学の有用性がたいへん分かりやすく扱われている。</p>	

5	我が国の科学技術の実情や、科学の発展に尽くした人の業績等、また他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことができる教材や学習活動がどのように取り上げられているか。	各単元末の「世界につながる科学」で、関わる人物のインタビューと日本の成果など、「つながる科学」でも科学者の業績が紹介されている。各巻末で各学年の内容の科学史、第3学年で、日本のノーベル賞受賞者の業績が紹介されている。	
6	内容が系統的に構成され、学習を効果的に進めるために適切な配列であり、全体の分量及びその配分や表記が指導上適切であることや、目次、索引、凡例、諸表その他使用上の便宜について、どのような特徴があるか。	基本的には各ページの左に本文、右に挿絵等が配列されている。各単元冒頭に既習事項と学習内容が示され、各章冒頭と章末の「Before & After」で変容を見るための問いが極めて分かりやすく示されている。各節は「問題発見」で始まり「活用」で終わるといふ、探究の過程で構成され、各ページに探究の過程での位置づけが極めて適切に示されている。「科学のミカタ」で見方・考え方の活用が示されている。	

総合所見	<p>目次には学習内容だけでなく、基礎操作や巻末資料・デジタルコンテンツなどテーマ毎によりよくまとめられている。実験・観察の構成が目的から考察まで1ページで極めて見やすくまとめられている。章ごとの「Before & After」で変容を見るための問いが示されている。各節は「問題発見」で始まり「活用」で終わるといふ、探究の過程で構成され、各ページに探究の過程での位置づけが示されている。「科学のミカタ」で見方・考え方の活用が示されている。各巻末に、薬品の扱いや実験器具の基本操作等が詳しくまとめられ、指導に極めて適している。各巻頭の「考えが異なったら、考えを言葉にして議論しよう」では、議論のポイントや議論の進め方が適切に示され、生徒にとってたいへん分かりやすくなっている。また、「伝わる言葉にしよう。発表のしかた」ではみんなの前で発表するときのコツやプレゼンテーション資料をつくる時のコツ、情報収集のコツなどが示されるなど、言語活動を充実する上で極めて適している。デジタルコンテンツや書籍紹介、自由研究例、科学館・博物館などの紹介など補充的な学習から発展的な学習まで、自主的に取り組めるようにたいへん工夫されている。</p> <p>以上を総合的に判断して、「採択地区内全体の使用に極めて適している。」と考える。</p>
------	--

報 告 書

教 科	理科	種 目	理科
-----	----	-----	----

発行者名	大日本図書	教科書名	理科の世界
------	-------	------	-------

観 点	特 記 す べ き 所 見	備 考
1	<p>自然の事物・現象についての理解や、観察、実験に関する技能の習得等、基礎基本の確実な定着を図るために、教材や学習活動がどのように取り上げられているか。</p>	<p>各実験ごとに「着目点」が示されている。各単元冒頭の「これまでに学習したこと」や、「思い出そう」「ことば」などで既習事項、各単元末には内容の「まとめ」が、それぞれ見開き2ページで示されている。各巻頭に「理科の学習の進め方」が示され、観察・実験の基本操作は各巻末に示されている。</p>
2	<p>自然の事物・現象の中に問題を見だし、見通しをもって観察、実験を行い、得られた結果を分析して解釈する等、知識・技能を活用し、自ら考え、判断し、表現する力を育む言語活動の内容や情報活用能力を育成する活動の内容がどのように取り上げられているか。</p>	<p>各学習単位では冒頭に問いが示され、観察・実験等では、「結果の整理」「結果から考えよう」などの活動、「結果の例」も示されている。「計画を立てよう」「話し合おう」等の活動が設定され、「やってみよう」で課題解決につながる観察・実験等が紹介されている。また、各単元末に「探究活動」が示されている。</p>
3	<p>主体的に学習に取り組む態度を養い、補充的な学習や発展的な学習、家庭での自主的な学習が促されるために、教材や学習活動がどのように取り上げられているか。</p>	<p>各単元末に「読解力問題」が設けられている。各巻末では、科学館や博物館の紹介と、調べ方の例や利用マナーが示され、第1学年と第2学年で動物園等、第1学年ではジオパークも紹介されている。各巻末の「自由研究にチャレンジしよう!」では、研究例が各学年8つずつ示されている。</p>
4	<p>理科を学ぶことの意義や有用性を実感したり理科への関心を高めたりするために、他教科、総合的な学習の時間及び特別活動との関連や日常生活や社会との関連、探求的な活動の内容がどのように取り上げられているか。</p>	<p>巻末の「理科の学習と算数・数学」で、単位の表記法や有効数字、割合、比例等が示されている。「くらしの中の理科」では日常生活や身の回りの現象とのつながりが紹介されている。「つながる」では他教科との関連、「ことば」では用語の由来や関連する話題が取り上げられている。</p>

5	我が国の科学技術の実情や、科学の発展に尽くした人の業績等、また他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことができる教材や学習活動がどのように取り上げられているか。	各巻頭で、学習内容に関連する人物のメッセージが取り上げられている。「科学のあしあと」で偉人や日本の科学者が取り上げられている。「Professional」で関連する職業の人物、「日本を知る」で日本の研究や技術等が紹介されている。	
6	内容が系統的に構成され、学習を効果的に進めるために適切な配列であり、全体の分量及びその配分や表記が指導上適切であることや、目次、索引、凡例、諸表その他使用上の便宜について、どのような特徴があるか。	基本的には見開きの中央に本文、端に挿絵等配列されている。各単元冒頭に「これから学習すること」が示されている。「問題を見つけよう」等、探究の過程に沿った活動が設定され、「思い出そう」では小学校の学習、「発展」では高等学校の学習とのつながりがそれぞれ示されている。第1学年巻末には「探究の進め方」「ノートやレポートの書き方」が示されている。	

総合所見	<p>各単元冒頭に、「これから学習すること」を「これまでに学習したこと」と関連づけて考えられる工夫がされている。各実験ごとに目的や手順だけではなく「着目点」が示されている。「計画を立てよう」・「話し合おう」等の活動が設定され、「やってみよう」で課題解決につながる観察・実験等が紹介されている。また、各単元末に「探究活動」が示されており、学習内容を活用できるよう工夫されている。</p> <p>各単元末に「読解力問題」が設けられており、発展的な学習に取り組めるようになっている。また各巻末の「自由研究にチャレンジしよう！」では、研究例がまとめて示されている。巻末の「理科の学習と算数・数学」で、数値の計算、単位の表記法、有効数字、割合、比例、グラフの書き方等、数学とのつながりについて示す工夫がされている。各巻頭で、学習内容に関連する人物のメッセージが取り上げられたり、「科学のあしあと」で偉人や日本の科学者が取り上げられたりしている。</p> <p>以上を総合的に判断して、「採択地区内全体の使用に適している。」と考える。</p>
------	---

報 告 書

教 科	理科	種 目	理科
-----	----	-----	----

発行者名	学校図書	教科書名	中学校科学
------	------	------	-------

観 点	特 記 す べ き 所 見	備 考
1	<p>自然の事物・現象についての理解や、観察、実験に関する技能の習得等、基礎基本の確実な定着を図るために、教材や学習活動がどのように取り上げられているか。</p> <p>各実験ごとに探究の方法に沿って「気づき」「課題」「仮説」等が示され、仮説実験の流れが示されている。観察・実験では、「探究の Can-Do List」として着眼点、赤色の「ストップ!!!」で安全上の注意、「基本操作」で技能がたいへん分かりやすく示されている。</p>	
2	<p>自然の事物・現象の中に問題を見だし、見通しをもって観察、実験を行い、得られた結果を分析して解釈する等、知識・技能を活用し、自ら考え、判断し、表現する力を育む言語活動の内容や情報活用能力を育成する活動の内容がどのように取り上げられているか。</p> <p>課題を解決するときにはたらかせる「見方」「考え方」を毎時間示している。設定した課題に対する「この時間のまとめ」が示してある。各巻頭の「探求の進め方」で、探究の過程が見開き2ページに示されている。「学びをいかす」に学習内容を活用する問い、「ふり返り」に次の課題へつなげる考え、「やってみよう」で探究的な活動が示されている。</p>	
3	<p>主体的に学習に取り組む態度を養い、補充的な学習や発展的な学習、家庭での自主的な学習が促されるために、教材や学習活動がどのように取り上げられているか。</p> <p>各章末に、インターネットを活用して章のまとめや基礎問題等を確認できる QR コードが掲載されている。単元末の「学び続ける理科マスター」では、自主的に学習を深めるための活動が提案されている。第3学年巻末の「学校外で調べよう!」では、全国の科学館・博物館などが紹介されている。</p>	
4	<p>理科を学ぶことの意義や有用性を実感したり理科への関心を高めたりするために、他教科、総合的な学習の時間及び特別活動との関連や日常生活や社会との関連、探求的な活動の内容がどのように取り上げられているか。</p> <p>各巻頭の「なぜ理科を学ぶの?」や「サイエンスカフェ」で、社会とのつながりと有用性が扱われている。「つながり」で他教科との関連が示され、「資料」の中で、生活での利用が紹介されている。各単元末の「学びを日常にいかしたら」では、生活と関連する問題がたいへん分かりやすく扱われている。</p>	

5	我が国の科学技術の実情や、科学の発展に尽くした人の業績等、また他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことができる教材や学習活動がどのように取り上げられているか。	SDGs について、第1・2学年では巻頭で、第3学年では本文中で取り上げている。「発展」「サイエンスカフェ」の中で、内容に関連する科学者の業績と意義、日本での研究が取り上げられている。第2学年の巻頭では、歴史的な偉人と現在活躍する日本のノーベル賞受賞者の業績が取り上げられている。	
6	内容が系統的に構成され、学習を効果的に進めるために適切な配列であり、全体の分量及びその配分や表記が指導上適切であることや、目次、索引、凡例、諸表その他使用上の便宜について、どのような特徴があるか。	基本的には左に本文、右に挿絵等配列されている。各巻頭の「理科で何を学ぶの?」「理科を学ぶとどうなるの?」で見通しが見られている。各単元冒頭では、「学びのあしあと」で変容を見る課題と、「ふり返ろう・つなげよう」で既習事項が示されている。各章は冒頭の「Can-Do List」と章末の「Can-Do List 自己チェック」で目標と自己確認が示されている。	

総合所見	<p>各巻頭の「理科で何を学ぶの?」「理科を学ぶとどうなるの?」で学習全体の見通しが見られている。また、SDGs について取り上げることで、理科の学習が国際社会の平和と発展に寄与できることがより強く示されている。各実験ごとに探究の方法に沿って「気づき」・「課題」・「仮説」が系統立てて示されており、「仮説」・「実験」・「結果」・「考察」まで学習が進められるように工夫されている。各章冒頭にある「Can-Do List」で目標と達成状況が確認できるようになっている。確認の際には、デジタルコンテンツが活用できるよう章ごとに QR コードを掲載するなど、主体的に学習を深めるために良く工夫されている。「この時間の課題」で「見方」・「考え方」が示してあり、「この時間のまとめ」で、学習内容のまとめが示してある。各巻頭の「なぜ理科を学ぶの?」では、社会とのつながりと有用性が扱われており、「つながり」で他教科との関連が示されている。</p> <p>以上を総合的に判断して、「採択地区内全体の使用にたいへん適している。」と考えられる。</p>
------	--

報 告 書

教 科	理科	種 目	理科
-----	----	-----	----

発行者名	教育出版	教科書名	自然の探求 中学理科
------	------	------	------------

観 点		特 記 す べ き 所 見	備 考
1	自然の事物・現象についての理解や、観察、実験に関する技能の習得等、基礎基本の確実な定着を図るために、教材や学習活動がどのように取り上げられているか。	各項目は、冒頭に「課題」、終わりに「結論」が示されている。各章末に「要点チェック」、各単元末に「要点と重要語句の整理」と「基本問題」が設けられている。観察・実験では、必要な『基礎技能』が示され、結果を書き込む欄が設けられている。各巻頭にレポートの書き方が紹介されている。	
2	自然の事物・現象の中に問題を見だし、見通しをもって観察、実験を行い、得られた結果を分析して解釈する等、知識・技能を活用し、自ら考え、判断し、表現する力を育む言語活動の内容や情報活用能力を育成する活動の内容がどのように取り上げられているか。	各巻頭で「探究の進め方」として、探究の過程が5ページにわたって記載されている。各単元で、「疑問から探究してみよう」として、探究の過程に沿って学習を進める構成の項目が、たいへん分かりやすく設定されている。また、「話し合おう」「調べよう」「やってみよう」「考えよう」等の活動が配置され、それらの活動で活用できるカードやモデル等が各巻末に用意されている。	
3	主体的に学習に取り組む態度を養い、補充的な学習や発展的な学習、家庭での自主的な学習が促されるために、教材や学習活動がどのように取り上げられているか。	学習に役立つ情報をウェブサイトで見ることができる「まなびリンク」が関連するページに設けられている。各巻末には自由研究の例が、各単元から1つずつ示される。課題設定や探究の方法も提案されている。また、博物館や科学館の紹介とともに、施設を活用した学習が示されている。	
4	理科を学ぶことの意義や有用性を実感したり理科への関心を高めたりするために、他教科、総合的な学習の時間及び特別活動との関連や日常生活や社会との関連、探求的な活動の内容がどのように取り上げられているか。	各巻頭の「自然の探究」や「ハローサイエンス」の中で身近な事項や環境、技術、研究等とのつながりと、意義や有用性が示されている。「言葉」で用語の由来や発展的内容が紹介されている。巻末の「理科で使う算数・数学」や本文中の「ブリッジ算数」で既習事項との関連が示されている。	

5	我が国の科学技術の実情や、科学の発展に尽くした人の業績等、また他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことができる教材や学習活動がどのように取り上げられているか。	「科学者列伝」で科学者と業績、日本の研究成果が紹介され、「ハローサイエンス」の中でも同様に扱われている。第3学年では、日本のノーベル賞受賞者と業績が紹介されるとともに、年表で近代科学の発展の歴史が取り上げられている。	
6	内容が系統的に構成され、学習を効果的に進めるために適切な配列であり、全体の分量及びその配分や表記が指導上適切であることや、目次、索引、凡例、諸表その他使用上の便宜について、どのような特徴があるか。	文字が大きく、重要用語を赤文字としている。各単元冒頭で「学んでいくこと」が示されている。「これまでの学習」「思い出そう」「発展」で既習事項や、高等学校の学習との関連が示されている。各章は「学習前の私」「学習後の私」で変容を見取る構成とされている。各項目は「疑問」ではじまる、探究の過程に沿って構成されている。	

総合所見	<p>文字が大きく、重要用語を赤文字としており、写真やイラストも大きく表示するなどの工夫がある。各巻頭にレポートの書き方が紹介されるとともに、各単元に「わたしのレポート」として、実際のレポート例が提示されている。各巻頭で「探究の進め方」として、探究の過程が5ページにわたって記載されており、単元内の観察や実験で「探究のすすめ方」にそって、課題設定から結論まで導くことができるよう工夫されている。学習に役立つ情報を、ウェブサイトで見ることができる「まなびリンク」が関連するページに設けられており、自主的な学習が促される工夫がしてある。コラムの中で、学習内容との身近な事項や環境、技術、研究等とのつながりと、意義や有用性が示されている。「科学者列伝」で科学者と業績、日本の研究成果が紹介され、「ハローサイエンス」の中でも同様に扱われている。</p> <p>以上を総合判断して、「採択地区内全体の使用に適している。」と考えられる。</p>
------	--

報 告 書

教 科	理科	種 目	理科
-----	----	-----	----

発行者名	啓林館	教科書名	未来へひろがるサイエンス
------	-----	------	--------------

観 点		特 記 す べ き 所 見	備 考
1	自然の事物・現象についての理解や、観察、実験に関する技能の習得等、基礎基本の確実な定着を図るために、教材や学習活動がどのように取り上げられているか。	各項目冒頭で問いが示され、「思い出してみよう」で既習事項が示されている。各章末に「基本のチェック」、各単元末に「学習のまとめ」「力だめし」が設けられている。各実験ごとに「目的」と「探究のふり返り」の視点が示されている。	
2	自然の事物・現象の中に問題を見だし、見通しをもって観察、実験を行い、得られた結果を分析して解釈する等、知識・技能を活用し、自ら考え、判断し、表現する力を育む言語活動の内容や情報活用能力を育成する活動の内容がどのように取り上げられているか。	「考えてみよう」「活用してみよう」など、探究の過程に沿った活動や対話的な活動が設けられている。各単元に探究の過程に沿った観察・実験を行う「探Q」が、生徒にたいへん分かりやすく設定され、その際に使用する「探Qシート」が巻末に用意されている。各巻末の「サイエンス資料」で、情報活用や言語活動、安全上の注意などが取り上げられている。	
3	主体的に学習に取り組む態度を養い、補充的な学習や発展的な学習、家庭での自主的な学習が促されるために、教材や学習活動がどのように取り上げられているか。	「ためしてみよう」で観察・実験などの題材が紹介されている。インターネット上に用意されたデジタルコンテンツにアクセスするQRコードが示されている。各巻末では、自由研究の例が各単元から1つずつ示され、課題設定や探究の方法、データの取り扱い、参考文献や引用の扱いも示されている。	
4	理科を学ぶことの意義や有用性を実感したり理科への関心を高めたりするために、他教科、総合的な学習の時間及び特別活動との関連や日常生活や社会との関連、探求的な活動の内容がどのように取り上げられているか。	「深めるラボ」「なるほど」に関連する話題や発展的な内容が取り上げられている。「お料理ラボ」「生活ラボ」「部活ラボ」「防災減災ラボ」「関連」で、他教科や生活とのつながりと、その意義や意味が取り上げられている。各単元末の「ひろがる世界」では最新の研究成果が取り上げられている。	

5	我が国の科学技術の実情や、科学の発展に尽くした人の業績等、また他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことができる教材や学習活動がどのように取り上げられているか。	「お仕事ラボ」で研究者・技術者などのインタビューが取り上げられ、「科学史」で偉人の業績が紹介されている。第3学年では、日本のノーベル賞受賞者と業績が紹介されるとともに、年表で近代科学の発展の歴史が取り上げられている。	
6	内容が系統的に構成され、学習を効果的に進めるために適切な配列であり、全体の分量及びその配分や表記が指導上適切であることや、目次、索引、凡例、諸表その他使用上の便宜について、どのような特徴があるか。	基本的には中央に本文、端に挿絵等が配列されている。各単元冒頭で「学びの見通し」と「学ぶ前にトライ！」が示され、単元末の「学んだあとにリトライ！」で変容を見取る構成とされている。「発展」では高校の学習、「つながる学び」では既習事項との関連が示されている。活動場面で「比較」「計画・予想」などの位置付けが示されている。	

総合所見	<p>各単元冒頭で「学びの見通し」と「学ぶ前にトライ！」が示され、単元末の「学んだあとにリトライ！」で変容を見取る構成となっている。「考えてみよう」・「活用してみよう」など、探究の過程に沿った活動や対話的な活動が設けられている。各実験ごとに「目的」・「方法」・「結果」・「考察」だけではなく、「探究のふり返りの視点」が示されている。また、各単元に探究の過程に沿った観察・実験を行う「探Q」が設定され、その際に使用する「探Qシート」が巻末に用意されるなど、見通しをもって観察実験を行い、得られた結果を分析し、自らの考えを表現できるように工夫されている。インターネット上に用意されたデジタルコンテンツにアクセスするQRコードが示されていたり、様々な視点でのコラムを充実させたりして、自主学習に主体的に取り組めるよう工夫されている。研究者・技術者などのインタビューや偉人の業績が紹介されている。</p> <p>以上を総合的に判断して、「採択地区内全体の使用に適している。」と考えられる。</p>
------	--

報 告 書

教 科	音 楽	種 目	音 楽（一般）
-----	-----	-----	---------

発行者名	教育出版	教科書名	中学音楽
------	------	------	------

観 点	特 記 す べ き 所 見	備 考	
1	<p>音楽に対する感性を働かせ、他者と協働しながら、音楽表現を生み出したり音楽を聴いてそのよさを見いだしたりする等、基礎基本の確実な定着を図るために、教材や学習活動がどのように取り上げられているか。</p>	<p>……中学校で新たに学習する用語や記号について、音楽における働きと関わらせて理解するために、ページ右端に示されている。「学びのユニット」では、学びを深めるための曲や活動、学びの手がかりとなるヒントが示されている。巻末には、楽典の内容や楽器の説明、舞台芸術が見開きページで示されている。</p>	
2	<p>曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるために、音楽科の特質に応じた言語活動の内容を位置付けたり、情報活用能力を育成したりする活動の内容がどのように取り上げられているか。</p>	<p>「音のスケッチ」では、創作の活動が順序立てて計画されており、言葉のイントネーションを生かした創作活動ができるよう設定されている。「コンピュータと音楽」では、楽譜作成や音楽データを管理・再生するソフトの紹介などと共に、音楽著作権に関する留意点が示されている。</p>	
3	<p>主体的に学習に取り組む態度を養い、補充的な学習や発展的な学習、家庭での自主的な学習が促されるために、創意工夫がどのようになされているか。</p>	<p>「ACTIVE」では、家庭で発展的な学習をするための具体が示されている。「何が同じで何が違う」では、学習した内容を比較することで、発展的に再確認できるよう設定されている。実際に見たり聴いたり、ワークシートをダウンロードしたりすることで、補充的・発展的な学習や家庭学習で使用することができるよう「まなびリンク」が設定されている。</p>	
4	<p>他教科、総合的な学習の時間及び特別活動との関連や、生活や社会の中の音や音楽の働き、音楽文化についての理解を深めることができるような内容がどのように取り上げられているか。</p>	<p>「私たちの暮らしと音楽」では、音楽著作権やアウトリーチ、教育活動、音楽療法など生活や社会の中の音楽の具体が示されている。「音の3要素」では、音そのものについて、科学的な思考・観点からアプローチし、電子楽器が音を発生させる仕組みについて説明されている。</p>	

5	我が国や郷土の伝統・文化について理解を深め、尊重する態度を育てるとともに、他国を尊重する態度を養うために、教材や学習活動がどのように取り上げられているか。	我が国の自然や四季の美しさを感じ取れる楽曲として設定されている歌唱共通教材が「日本の歌 みんなの歌」として示されている。我が国の伝統音楽については、実際に使用されている楽器や譜面、舞台構成や演奏するときのポイントなどが示されている。	
6	内容が系統的に構成され、学習を効果的に進めるために適切な配列であり、全体の分量及びその配分や表記が指導上適切であることや、目次、索引、凡例、諸表その他使用上の便宜について、どのような特徴があるか。	前半に表現教材（歌唱・創作）、中盤に鑑賞教材、後半は合唱曲等が配置されている。巻頭には、歌唱共通教材の歌詞と写真等や、教科書で扱う作曲者の自筆譜や説明が掲載されている。目次では、「うたう」「つくる」「きく」の3ジャンルで教科書の内容が示されている。	

総合所見	<p>教科書全体にわたって、落ち着いた色合いで、挿絵が随所に入っており、視覚的効果が工夫されている。学びを深めるための曲や活動・学びの手がかりとなるヒントが示されたり、創作の活動が順序立てて計画されたりとたいへんよく創意工夫されている。また、音楽著作権やアウトリーチ・教育活動・音楽療法など生活や社会の中の音楽の具体が示されるなど、よく配慮されている。後半の合唱曲については、生徒が興味関心を持ち、積極的に取り組むことができるよう、適切に選曲されている。</p> <p>以上を総合的に判断して、採択地区全体の使用にたいへん適している。</p>
------	---

報 告 書

教 科	音 楽	種 目	音 楽（一般）
-----	-----	-----	---------

発行者名	教育芸術社	教科書名	中学生の音楽
------	-------	------	--------

観 点	特 記 す べ き 所 見	備 考	
1	<p>音楽に対する感性を働かせ、他者と協働しながら、音楽表現を生み出したり音楽を聴いてそのよさを見いだしたりする等、基礎基本の確実な定着を図るために、教材や学習活動がどのように取り上げられているか。</p>	<p>…中学校で新たに学習する音楽を形づくっている要素及びそれらに関わる用語や記号などについて、ページ両端に示されている。「音楽を形づくっている要素」では、各学年で扱う要素について解説ページを設定し、「曲の良さをプレゼンしよう」で活用できるようにしている。巻末には、「音楽の約束」として楽典の内容が示されている。</p>	
2	<p>曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるために、音楽科の特質に応じた言語活動の内容を位置付けたり、情報活用能力を育成したりする活動の内容がどのように取り上げられているか。</p>	<p>「My Melody」「Let's Create!」では、課題に沿って創意工夫しながら創作活動ができるよう絵や説明、ワークシートが示されている。音楽に関する知的財産の意義（保護と活用）について理解するために、「ルールを守って音楽を楽しもう!」と題し、著作権について取り上げられている。</p>	
3	<p>主体的に学習に取り組む態度を養い、補充的な学習や発展的な学習、家庭での自主的な学習が促されるために、創意工夫がどのようになされているか。</p>	<p>「曲の良さをプレゼンしよう」では、授業で学んだことを生かして、実際に演奏したり音楽を聴かせたりすることで、音楽の良さや美しさについて共有する場面が設定できるよう例示されている。教科書の解説や演奏の様子を動画等で確認するために QR コードが示され、補充的・発展的な学習を行うことができるよう設定されている。</p>	
4	<p>他教科、総合的な学習の時間及び特別活動との関連や、生活や社会の中の音や音楽の働き、音楽文化についての理解を深めることができるような内容がどのように取り上げられているか。</p>	<p>「生活や社会の中の音楽」では、音や音の果たす役割やアウトリーチ、音楽に関わる仕事などが示されている。「音楽ってなんだろう?」「社会を映し出す音楽」「世界の諸民族の音楽」「ポピュラー音楽」では、音楽そのものが世界の共通言語として果たしている役割について示されている。</p>	

5	我が国や郷土の伝統・文化について理解を深め、尊重する態度を育てるとともに、他国を尊重する態度を養うために、教材や学習活動がどのように取り上げられているか。	我が国の自然や四季の美しさが感じ取れる楽曲として設定されて歌唱共通教材が「心の歌」として示されている。民謡・長唄などの我が国の伝統的な歌唱については「演奏者からのアドバイス」が取り上げられ、実際に演奏する際のポイントが示されている。	
6	内容が系統的に構成され、学習を効果的に進めるために適切な配列であり、全体の分量及びその配分や表記が指導上適切であることや、目次、索引、凡例、諸表その他使用上の便宜について、どのような特徴があるか。	前半に表現教材（歌唱・創作）、中盤に鑑賞教材、後半は合唱曲等が配置されている。巻頭には、音楽家や音楽に携わっている方のメッセージが掲載されている。目次では、「表現〈歌唱・創作〉」「鑑賞」のジャンルごとの関連度が、整理されて示されている。	

総合所見	<p>教科書全体にわたって、写真が明るい上に生徒のイメージを持たせやすい配置になっており、視覚的効果がたいへん良く工夫されている。ページ両端に音楽を形づくっている要素や用語・記号などが表記されていたり、課題に沿って創意工夫しながら創作活動ができるよう絵や説明・ワークシートが示されていたりするなど、学習指導要領の趣旨を極めて生かしている。また、後半の合唱曲については、生徒が興味関心を持ち、積極的に取り組むことができるように、生徒の感性に訴えるような様々な曲が収められており、極めて適切に選曲されている。</p> <p>以上を総合的に判断して、採択地区全体の使用に極めて適している。</p>
------	---

報 告 書

教 科	音 楽	種 目	音 楽 (器 楽)
-----	-----	-----	-----------

発行者名	教育出版	教科書名	中学器楽
------	------	------	------

観 点	特 記 す べ き 所 見	備 考	
1	<p>音楽に対する感性を働かせ、他者と協議しながら、音楽表現を生み出したり音楽を聴いてそのよさを見いだしたりする等、基礎基本の確実な定着を図るために、教材や学習活動がどのように取り上げられているか。</p>	<p>各楽器の開始ページに学習の導入として、演奏者のコメントや楽器の歴史、演奏される場面や演奏のポイントが示されている。アルト・リコーダーの学習において、指使いが分かるようにページの両端に示されている。また、ソプラノリコーダーとの関連やアンサンブルについて考慮されている。</p>	
2	<p>曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるために、音楽科の特質に応じた言語活動の内容を位置付けたり、情報活用能力を育成したりする活動の内容がどのように取り上げられているか。</p>	<p>「何が同じで、何が違う？」では、管楽器と弦楽器の特徴について協議できるよう教科書に記述できる枠や鑑賞曲が示されている。「音のスケッチ」では、楽器を使った創作が示されており、活動の手順や課題に沿って創意工夫できるよう取り上げられている。</p>	
3	<p>主体的に学習に取り組む態度を養い、補充的な学習や発展的な学習、家庭での自主的な学習が促されるために、創意工夫がどのようになされているか。</p>	<p>技能の習得を確認することができるよう楽器ごとに「まとめの曲」が設定されている。Web サイトで楽器の解説や模範演奏を確認したり、自主的な学習につなげたりするために「まなびリンク」が設定されている。</p>	
4	<p>他教科、総合的な学習の時間及び特別活動との関連や、生活や社会の中の音や音楽の働き、音楽文化についての理解を深めることができるような内容がどのように取り上げられているか。</p>	<p>「吹く仲間の楽器たち」「弾く仲間の楽器たち」では、諸外国で使用される楽器が紹介され、音楽文化について学習できるよう示されている。「名曲旋律集」では、生活や社会の中で聴くことができる楽曲を、リコーダー等で演奏できるよう代表的な旋律の一部が示されている。</p>	

5	我が国や郷土の伝統・文化について理解を深め、尊重する態度を育てるとともに、他国を尊重する態度を養うために、教材や学習活動がどのように取り上げられているか。	「With My Heart」では、我が国の伝統・文化について和楽器の演奏家が中学生に向けた楽器の思いや礼儀についてのメッセージが紹介されている。口唱歌を用いることで楽器の音色や旋律、間など日本音楽の特徴について触れることができるよう和楽器のページが設定されている。	
6	内容が系統的に構成され、学習を効果的に進めるために適切な配列であり、全体の分量及びその配分や表記が指導上適切であることや、目次、索引、凡例、諸表その他使用上の便宜について、どのような特徴があるか。	教材の構成として、リコーダー、篠笛、尺八、ギター、箏、三味線、太鼓、楽曲の順で掲載されている。演奏に必要な奏法などについて、写真や図がわかりやすく配置されている。	

総合所見	<p>教科書全体にわたって、落ち着いたレイアウトになっており、視覚的效果が工夫されている。学習の導入として演奏者のコメントや楽器の歴史・演奏される場面や演奏のポイントが示されたり、我が国の伝統・文化について和楽器の演奏家が中学生に向けた楽器の思いや礼儀についてのメッセージが紹介されたりするなど、よく創意工夫されている。また、後半の楽曲については、生徒が興味関心を持ち、積極的に取り組むことができるよう、適切に選曲されており、演奏に必要な奏法などについて写真や図を使うなど、たいへんわかりやすい。</p> <p>以上を総合的に判断して、採択地区全体の使用にたいへん適している。</p>
------	--

報 告 書

教 科	音 楽	種 目	音 楽（器 楽）
-----	-----	-----	----------

発行者名	教育芸術社	教科書名	中学生の器楽
------	-------	------	--------

観 点		特 記 す べ き 所 見	備 考
1	音楽に対する感性を働かせ、他者と協議しながら、音楽表現を生み出したり音楽を聴いてそのよさを見いだしたりする等、基礎基本の確実な定着を図るために、教材や学習活動がどのように取り上げられているか。	各楽器の開始ページの「楽器を知ろう」「演奏を聴こう」では、学習の導入として楽器の歴史や演奏される場面、鑑賞教材との関連などが示されている。「吹いてみよう」「弾いてみよう」では、アルトリコーダー・ソプラノリコーダーの特性を考慮した楽譜が示されている。	
2	曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるために、音楽科の特質に応じた言語活動の内容を位置付けたり、情報活用能力を育成したりする活動の内容がどのように取り上げられているか。	「My Melody」では箏を用いた創作が紹介され、調子の違いや音楽の構成に沿って創意工夫できるよう例示されている。「アンサンブルセミナー」では、左ページに音楽を形づくっている要素、右ページに「深めよう！音楽」が示されており、言語活動の具体が取り上げられている。	
3	主体的に学習に取り組む態度を養い、補充的な学習や発展的な学習、家庭での自主的な学習が促されるために、創意工夫がどのようになされているか。	主体的な学習に取り組んだり、補充的な学習につなげたりすることができるように「練習のポイント」「演奏のポイント」が示されている。教科書のQRコードでは、教科書で扱う演奏者が紹介されている。	
4	他教科、総合的な学習の時間及び特別活動との関連や、生活や社会の中の音や音楽の働き、音楽文化についての理解を深めることができるような内容がどのように取り上げられているか。	生活や社会の中で楽器が演奏される場面について、楽器ごとに写真や説明を用いて紹介されている。「楽器でMelody」では、リコーダーなどが一人で演奏できるようクラシック作品からJ-POPまで様々な楽曲の旋律の一部が取り上げられている。	

5	我が国や郷土の伝統・文化について理解を深め、尊重する態度を育てるとともに、他国を尊重する態度を養うために、教材や学習活動がどのように取り上げられているか。	和楽器については、「家庭式縦譜」「文化譜」「口三味線」など音楽家で扱う言葉や楽譜の解説について図や写真を用いて説明されている。巻末では学校内外における音楽活動とのつながりを意識できるよう「楽しもう！和楽器の音楽」「郷土の祭りや芸能」が示されている。	
6	内容が系統的に構成され、学習を効果的に進めるために適切な配列であり、全体の分量及びその配分や表記が指導上適切であることや、目次、索引、凡例、諸表その他使用上の便宜について、どのような特徴があるか。	教材の構成として、楽曲、リコーダー、ギター、箏、三味線、太鼓、篠笛、尺八、打楽器、楽曲の順で掲載されている活動の具体的な手立てや練習曲などが掲載されている。	

総合所見	<p>教科書全体にわたって、明るい配色で各ページ上端にも楽器の内容がわかりやすいレイアウトになっており、視覚的効果がたいへん良く工夫されている。「アンサンブルセミナー」では左ページに音楽を形づくっている要素、右ページに「深めよう！音楽」が示されており、言語活動の具体が取り上げられるなど、よく創意工夫されている。後半の楽曲については、生徒が興味関心を持ち、積極的に取り組むことができるよう、クラシック作品から J-POP まで様々な楽曲が取り上げられるなど極めて適切に選曲されている。</p> <p>以上を総合的に判断して、採択地区全体の使用に極めて適している。</p>
------	---

報 告 書

教 科	美術	種 目	美術
-----	----	-----	----

発行者名	開隆堂出版	教科書名	美術1 発見と創造 美術2・3 探求と継承
------	-------	------	--------------------------

観 点		特 記 す べ き 所 見	備 考
1	造形的な創造活動の基礎 基本の確実な定着を図る ために、教材や学習活動が どのように取り上げられて いるか。	学習の目標が指導要領に即した3つの観点で示され、「学習のポイント」として重点が具体的に示されている。ユニバーサルデザインの視点から、色使いやルビ付きの配慮がされている。「学びの資料」では、基本の技法に加え安全上の注意など説明しやすい図版が充実している。	
2	知識技能を活用し、自ら考 え、判断し、表現する力を 育む表現活動や鑑賞活動 における言語活動の内容 や情報活用能力を育成す る活動の内容がどのよう に取り上げられているか。	発想・構想の手立てや学習の進め方のヒントが若葉マークでわかりやすく示されている。生徒が実際の授業で、共同制作や話し合いを行い学習を深める場面が紹介されている。	
3	主体的に学習に取り組む 態度を養い、補充的な学習 や発展的な学習、家庭での 自主的な学習が促される ような創意工夫がどのよ うになされているか。	「学びの地図」で美術の学習の全体像をわかりやすく示すとともに、様々な職業の方の言葉や身近な生活の中の美術を紹介することで、学びの意義や価値が示されている。QRコードで学習の教科書以外の参考作品や技法動画の視聴ができる。	
4	生活や社会の中の美術の 働きについて理解を深め るため、他教科、総合的な 学習の時間及び特別活動 との関連や実生活の場面 への活用、探求的な活動の 内容がどのように取り上 げられているか。	2・3の巻頭に「暮らしに生きる美術について」と、巻末に社会との関わりについての内容がまとめとして掲載されている。またページ下にチェーンマークで題材と関連づけて学習できる他教科の内容が明示されている。特に道徳の内容が多い。	
5	我が国や郷土の伝統・文化 のよさや美しさについて 理解を深め、尊重する態度 を育てるとともに、諸外国 の美術や文化を尊重し、美 術を通した国際社会の平 和と美術文化の継承と創 造に寄与する態度を養う ことができる教材や教育 活動がどのように取り上 げられているか。	2・3の巻で日本らしさ①～⑥の掲載のあとに西洋美術の流れが鑑賞の領域として取り上げられている。デザインや工芸の分野でも日本の伝統的な技法が紹介されている。また巻頭に探求と継承について考えるページがある。	

6	<p>内容が系統的に構成され、学習を効果的に進めるために適切な配列であり、全体の分量及び配分や表記が指導上適切であることや、表紙、目次、巻頭・巻末の資料、挿絵、写真、レイアウトその他使用上の便宜について、どのような特徴があるか。</p>	<p>1の巻頭に学びの地図として3年間の学習を図解で示し、2・3の巻で「鑑賞」や「まとめ」の項目が加わり、重点的に学習できる構成になっている。またマークを使って視覚的に情報を読み取ることができるようになっている。</p>	
---	--	--	--

総合所見	<p>学習の目標が学習指導要領に即した3つの観点で示されている。発想・構想の手立てや学習の進め方のヒントについて若葉マークで生徒に分かり易く工夫されている。「学びの地図」で美術の学習の全体像をわかりやすく示したり、様々な職業の方の言葉などで学びの意義や価値が示されたりしている。道徳や他教科との内容の関わりが適切に明示されている。2・3巻の日本らしさの美術の鑑賞の後に西洋美術の鑑賞が効果的に取り上げられている。ユニバーサルデザインの視点から、マークや色、ルビ付きのよく配慮されている。また、QRコードで教科書以外の参考作品や技法動画の視聴ができるように工夫されている。以上のことからこの教科書は優れていると思われる。</p> <p>以上を総合的に判断して「採択地区内全体の使用に適している。」と考えられる。</p>
------	--

報 告 書

教 科	美術	種 目	美術
-----	----	-----	----

発行者名	光村図書	教科書名	美術 1、美術 2・3
------	------	------	-------------

観 点		特 記 す べ き 所 見	備 考
1	造形的な創造活動の基礎 基本の確実な定着を図る ために、教材や学習活動が どのように取り上げられて いるか。	各題材ごとに、学習目標が表現と鑑賞の観点で示されており、表現と鑑賞を一体的にとらえている。巻末に「学習を支える資料」として技法や素材、用具についてわかりやすくまとめられている。色の説明では、身近なものを使って示して説明している。	
2	知識技能を活用し、自ら考 え、判断し、表現する力を 育む表現活動や鑑賞活動 における言語活動の内容 や情報活用能力を育成す る活動の内容がどのよう に取り上げられているか。	表現につながる鑑賞題材が用意されており、関連性が意識されている。鑑賞では、発想・構想や話し合いのきっかけとなる問いが工夫されている。巻末に「鑑賞を楽しむ手がかり」があり、言語活動を深める工夫がされている。	
3	主体的に学習に取り組む 態度を養い、補充的な学習 や発展的な学習、家庭での 自主的な学習が促される ような創意工夫がどのよ うになされているか。	生徒の制作過程が写真やアイデアスケッチとともに紹介され、自主的に制作に取り組みやすく、発想・構想の手助けとなっている。内容の説明付き QR コードが掲載されており、教科書以外の参考作品や技法動画が視聴できる。	
4	生活や社会の中の美術の 働きについて理解を深め るため、他教科、総合的な 学習の時間及び特別活動 との関連や実生活の場面 への活用、探求的な活動の 内容がどのように取り上 げられているか。	地域でのプロジェクトや身近な生活の中での美術が写真と共に紹介されている。また、道徳とのつながりや、他教科とのつながりもページ下に、わかりやすく背景色を変えて示されている。	
5	我が国や郷土の伝統・文化 のよさや美しさについて 理解を深め、尊重する態度 を育てるとともに、諸外国 の美術や文化を尊重し、美 術を通じた国際社会の平 和と美術文化の継承と創 造に寄与する態度を養う ことができる教材や教育 活動がどのように取り上 げられているか。	「北斎からゴッホへ」の題材で日本から西洋の美術に与えた影響を示したり、絵巻物と漫画の表現へのつながりや地域や人との美術との関連を示す題材や作品が取り上げられたりしている。	

6	<p>内容が系統的に構成され、学習を効果的に進めるために適切な配列であり、全体の分量及び配分や表記が指導上適切であることや、表紙、目次、巻頭・巻末の資料、挿絵、写真、レイアウトその他使用上の便宜について、どのような特徴があるか。</p>	<p>生徒の制作の様子や手順がわかる写真等が多く効果的に掲載されていて学習の流れを掴みやすい。またトレーシングペーパーを活用して消失点を書きこむことができたり、和紙の手触りを実感できたりするページがある。</p>	
---	--	--	--

<p>総合所見</p>	<p>レイアウトや図版の選定が極めて優れており、見やすくすっきりした印象で生徒にとっては極めて分かり易く、そのまま授業で使用できる構成である。鑑賞と表現が一体化されており、導入だけでなく制作途中や制作後の相互鑑賞などにおいても多数の作品が掲載されている。特に鑑賞においては鑑賞の発問が各作品ごとに示されており、鑑賞の視点を示すだけでなく、表現のポイントにもなっており、指導上極めて適切に配置されている。表現では、実際の制作の様子が写真・アイデアスケッチ・途中経過の作品などで示してあり、生徒にとって見通しを持ちやすく、主体的に取り組む手立てとなるように工夫されている。紙質にもこだわっており、和紙の質感を表すことで浮世絵の良さを実感しやすく、生徒の関心を高めることができるたいへんよく配慮されている。授業を行うに当たり目標や学習のポイントの示し方に統一感があり、シンプルでユニバーサルデザインの観点からも極めて優れた教科書である。</p> <p>以上を総合的に判断して、「採択地区内全体の使用に極めて適している。」と考えられる。</p>
-------------	--

報 告 書

教 科	美術	種 目	美術
-----	----	-----	----

発行者名	日本文教出版	教科書名	美術1 美術との出会い 美術2・3 上学びの実感と広がり 美術2・3 下学びの探求と未来
------	--------	------	--

観 点	特 記 す べ き 所 見	備 考	
1	<p>造形的な創造活動の基礎基本の確実な定着を図るために、教材や学習活動がどのように取り上げられているか。</p>	<p>「<u>学びの目標</u>」が指導要領に即した3つの観点で示され、「<u>造形的な視点</u>」として重点が具体的に示されている。「<u>学びを支える資料</u>」では、実際の仕事で使われている発想・構想の手法を具体的に紹介している。</p>	
2	<p>知識技能を活用し、自ら考え、判断し、表現する力を育む表現活動や鑑賞活動における言語活動の内容や情報活用能力を育成する活動の内容がどのように取り上げられているか。</p>	<p>表現の題材で参考作品とともに「<u>作者の言葉</u>」が紹介されており、発想や構想の手立てとなっている。時代による作風の違いなどを比較して鑑賞し、言語活動を促す工夫がある。情報を伝えやすくまとめた作品や、実際のアイデアスケッチを取り上げている。</p>	
3	<p>主体的に学習に取り組む態度を養い、補充的な学習や発展的な学習、家庭での自主的な学習が促されるような創意工夫がどのようになされているか。</p>	<p>生徒の身近な漫画やアニメを大きな図版で印象強く取り上げ、関心を引く工夫がされている。原寸大図版や見開きの大判図版を多用し、生徒の主体的態度に寄与している。「<u>学びの言葉</u>」として、美術を学ぶ意義が示されている。補助資料がQRコードから視聴できる。</p>	
4	<p>生活や社会の中の美術の働きについて理解を深めるため、他教科、総合的な学習の時間及び特別活動との関連や実生活の場面への活用、探求的な活動の内容がどのように取り上げられているか。</p>	<p>巻頭や巻末に身近な生活とのつながりや、社会の中の美術の働きについての資料がまとめて掲載されている。また、3年間の学びの流れが巻頭にまとめられている。また、ページ下の双葉マークに、道徳と関連している内容が示されている。</p>	
5	<p>我が国や郷土の伝統・文化のよさや美しさについて理解を深め、尊重する態度を育てるとともに、諸外国の美術や文化を尊重し、美術を通じた国際社会の平和と美術文化の継承と創造に寄与する態度を養うことができる教材や教育活動がどのように取り上げられているか。</p>	<p>印象派と浮世絵の関わりや、諸外国の美術や文化財の修復に携わる人物を紹介するなどして日本と諸外国との関わりについて学習できるようになっている。</p>	

6	<p>内容が系統的に構成され、学習を効果的に進めるために適切な配列であり、全体の分量及び配分や表記が指導上適切であることや、表紙、目次、巻頭・巻末の資料、挿絵、写真、レイアウトその他使用上の便宜について、どのような特徴があるか。</p>	<p>目次のページに教科書の使い方や各項目の意図が説明されている。写真が全体のもので原寸大、実物大のもものが掲載されていたり生徒作品も大きく魅力的に取り入れられている。「1」「2・3上」「2・3下」の3冊で構成されている。</p>
---	--	---

総合所見	<p>「学びの目標」が3つの観点で示され「造形的な視点」として重点が具体的に示されている。表現の題材については、「作者の言葉」が発想や構想の手立てになっていたり、実際のアイデアスケッチを多く取り上げるなどの工夫がされている。さらに生徒の身近な漫画やアニメを大きな図版で印象強く取り上げたり、巻頭巻末に身近な生活とのつながりや社会の中の美術の働きについてまとめて掲載されていたりするところが特徴である。また、原寸大と全体像がわかるものの両方が掲載されていたり、生徒作品が大きく魅力的に取り上げられていたりして生徒にとってとらえやすいように配慮してある。以上のことから生徒が活用するのに適した教科書である。</p> <p>以上を総合的に判断して、「採択地区内全体の使用にたいへん適している。」と考えられる。</p>
------	---

報 告 書

教 科	保健体育	種 目	保健体育
-----	------	-----	------

発行者名	東京書籍	教科書名	新しい保健体育
------	------	------	---------

観	点	特 記 す べ き 所 見	備 考
1	健康な生活と疾病の予防、心身の機能の発達と心の健康、傷害の防止、健康と環境等、基礎基本の確実な定着を図るために、教材や学習活動がどのように取り上げられているか。	「見つける」では、身近な話題や新聞記事などから導入に入り、学習課題につなぎ、得た知識を活用し、生活の中に広げるという流れにより構成されている。資料を見るタイミングも文章中に示されている。	
2	健康・安全の大切さに気付く等、知識技能を活用し、自ら考え、判断し、表現する力を育む言語活動の内容や情報活用能力を育成する活動の内容がどのように取り上げられているか。	「活用する」では、学習した内容を生かし、自分の考えをまとめたり、説明したりするコーナーが設けられている。また、インターネットを活用した学習ができる「D」マークが設けられている。	
3	主体的に学習に取り組む態度を養い、補充的な学習や発展的な学習、家庭で自主的な学習が促されるために創意工夫がどのようになされているか。	章末資料では、インターネットによるトラブル事例など、生活の中で生かしたりする内容が取り上げられることで主体的に学習に取り組めるように工夫されている。また、発展的な学習ができる「発展」マークが設けられている。	
4	生徒が積極的に心身の健康の保持増進を図っていく資質や能力を身に付けさせるために、他教科、総合的学習の時間及び特別活動との関連や実生活の場面への活用、探求的な活動がどのように取り上げられているか。	2種類の「関連マーク」が設けられ、関連する学習内容のページや、他教科との関連が示されている。各章の「学習のまとめ」に、「日常生活に生かそう」という項目が設けられている。	

5	我が国や郷土の伝統・文化について理解を深め、尊重する態度を育てるとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことができる教材や学習活動がどのようになされているか。	<p>巻頭では、「オリンピック・パラリンピックのメッセージ」、「国や民族を超えて」などが取り上げられている。また、文化としてのスポーツの意義について、スポーツが国際親善や世界平和に果たす役割や、読み物資料や写真を提示している。</p>	
6	内容が系統的に構成され、学習を効果的に進めるために適切な配列であり、全体の分量及びその配分や表記が指導上適切であることや、目次、索引、凡例、諸表その他使用上の便宜について、どのような特徴があるか。	<p>各学年に保健編と体育編が配列され、体育編は全9項目、保健編は全44項目で構成されている。章末資料がそれぞれの章の終わりに計30ページ紹介されている。本文を補足する凡例や資料が身近なイラストや写真と共に左右に見やすく提示されている。</p>	

総合所見	<p>「活用する」では、学習した内容を生かし、自分の考えをまとめたり、説明したりするコーナーが設けられ、事例を元にディスカッションなどの言語活動が充実するようにたいへんよく工夫されている。また、インターネットを活用した学習ができる「D」マークが設けられ、情報活用の充実が図られている。「見つける」では、身近な話題や新聞記事などから導入に入り、「学習課題」につなぎ、得た知識を活用し、生活の中に広げるという流れにより構成され、生徒にとって極めて理解しやすい簡潔な内容で示されており、基礎基本の定着が図られる工夫がなされている。また、資料が身近なイラストや写真と共に左右に見やすく提示されている。</p> <p>以上のことから本書は当採択地区での使用に極めて適していると思われる。</p>
------	--

報 告 書

教 科	保健体育	種 目	保健体育
-----	------	-----	------

発行者名	大日本図書	教科書名	中学校保健体育
------	-------	------	---------

観 点		特 記 す べ き 所 見	備 考
1	健康な生活と疾病の予防、心身の機能の発達と心の健康、傷害の防止、健康と環境等、基礎基本の確実な定着を図るために、教材や学習活動がどのように取り上げられているか。	<p>学習した知識を再確認できるようキーワードが最後に示されており、基礎基本の定着がはかられるようになっている。この他、心肺蘇生法の資料は見開きで写真が多く示されており、一連の流れを分かりやすく説明している。</p>	
2	健康・安全の大切さに気付く等、知識技能を活用し、自ら考え、判断し、表現する力を育む言語活動の内容や情報活用能力を育成する活動の内容がどのように取り上げられているか。	<p>「話し合ってみよう」では、資料を参考に自分の考えをまとめ、意見交換ができるように設定されている。また、各章の終わりには「学びを生かそう」のコーナーが示されており、意見を記述しまとめる欄が設けられている。</p>	
3	主体的に学習に取り組む態度を養い、補足的な学習や発展的な学習、家庭で自主的な学習が促されるために創意工夫がどのようになされているか。	<p>「やってみよう」では、資料を基に自分の健康や生活を振り返り、最後の「活用して深めよう」につなげる流れで構成され発展的な学習となっている。また、章末の「学びを生かそう」では、普段の生活に生かせられるように具体的な内容が取り上げられている。</p>	
4	生徒が積極的に心身の健康の保持増進を図っていく資質や能力を身に付けさせるために、他教科、総合的学習の時間及び特別活動との関連や実生活の場面への活用、探求的な活動がどのように取り上げられているか。	<p>関連した内容を学習するページや、他教科とのつながりを示す「リンク」マークが設けられている。また、家や地域で取り組みたい活動などを示す「家」、「地域」マークや「学びを生かそう」の欄が設けられている。</p>	

5	我が国や郷土の伝統・文化について理解を深め、尊重する態度を育てるとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことができる教材や学習活動がどのようになされているか。	<p>巻頭等の「文化としてのスポーツの意義」では、視覚資料を使い、スポーツの平和的な役割、文化的な役割について取り上げられている。また、「オリンピック・パラリンピックの歴史」等として日本選手の話がある。</p>	
6	内容が系統的に構成され、学習を効果的に進めるために適切な配列であり、全体の分量及びその配分や表記が指導上適切であることや、目次、索引、凡例、諸表その他使用上の便宜について、どのような特徴があるか。	<p>体育編が前半、保健編が後半になるように配列され、体育編は全9項目、保健編は全40項目で構成されている。巻頭に国際的なスポーツ大会が「スポーツは世界の言葉」として紹介されている。</p>	

総合所見	<p>左ページに本文、右ページに資料が分けて示されており、本文を読んでから資料を見て理解するという流れにより構成されている。また、学習した知識を再確認できるようキーワードが最後に示されており、基礎基本の定着がはかれるようになっている。「話し合ってみよう」では、資料を参考に自分の考えをまとめ、意見交換ができるように設定されている。また、各章の終わりには「学びを生かそう」のコーナーで課題が示されており、より深く理解するための工夫がなされている。さらに、関連した内容を学習するページや、他教科とのつながりを示す「リンク」マークが設けられるとともに、家や地域で取り組みたい活動などを示し、実生活の場面への活用への工夫がなされている。</p> <p>以上のように、本書は当採択地区での使用に適していると思われる。</p>
------	---

報 告 書

教 科	保健体育	種 目	保健体育
-----	------	-----	------

発行者名	大修館書店	教科書名	最新中学校保健体育
------	-------	------	-----------

観 点		特 記 す べ き 所 見	備 考
1	健康な生活と疾病の予防、心身の機能の発達と心の健康、傷害の防止、健康と環境等、基礎基本の確実な定着を図るために、教材や学習活動がどのように取り上げられているか。	導入の「課題をつかむ」は、既習事項を活用して○×を付けるなど具体的に示されている。また、「学習のまとめ」や「章のまとめ」が問題形式になっており、学習して得た知識を最後に再確認できるように構成されている。	
2	健康・安全の大切さに気付く等、知識技能を活用し、自ら考え、判断し、表現する力を育む言語活動の内容や情報活用能力を育成する活動の内容がどのように取り上げられているか。	「学習のまとめ」には生活に照らし合わせて話し合う内容があり、自分の考えをまとめて表現する場面が設けられている。また、章全体で学んだ知識を活用して、自分の考えを記述する欄が設けられている。	
3	主体的に学習に取り組む態度を養い、補充的な学習や発展的な学習、家庭で自主的な学習が促されるために創意工夫がどのようになされているか。	読み物に加え、自分の健康や生活を振り返ることができるよう、章末の資料が設定されており、記入して生活を振り返ったり、ロールプレイングで練習したりする内容が紹介されている。	
4	生徒が積極的に心身の健康の保持増進を図っていく資質や能力を身に付けさせるために、他教科、総合的学習の時間及び特別活動との関連や実生活の場面への活用、探求的な活動がどのように取り上げられているか。	「コラム」、「事例」では本文に関連した読み物資料、「保健の窓」、「体育の窓」では自分ならどうするかを考えてみる内容が紹介され、実生活の場面への活用や、探求的な活動へつながるように工夫されている。	

5	我が国や郷土の伝統・文化について理解を深め、尊重する態度を育てるとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことができる教材や学習活動がどのようになされているか。	巻頭では「平和の祭典」としてオリンピック・パラリンピックが写真とともに取り上げられ、「共に生きる」では、共に挑戦し、楽しみ、支え合おうとしている人たちが紹介されている。	
6	内容が系統的に構成され、学習を効果的に進めるために適切な配列であり、全体の分量及びその配分や表記が指導上適切であることや、目次、索引、凡例、諸表その他使用上の便宜について、どのような特徴があるか。	体育編が前半、保健編が後半になるように配列され、体育編は全9項目、保健編は全48項目で構成されている。「実習」の内容も1つの項目として取り上げられている。資料を点線で囲み、背景が薄黄色で示されている。	

総合所見	<p>「コラム」、「事例」では有名人の言葉を紹介をしながら、本文に関連した読み物資料を紹介し、「保健の窓」、「体育の窓」では自分ならどうするかを考えてみる内容が紹介され、生徒にとって身近な話題から、実生活の場面への活用や、探求的な活動へつながるようによく工夫されている。また、「学習のまとめ」では、生活に照らし合わせて話し合う内容があり、自分の考えをまとめて表現する場面が設けられており、授業の中で言語活動の充実が図られる工夫がされている。さらに、導入の「課題をつかむ」「身につける・考える」「まとめる・振り返る」では、内容が系統的に構成され、バランスよく効果的に進めることができる工夫がされている。</p> <p>以上のように、本書は当採択地区での使用にたいへん適していると思われる。</p>
------	---

報 告 書

教 科	保健体育	種 目	保健体育
-----	------	-----	------

発行者名	学研教育	教科書名	中学保健体育
------	------	------	--------

観 点		特 記 す べ き 所 見	備 考
1	健康な生活と疾病の予防、心身の機能の発達と心の健康、傷害の防止、健康と環境等、基礎基本の確実な定着を図るために、教材や学習活動がどのように取り上げられているか。	「学習の目標」から「課題をつかむ」の導入に入り、「まとめ・深める」で学習のまとめができるよう流れにより構成されている。「課題をつかむ」では表やイラストから考えさせるようになっており、問いが示されている。	
2	健康・安全の大切さに気付く等、知識技能を活用し、自ら考え、判断し、表現する力を育む言語活動の内容や情報活用能力を育成する活動の内容がどのように取り上げられているか。	「考える・調べる」では意見を出し合うなどの方法が示されている。また、「まとめる・深める」では、「考える」「説明する」「話し合う」など、「まとめ方・深め方」の方法が示している。	
3	主体的に学習に取り組む態度を養い、補充的な学習や発展的な学習、家庭で自主的な学習が促されるために創意工夫がどのようになされているか。	章末資料には「探求しよう！」というコーナーが設けられ、生活の中で生かされるよう紹介されている。また、体力の必要性を災害の場面から考えるコーナーが設定され、避難生活中の体力の高め方などが紹介されている。	
4	生徒が積極的に心身の健康の保持増進を図っていく資質や能力を身に付けさせるために、他教科、総合的学習の時間及び特別活動との関連や実生活の場面への活用、探求的な活動がどのように取り上げられているか。	教え合い学び合う課題に「協働」、関連する学習内容へのガイドは「関連」、参考になるウェブサイトへのガイドは「リンク」のマークが付けられている。また、自然災害発生時の避難行動の仕方等が紹介されている。	

5	我が国や郷土の伝統・文化について理解を深め、尊重する態度を育てるとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことができる教材や学習活動がどのようになされているか。	<p>巻頭では「スポーツで世界を一つに」として、スポーツ大会や盛岡さんさ踊りなどが「World In Union」の歌詞と併せて紹介されている。「健康な生活と疾病の予防③」の章では、大村智氏が取り上げられている。</p>	
6	内容が系統的に構成され、学習を効果的に進めるために適切な配列であり、全体の分量及びその配分や表記が指導上適切であることや、目次、索引、凡例、諸表その他使用上の便宜について、どのような特徴があるか。	<p>体育編が前半、保健編が後半になるように配列され、体育編が9項目、保健編は全35項目で構成されている。巻頭に保健体育に関する施設の紹介などが10ページ設けられている。各章にページ数が色分けされている。</p>	

総合所見	<p>「学習の目標」から「課題をつかむ」の導入に入り、「まとめ・深める」で学習のまとめができるよう流れにより構成されている。「課題をつかむ」では表やイラストから考えさせるようになっており授業の中で取り扱いやすい工夫がなされている。「情報アプリ」では、ことばや内容の補足説明がなされており、理解しやすいように工夫されている。また、「考える・調べる」では意見を出し合うなどの方法が示されており、「まとめる・深める」では、「考える」「説明する」「話し合う」など、「まとめ方・深め方」の方法が示され、様々な学習方法で話し合い活動の充実の工夫がなされている。章末の「探究しようよ」を活用することで、学びを深められるように工夫されている。</p> <p>以上のように、本書は当採択地区での使用に適していると思われる。</p>
------	--

報 告 書

教 科	技術・家庭	種 目	技術・家庭（技術分野）
-----	-------	-----	-------------

発行者名	東京書籍	教科書名	新しい技術・家庭技術分野 未来を創る Technology
------	------	------	----------------------------------

観 点		特 記 す べ き 所 見	備 考
1	材料と加工、生物育成、エネルギー変換及び情報の技術について、基礎基本の確実な定着を図るためにどのような内容が取り上げられ、創意工夫がなされているか。	学習の見通しが持てるよう各項目の始めに学習する内容が示されている。学習の目標やキーワードが分かりやすく示されている。写真を多く使って1つ1つの工程が説明されている。「TECLab」が示されている。動画で作業の動作を確認できるQRコードが示されている。	
2	知識技能を活用し、問題解決的な学習の中で、自ら考え、判断し、表現する力を育む技術分野の言語活動や、情報活用能力を育成する教材や学習活動がどのように取り上げられているか。	問題解決のプロセスが4～5段階で構成されている。問題解決の過程で思考・判断・表現する例として、言葉でまとめたり、図で表現したりする「問題解決カード」が示されている。また、フィッシュボーンや5W1Hなどの思考ツールが紹介されている。	
3	主体的に学習に取り組む態度を養い、補充的な学習や発展的な学習、家庭での自主的な学習が促されるような題材や資料等がどのように取り上げられているか。	各項目に「考えてみよう」「調べてみよう」などの学習の始めにできる簡単な活動例が設けられている。学習を深めたり、補充的な学習をしたりするために「資料」の欄や「技術のとびら」のページが設けられている。	
4	技術と社会や環境との関わりについて理解を深めるため、他教科、総合的な学習の時間及び特別活動との関連や実生活の場面への活用、探求的な活動の内容がどのように取り上げられているか。	各編のまとめの章では、安全性や経済性、環境への負荷の面から技術の最適化やこれからの技術について考えることができるよう構成されている。関連する技術・家庭科の他のページや、他教科、小学校との関連について、リンクが示されている。	
5	我が国や郷土の伝統・文化について理解を深め、尊重する態度を育てるとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことができる技術の内容がどのように取り上げられているか。	我が国の伝統や文化に関わる内容は「伝統文化」マークを用いて紹介されている。「技術の匠」の欄や巻末の「学んだことを社会に生かす」では、対話的な学びが得られるよう社会で活躍している技術者の言葉が紹介されている。	

6	<p>内容の構成・配列、全体の分量及びその配分や表記、目次、索引、凡例、諸表その他使用上の便宜について、どのような特徴があるか。また、ユニバーサルデザインの視点を取り入れられているか。</p>	<p>各編ともに、「技術の原理・法則と仕組みの理解」「技術による問題解決」「技術を評価し、選択、管理・運用、改良、応用について考える」の順で、1編から3編は3章、4編は4章で構成されている。巻頭には技術の見方・考え方や最適化についての紹介ページ、巻末には統合的な問題解決についての資料や、プログラミング手帳などが掲載されている。全体的に落ち着いた色遣いとなっており、刺激が抑えられている。「技術の工夫」などのトピックも一定の配置となっており統一感がある。</p>	
---	--	---	--

総合所見	<p>各項目の始めに学習の目標が明示され、「調べてみよう」「考えてみよう」など、課題を設定する工夫がされている。各編のはじめと各所に、他教科との関連を明記してあり、実生活の場面に活用できる具体的な資料や、理解を深めるための図や写真が多く取り入れられている。巻末の「総合的な問題解決をしよう」と「学んだことを社会に生かす」では、3年間で学習したことをこれからの生活や社会の発展につなげる視点で、学習のまとめとして扱うことができる。各編ともに章、節が統一され、それぞれの章が「原理・法則・仕組みを理解する」「技術による問題解決を行う」「技術を評価し活用について考える」ことを目標に構成されている。全体的に落ち着いた色遣いとなっており、刺激が抑えられている。問題解決のプロセスの示し方が明確である。</p> <p>以上のことから、令和3年度の教科書採択に極めて適していると思われる。</p>
------	--

報 告 書

教 科	技術・家庭	種 目	技術・家庭（技術分野）
-----	-------	-----	-------------

発行者名	教育図書	教科書名	New技術・家庭 技術分野 明日を創造する
------	------	------	--------------------------

観 点		特 記 す べ き 所 見	備 考
1	材料と加工、生物育成、エネルギー変換及び情報の技術について、基礎基本の確実な定着を図るためにどのような内容が取り上げられ、創意工夫がなされているか。	各項目の冒頭に「めあて」「キーワード」が示され、「見つけ」「学ぶ」「ふり返る」の3段階で構成されている。A編の冒頭に簡単な題材例が示され、道具の名前や使い方を身につけ実習に取り組むよう設定されている。別冊のハンドブックに基本技能についての説明が写真を用いて掲載されている。	
2	知識技能を活用し、問題解決的な学習の中で、自ら考え、判断し、表現する力を育む技術分野の言語活動や、情報活用能力を育成する教材や学習活動がどのように取り上げられているか。	問題の発見からまとめまでを4つのステップで取り組む流れで構成されている。各編のまとめでは、「主体的に学習に取り組む態度」の課題が設定されている。巻末には内容ごとに設計計画書が添付されている。	
3	主体的に学習に取り組む態度を養い、補充的な学習や発展的な学習、家庭での自主的な学習が促されるような題材や資料等がどのように取り上げられているか。	「もっと知ろう」では発展的な内容についての題材や資料が枠囲みで示されている。「やってみよう」では、簡単な学習の発展例や、家庭での自主的な学習が促進される例が示されている。	
4	技術と社会や環境との関わりについて理解を深めるため、他教科、総合的な学習の時間及び特別活動との関連や実生活の場面への活用、探求的な活動の内容がどのように取り上げられているか。	実生活に生かす場面が写真とともに紹介され、環境への配慮について「環境」マークが付されている。編末のまとめに、各編で扱う技術の役割について、生活、産業、資源や環境の側面からプラスやマイナス面を考える活動が示されている。	
5	我が国や郷土の伝統・文化について理解を深め、尊重する態度を育てるとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことができる技術の内容がどのように取り上げられているか。	各編の冒頭に、「核技術の発展例」が写真とともに紹介されている。我が国や郷土の伝統・文化に関わる内容が、「スゴ技」「技ビト」などの欄に「伝統文化」マークを用いて示されている。	

6	<p>内容の構成・配列、全体の分量及びその配分や表記、目次、索引、凡例、諸表その他使用上の便宜について、どのような特徴があるか。また、ユニバーサルデザインの視点が取り入れられているか。</p>	<p>各編ともに、「つくって学ぼう」「じっくり学ぼう」「学びを深め生かそう」の順で、A編からC編は3章、D編は4章、E編は1章で構成されている。E編「夢をかなえる技術」では既習事項を組み合わせ問題解決する例が示されている。別冊として基礎技能をまとめた「技術ハンドブック」が付属している。作業手順をスモールステップで示し、写真やイラストなどで視覚的な支援を行っている。QRコードの位置が一定の配置となっており統一感がある。</p>	
---	--	--	--

総合所見	<p>各項目の始めに「めあて」が明示されている。本文中に（資料〇）という記述を取り入れ、学習内容に関連した資料を参照しやすいように工夫されている。</p> <p>問題解決の章（各編2章）冒頭では、「問題の発見」から「まとめる」までを4つのステップで構成している。各章の始めに他教科との関連を明記してある。先輩からのメッセージのページを設け、中学生の進路を考える参考にできる内容を取り上げている。各編ともに章、項目が統一され、それぞれの章が「つくって学ぼう（知識・技能）」「じっくり学ぼう（問題解決、工夫・創造）」「学びを深め生かそう（評価、活用）」の3つの内容で構成されている。作業手順をスモールステップで示し、写真やイラストなどで視覚的な支援を行っている。QRコードの位置が一定の配置となっており統一感がある。</p> <p>以上のことから、令和3年度の教科書採択に適していると思われる。</p>
------	---

報 告 書

教 科	技術・家庭	種 目	技術・家庭（技術分野）
-----	-------	-----	-------------

発行者名	開隆堂出版	教科書名	技術・家庭 技術分野 テクノロジーに希望をのせて
------	-------	------	-----------------------------

観 点		特 記 す べ き 所 見	備 考
1	材料と加工、生物育成、エネルギー変換及び情報の技術について、基礎基本の確実な定着を図るためにどのような内容が取り上げられ、創意工夫がなされているか。	各項目の冒頭に学習の目標が示されている。作業内容について作業者目線の拡大写真や、作業方法の写真などを使用して詳しく説明されている。「実験」では、学習の参考となる資実験や観察が掲載されている。また、動画で作業の動作を確認することができる QR コードが付されている。	
2	知識技能を活用し、問題解決的な学習の中で、自ら考え、判断し、表現する力を育む技術分野の言語活動や、情報活用能力を育成する教材や学習活動がどのように取り上げられているか。	問題の発見から評価・改善までの問題解決の流れが P D C A サイクルなどで紹介されている。言語活動や情報活用の場面では「話し合ってみよう」が設けられ、問題解決の過程での工夫や、安全性や経済性などの様々な視点から考えることができるよう構成されている。	
3	主体的に学習に取り組む態度を養い、補充的な学習や発展的な学習、家庭での自主的な学習が促されるような題材や資料等がどのように取り上げられているか。	各単元の冒頭に「調べてみよう」「考えてみよう」が設けられ、生活や社会の中の身近な技術が写真で紹介されている。「ふり返し」で学習内容を確認できる構成になっている。「参考」の欄に補充的な学習や発見的な学習が示されている。	
4	技術と社会や環境との関わりについて理解を深めるため、他教科、総合的な学習の時間及び特別活動との関連や実生活の場面への活用、探求的な活動の内容がどのように取り上げられているか。	生活や社会を支える技術が、各編の冒頭にイラストや写真で紹介され、他教科や小学校との関わりや、探究的な内容を示すマークが付されている。技術を比較・評価する際にトレードオフの関係になっている内容にマークが付されている。	
5	我が国や郷土の伝統・文化について理解を深め、尊重する態度を育てるとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことができる技術の内容がどのように取り上げられているか。	各編の扉ページに、代表的な「技術の歴史」が年表と写真で紹介されており、世界の技術と日本の技術が色分けして掲載されている。巻末の資料として、「日本各地の伝統的な技・材料・工芸 Map」が掲載されている。	

6	<p>内容の構成・配列、全体の分量及びその配分や表記、目次、索引、凡例、諸表その他使用上の便宜について、どのような特徴があるか。また、ユニバーサルデザインの視点が取り入れられているか。</p>	<p>各編ともに、「知識や技能を身につける」「問題から課題を考え、ものを作ることで課題を解決する」「学習したことを社会に生かす」の順で、4編3章によって構成されている。参考となる動画がある場合は、図の見出しの横にQRの記号を統一して付してあり、対応するQRコードは該当する見開きの右下の欄外に統一して付してある。単元名、学習の目標、調べてみよう（考えてみよう）が見開きの左上に統一して付されている。</p>	
---	--	---	--

<p>総合所見</p>	<p>各項目の始めに学習の目標が明示され、「調べてみよう」「考えてみよう」など、課題を設定する工夫がされている。問題解決の章（各編の2）の始めには「問題の発見と課題の設定」から「評価・改善」までの流れを図式化して示してあり、問題解決の見通しがつけやすいように工夫されている。各欄の始めと本文の各所に他教科との関連を明記してあり、図表の内容も充実している。巻末の「技術分野の学習をふり返り、私たちの未来へつなげよう」では3年間で学習したことをこれからの生活や社会の発展につなげる視点で学習のまとめとして扱うことができる。各編とも3章に統一された成り立ちで、それぞれの章が「基礎的な知識・技能」「問題解決する力、工夫・創造する能力」「技術を適切に評価し活用する力」を養えるように工夫されている。</p> <p>以上のことから令和3年度の教科書としての採択に、たいへん適していると思われる。</p>
-------------	--

報 告 書

教 科	技術・家庭	種 目	技術・家庭（家庭分野）
-----	-------	-----	-------------

発行者名	東京書籍	教科書名	新しい技術・家庭 家庭分野 自立と共生を目指して
------	------	------	-----------------------------

観 点		特 記 す べ き 所 見	備 考
1	生活の自立に必要な基礎基本の確実な定着を図るために、教材や学習活動がどのように取り上げられているか。	各章の最後に「学習のまとめ」が付いており、振り返りができる。被服や調理の基礎基本の知識技能の確実な定着を図ることができるよう「いつも確かめよう」のページが設けられている。さらに、小口のツメが検索性を高めている。	
2	知識技能を活用し、問題解決的な学習の中で、自ら考え、判断し、表現する力を育む言語活動や情報活用能力を育成する活動に関する教材や学習活動がどのように取り上げられているか。	「生活の課題と実践」のページの中に「課題の決め方」や言語活動の充実を図る「まとめと発表の仕方」が示されている。情報活用能力を育成するため、対話を助け協働を促す「思考ツール」の活用例が掲載されている。「言葉のページ」では、衣食住に関する名称についてまとめている。	
3	主体的に学習に取り組む態度を養い、補充的な学習や発展的な学習、家庭での自主的な学習が促されるような内容がどのように取り上げられているか。	インターネットを活用して、効果的に学習を進めるためのDマークコンテンツが右上に付いている。調理実習では、材料の人数選択ができたり、通信販売のシュミレーションなど動画だけではなく様々な活用ができる。発展的な学習として、職業人のアドバイス「プロに聞く」が動画で視聴できる。	
4	他教科、総合的な学習の時間及び特別活動との関連や家庭や地域における生活の場面への活用、探求的な活動の内容がどのように取り上げられているか。	巻末に技術分野や他教科とのつながりが分かるような写真や他教科の分野を記載した「深まる、広がる家庭分野の学習」のページが設けられている。随所に他教科マークを付けて、学習内容の関連を図り教科横断的に学習を深める工夫がなされている。	
5	我が国や郷土の伝統・文化について理解を深め、尊重する態度を育てるとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことができる教材や学習活動がどのように取り上げられているか。	日本や郷土に昔から伝わる食、衣服、住まいを中心に、鮮明な写真とともに、多く例が取り上げられ、日本の伝統に誇りや愛着を持ち、継承できるように工夫されている。また、伝統文化のマークにより、学習しやすくなっている。他国から伝わった食、他国の民族衣装や住まいを紹介し、異文化への理解が深まるように工夫されている。日本や海外の話題が「せいかつメモ」で紹介されている。	

6	<p>内容が系統的に構成され、学習を効果的に進めるために適切な配列であり、全体の分量及びその配分や表記が指導上適切であることや、表紙、目次、巻頭・巻末の資料、挿絵、写真、レイアウトその他使用上の便宜について、どのような特徴があるか。</p>	<p>内容は、学習指導要領の内容 B, C, A の順での 5 編で構成されている。各編「導入」「基本ページ」「学習のまとめ」の順で構成されている。生活で使えるように、巻末に切り取りができる「防災・減災手帳」や視界体験眼鏡が設けられている。各編と各章、「実習例」「いつも確かめよう」の見開きの右端下に、爪となる色帯をほどこし、すぐに検索できるように工夫されている。</p>	
---	--	--	--

総合所見	<p>内容が各編、「導入」「基本ページ」「学習のまとめ」で構成されており分かりやすい。また、色帯をつけることにより、検索がしやすくなっている。インターネットを活用して、効果的に学習を進めるための D マークコンテンツが付いている。シミュレーションなど様々な活用ができるため、家庭での自主的な学習の補助も期待できる。また、巻末に切り取りができる「防災・減災手帳」や視界体験眼鏡が設けられているので、学んだことを実生活に生かすことができる。「生活の課題と実践」のページの中に「課題の決め方」や言語活動の充実を図る「まとめと発表の仕方」が示されている。情報活用能力を育成するため、対話を助け協働を促す「思考ツール」の活用例が掲載されている。随所に他教科マークを付けて、学習内容の関連を図り教科横断的に学習を深める工夫がなされている。</p> <p>以上を総合的に判断して、採択される教科書として極めて適していると考えられる。</p>
------	---

報 告 書

教 科	技術・家庭	種 目	技術・家庭（家庭分野）
-----	-------	-----	-------------

発行者名	教育図書	教科書名	New 技術・家庭 家庭分野 くらしを創造する
------	------	------	----------------------------

観 点		特 記 す べ き 所 見	備 考
1	生活の自立に必要な基礎 基本の確実な定着を図る ために、教材や学習活動が どのように取り上げられて いるか。	各章に自立度チェックが付いており、生活の中で自分自身が ふり返りができるようになっている。学習のふり返りで、学ん だことの定着を図ることができる。各章のふり返りと單元ごと のふり返りが両方ある。	
2	知識技能を活用し、問題解 決的な学習の中で、自ら考 え、判断し、表現する力を 育む言語活動や情報活用 能力を育成する活動に関 する教材や学習活動がど のように取り上げられて いるか。	考え、判断し、表現する力を育む言語活動のきっかけとなる ように、話し合いや発表の視点を示した「話し合ってみよう」 「聞いてみよう」「発表してみよう」が設定されている。作品 製作では、生徒が練習作品を応用し製作ができるよう、いろい ろな実習例や「私のアレンジ」が掲載されている。	
3	主体的に学習に取り組む 態度を養い、補充的な学習 や発展的な学習、家庭での 自主的な学習が促される ような内容がどのように 取り上げられているか。	主体的に学習に取り組むことができるよう「調べてみよう」 や「考えてみよう」が設けられている。献立作成が実感をもつ てできるよう、料理シールが用意されている。QR コードから、 家庭でも野菜の切り方やミシンの使い方などが動画で視聴で きる。学習内容をさらに深めるために、「発展」「参考」「資料」 のマークで表わされている。	
4	他教科、総合的な学習の時 間及び特別活動との関連 や家庭や地域における生 活の場面への活用、探求的 な活動の内容がどのよう に取り上げられているか。	他教科との関連がわかりやすいように「リンク」マークが示 されている。章末に「学びを生かそう」のページがあり、課題 例や課題設定の例が掲載されている。生活場面での活用として 「試してみよう」のコーナーがある。	
5	我が国や郷土の伝統・文化 について理解を深め、尊重 する態度を育てるととも に、他国を尊重し、国際社 会の平和と発展に寄与す る態度を養うことができ る教材や学習活動がど のように取り上げられてい るか。	日本の伝統と文化について理解を深めるために、巻頭に「年 中行事と私たちの暮らし」や他国の文化の理解を深めるために 「世界の衣食住」が、数多く写真を使い掲載されている。消費 生活・環境編では、SDGs について取り上げ国際的な視点で考え られるようになっている。	
6	内容が系統的に構成され、 学習を効果的に進めるた めに適切な配列であり、全 体の分量及びその配分や 表記が指導上適切である ことや、表紙、目次、巻頭・ 巻末の資料、挿絵、写真、 レイアウトその他使用上 の便宜について、どのよう な特徴があるか。	学習指導要領の内容 A, B, C と同様に配列されており、A, B, C 編に分かれ、10章により構成されている。各章は「導入」「や ってみよう」「学びを生かそう」「章末のまとめ」の順で構成さ れており、左上にインデックスタブを用いて分かりやすく示さ れている。重要語句の色が青色の太字で示されており見やす い。	

<p>総 合 所 見</p>	<p>各章に自立度チェックが付いており、生活の中で自分自身がふり返りができるようになっている。重要語句の色が青色の太字で示されており見やすい。作品製作では、生徒が練習作品を応用し製作ができるよう、いろいろな実習例や「私のアレンジ」が掲載されている。献立作成が実感をもってできるよう、料理シールが付録として用意されている。また、QR コードから、家庭でも野菜の切り方やミシンの使い方などが動画で視聴できる。日本の伝統と文化について理解を深めるために、巻頭に「年中行事と私たちの暮らし」や他国の文化の理解を深めるために「世界の衣食住」が、数多くの写真を使い掲載されている。消費生活・環境編では、SDGs について取り上げ国際的な視点で考えられるようになっている。</p> <p>以上を総合的に判断して、採択地区全体の使用に適していると考えられる。</p>
----------------------------	---

報 告 書

教 科	技術・家庭	種 目	技術・家庭（家庭分野）
-----	-------	-----	-------------

発行者名	開隆堂出版	教科書名	技術・家庭 家庭分野 生活の土台 自立と共生
------	-------	------	---------------------------

観 点		特 記 す べ き 所 見	備 考
1	生活の自立に必要な基礎基本の確実な定着を図るために、教材や学習活動がどのように取り上げられているか。	各章の最初に、「わたしの興味関心」があり、学習前と学習後の変化を確認できる。終末部分に自分の言葉を書き込む「ふり返り」が設定されている。各章の最後に「学習のまとめ」が付いており、ふり返りができる。	
2	知識技能を活用し、問題解決的な学習の中で、自ら考え、判断し、表現する力を育む言語活動や情報活用能力を育成する活動に関する教材や学習活動がどのように取り上げられているか。	対話的な学びや言語活動を取り入れた活動のアクティブ・ラーニングが展開できるように、「やってみよう」「話し合ってみよう」「考えよう」「発表しよう」の4つを設けている。「生活と課題の実践」は自ら生活の課題を発見し、解決するための計画の例を豊富に紹介している。	
3	主体的に学習に取り組む態度を養い、補充的な学習や発展的な学習、家庭での自主的な学習が促されるような内容がどのように取り上げられているか。	ほぼ全てのページの右下に付いているQRコードは、家庭でも実習の手順などを動画で確認することができる。食品の実物大写真を多く取り入れられており、概量などが分かりやすくなっている。	
4	他教科、総合的な学習の時間及び特別活動との関連や家庭や地域における生活の場面への活用、探究的な活動の内容がどのように取り上げられているか。	他教科との関連を分かりやすくするために、見開きのページ右上の特定の位置に「他教科」のマークが設けられている。実生活の場面への活用や、探究的な活動のきっかけとなる「生活に生かそう」を学習のまとめりごとに「ふり返り」の後に設けている。	
5	我が国や郷土の伝統・文化について理解を深め、尊重する態度を育てるとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことができる教材や学習活動がどのように取り上げられているか。	多くの国々が環境に配慮していることが分かるように消費生活・環境のページの右上に世界の「環境マーク」が掲載され、国際的な取り組みやSDGsが紹介されている。「持続可能な社会」を共通に貫く視点として、各内容のまとめりに特設ページとして配置されている。	
6	内容が系統的に構成され、学習を効果的に進めるために適切な配列であり、全体の分量及びその配分や表記が指導上適切であることや、表紙、目次、巻頭・巻末の資料、挿絵、写真、レイアウトその他使用上の便宜について、どのような特徴があるか。	学習指導要領の内容A,B,Cと同様の配列となっている。生徒の興味関心を持ちやすく見やすいように実物大の食品や手形などの写真が掲載されている。アレルギー物質を含む食品についてマークが付いており、安全や防災に関して普段の生活から気を付けておきたいことなど、教科書全体を通して随所にふれられている。	

総合所見	<p>各章の最初に、「わたしの興味関心」があり、学習前と学習後の変化を確認できる。終末部分に自分の言葉を書き込む「ふり返り」が設定されている。また、生徒が興味関心を持ちやすく見やすいように、実物大の食品や手形などの写真が掲載されている。安全や防災に関してアレルギー物質を含む食品についてマークが付いているなど、普段の生活から気を付けておきたいことが教科書全体を通して示してある。実生活の場面への活用や、探究的な活動のきっかけとなる「生活に生かそう」を学習のまとめりごとに「ふり返り」の後に設けている。「持続可能な社会」を共通に貫く視点として、各内容のまとめに特設ページとして配置されている。ほぼ全てのページの右下に付いているQRコードは、家庭でも実習の手順などを動画で確認することができる。</p> <p>以上を総合的に判断して、採択される教科書としてたいへん適していると考え</p> <p>る。</p>
------	--

報 告 書

教 科	外国語	種 目	英語
-----	-----	-----	----

発行者名	東京書籍	教科書名	NEW HORIZON
------	------	------	-------------

観 点		特 記 す べ き 所 見	備 考
1	言語に対する理解を図り、コミュニケーションに必要な基礎的な言語材料の確実な定着を図るために、教材や学習活動がどのように取り上げられているか。	教科書本文の理解では、「目的をもって読んだり聞いたりする→概要・要点をとる→詳細な情報をとらえる」という流れになっている。さらに「自分の考えをもつ」アウトプットへのつながりがある。	
2	知識技能を活用し、自ら考え、判断し、表現する能力を身に付けさせるために、言語活動や情報活用能力を育む活動の内容がどのように取り上げられているか。	Let's Listen では、技能統合の活動が設定されている。道案内や買い物など、日常会話で用いる表現を学ぶことができる。聞くだけでなく、話す活動を取り入れることで、双方向でのやりとりの機会が設けられている。「Let's Talk」では、思考力・判断力を高める目的、場面に応じた表現の使い分けができる。	
3	生徒の主体的に学習に取り組む態度を養い、補充的な学習や発展的な学習、家庭での自主的な学習が促されるように、教材や学習活動が取り上げられているか。	生徒が主体的に予習や復習に取り組めるように、QRコードが設定されており、教科書の英文や動画を確認することができる工夫がされている。教師は授業で、生徒は家庭学習で使うことができる。「Grammar for Communication」では、既習事項をやりとりを通じて復習することができるよう工夫されている。	
4	英語の実践的運用能力を身に付けさせるために、他教科、総合的な学習の時間及び特別活動との関連や実生活の場面への活用、探求的な活動の内容がどのように取り上げられているか。	扱っている題材は、時事的な内容がたくさん含まれているため、生徒が興味関心をもちやすい工夫がされている。「Stage Activity」では、日本文化を紹介したり、自分の故郷の紹介や将来自分に合う仕事について考え、伝える活動が設定されている。	

5	我が国や郷土の伝統・文化について理解を深め、尊重する態度を育てるとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うために、教材や学習活動がどのように取り上げられているか。	単元ごとにコラムが掲載されており、各ユニットのテーマに関連する内容を確認した上で学習に取り組むことができる。俳句や落語、伝統工芸などの日本の文化や他国の文化や生活習慣、世界遺産が紹介されている。	
6	内容が系統的に構成され、学習を効果的に進めるために適切な配列であり、全体の分量及びその配分や表記が指導上適切であることや、表紙、目次、巻頭・巻末の資料、挿絵、写真、レイアウトその他使用上の便宜について、どのような特徴があるか。	小学校や前学年の内容の復習から各学年をスタートできる構成になっており、つまづきを解消するため工夫されている。小学校で習った単語が教科書の下部に設定されている。付録の単語集にはイラストがついており、イメージしやすい。Tool Boxが充実しており、わかりやすくまとめられている。目的場面や状況に沿って、表現を使い分けていくためのヒントが網羅されている。	

総合所見	<p>各単元ごとのゴールが明確で、Can Do Listには小学校・高校との接続が意識されている。読む活動では、「要点」や「細かい情報」をとらえるための設問が毎回あり、新指導要領に沿ったデザインになっている。Let's Listenでは、「聞く→話す・書く」という技能統合の活動が設定されている。聞くだけでなく、話す活動を取り入れることで、双方向でのやりとりの機会が設けられている。Let's Talkでは、目的、場面に応じた表現の使い分けができるため、思考力・判断力を高めることに極めて適切である。生徒が主体的に予習や復習に取り組めるように、QRコードが設定されており、本文や動画を確認することができる工夫がされている。また、Grammar for Communicationでは既習事項をやりとりを通じて復習することができるようにたいへん良く工夫されている。</p> <p>以上を総合的に判断して、「採択地区全体の使用に極めて適している。」と考えられる。</p>
------	---

報 告 書

教 科	外国語	種 目	英語
-----	-----	-----	----

発行者名	開隆堂出版	教科書名	SUNSHINE
------	-------	------	----------

観 点		特 記 す べ き 所 見	備 考
1	言語に対する理解を図り、コミュニケーションに必要な基礎基本的な言語材料の確実な定着を図るために、教材や学習活動がどのように取り上げられているか。	「とびら」では、その課のゴールが書かれている。「Scenes」では、新出文法をどのような場面で使用されるか絵を用いている。「Think」では、ある程度の分量を読み、「Retell」で内容の要約をする。「Interact」では、その課で学習したことを用いて、4技能5領域を統合した活動になっている。	
2	知識技能を活用し、自ら考え、判断し、表現する能力を身に付けさせるために、言語活動や情報活用能力を育む活動の内容がどのように取り上げられているか。	「Interact」では、会話やクイズなどを用いて、他者とのやり取りの中でその課で学習した文法を使用するようになっている。「Power-up」では、多くの場面を取り上げ、読んだり聞いたりして必要な情報を読み取ったのち、自分でも活用できるように設定されている。	
3	生徒の主体的に学習に取り組む態度を養い、補充的な学習や発展的な学習、家庭での自主的な学習が促されるように、教材や学習活動が取り上げられているか。	自分で学習を進められるようにQRコードが掲載されている。「英語のしくみ」では、文法のまとめや発音クリニックがあり、復習がしやすい。また、全学年課の学習に入る前に辞書の活用法などが掲載されている。	
4	英語の実践的運用能力を身に付けさせるために、他教科、総合的な学習の時間及び特別活動との関連や実生活の場面への活用、探求的な活動の内容がどのように取り上げられているか。	職場体験活動・平和学習など総合的な学習の時間との関連がある題材を取り扱っている。また、現代社会において問題とされている環境問題や人権問題などについても取り上げられている。「Our Project」では、身近な題材を取り上げ、自ら探求し、自己表現する活動が取り上げられている。	

5	我が国や郷土の伝統・文化について理解を深め、尊重する態度を育てるとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うために、教材や学習活動がどのように取り上げられているか。	<p>……年中行事や漫画などの日本文化や、日本と他国の食文化の比較などが取り上げられている。また、杉原千畝さんやマララさんなど国際平和や国際協力に寄与した人物を取り上げ、他国との友好関係を考える活動が設定されている。</p> <p>……</p> <p>……</p> <p>……</p>	
6	内容が系統的に構成され、学習を効果的に進めるために適切な配列であり、全体の分量及びその配分や表記が指導上適切であることや、表紙、目次、巻頭・巻末の資料、挿絵、写真、レイアウトその他使用上の便宜について、どのような特徴があるか。	<p>……本課数は、1年10、2年8、3年7で、「とびら」「Scenes」「Think」「Retell」「Interact」「英語のしくみ」で構成されている。巻末には、CAN-DOリストがあり、各学年の年度末の到達目標が分かりやすく明示されている。</p> <p>……</p> <p>……</p>	

総合所見	<p>……教科書の構成、単元間の活動などが一貫した流れになっている。単元を通して学んだ学習事項を使つてのアウトプットとなつており、目標が明確で、生徒の意欲関心を高めるために適切である。小学校の内容の復習から入つていて、出身校に関わらず生徒の学びをシェアし、安心してスタートできる工夫がされている。基本文が対話形式になつており、目的場面状況の把握がしやすい。教科書に授業に必要な教材が盛り込まれているため、教師の教材準備の負担が減る。現行よりも本文の分量が増えている。短くもなく、長くもない適切な分量の英文で、すべての生徒が少しずつ英文を読む力をつけることができる。Projectで様々なパターンの英文に触れたり、英文を作つたりすることができるように工夫されている。</p> <p>……以上を総合的に判断して、「採択地区内全体の使用に適している。」と考えられる。</p>
------	--

報 告 書

教 科	外国語	種 目	英語
-----	-----	-----	----

発行者名	三省堂	教科書名	NEW CROWN
------	-----	------	-----------

観 点		特 記 す べ き 所 見	備 考
1	言語に対する理解を図り、コミュニケーションに必要な基礎基本的な言語材料の確実な定着を図るために、教材や学習活動がどのように取り上げられているか。	Getは「本文」「POINT」「Drill」「Listen」「Talk&Write」で構成され、新出文法の使用場面を想像しながら、4技能を用いて、繰り返し練習する活動が設定されている。	
2	知識技能を活用し、自ら考え、判断し、表現する能力を身に付けさせるために、言語活動や情報活用能力を育む活動の内容がどのように取り上げられているか。	ロールプレイシートで、場面設定がされており、言語活動や即興でのやりとりをさせやすく、工夫されている。Take Actionとの連動があり、既習事項を活用しやすくする配慮がされている。また、既習事項を使った即興でのアウトプットの機会がたくさん確保されており、適切である。	
3	生徒の主体的に学習に取り組む態度を養い、補充的な学習や発展的な学習、家庭での自主的な学習が促されるように、教材や学習活動が取り上げられているか。	生徒が主体的に予習や復習に取り組めるように、掲載されたQRコードでリスニングができるようになっている。巻末のリスニングのスク립トを使い、授業の振り返りや復習ができるよう工夫されている。	
4	英語の実践的運用能力を身に付けさせるために、他教科、総合的な学習の時間及び特別活動との関連や実生活の場面への活用、探求的な活動の内容がどのように取り上げられているか。	パラスポーツや平和、人権差別問題など、幅広い題材が取り上げられている。理科と関連づけた環境問題などが紹介されている。「Project」では、我が町紹介や、ディスカッションなどの活動が複数の学年で取り上げられている。	

5	我が国や郷土の伝統・文化について理解を深め、尊重する態度を育てるとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うために、教材や学習活動がどのように取り上げられているか。	<p>…落語や和食などの日本の文化や他国の歴史や文化が取り上げられている。また、おすすめの日本語を紹介する活動が設定されている。外国語を使って働く人の記事など、国際協力の題材も取り上げられている。</p>	
6	内容が系統的に構成され、学習を効果的に進めるために適切な配列であり、全体の分量及びその配分や表記が指導上適切であることや、表紙、目次、巻頭・巻末の資料、挿絵、写真、レイアウトその他使用上の便宜について、どのような特徴があるか。	<p>…巻末には付録として、会話表現やロールプレイシート、Audio Script が掲載されている。QRコードと併用することで、授業で理解できなかったところや練習が必要な部分を復習することができるよう設定されており、工夫されている。</p>	

総合所見	<p>教科書は色使いが鮮やかで視覚支援がされている。Read では段落構成を意識しながら、要点や概要をとらえることができるように一貫したデザインになっている。また、巻末にはロールプレイシートが掲載されており、明確な場面設定のもと言語活動や即興でのやりとりをさせやすく、よく工夫されている。Take Action との連動があり、既習事項を活用しやすくする配慮がされている。また、既習事項を使った即興でのアウトプットの機会がたくさん確保されており、適切である。QRコードと併用することで、授業で理解できなかったところや練習が必要な部分を復習することができるよう設定されており、工夫されている。</p> <p>「Project」では、我が町紹介や、ディスカッションなどの活動が複数の学年で取り上げられている。</p> <p>以上のことから「採択地区内全体の使用にたいへん適している。」と考えられる。</p>
------	---

報 告 書

教 科	外国語	種 目	英語
-----	-----	-----	----

発行者名	教育出版	教科書名	One World
------	------	------	-----------

観 点		特 記 す べ き 所 見	備 考
1	言語に対する理解を図り、コミュニケーションに必要な基礎的な言語材料の確実な定着を図るために、教材や学習活動がどのように取り上げられているか。	「Part」では、「Key Sentences」や「Notes」で新出文法の説明がされている。「Tool Kit」で繰り返し練習し、「Think & Try」では、本文と関連させながら、繰り返し練習する活動が設定されている。「Review」では、本文の内容をまとめ、「Task」では、テーマに沿った自己表現活動が設定されている。	
2	知識技能を活用し、自ら考え、判断し、表現する能力を身に付けさせるために、言語活動や情報活用能力を育む活動の内容がどのように取り上げられているか。	「Tips」では、英語を使用するときに必要な技能がコツとともに取り上げられている。「Activities Plus」では、即興のやり取りができるように、質問例やトピックなどが設定されている。巻末には、発展的な読み物が掲載されている。	
3	生徒の主体的に学習に取り組む態度を養い、補充的な学習や発展的な学習、家庭での自主的な学習が促されるように、教材や学習活動が取り上げられているか。	自分で学習を進められるように各課の「とびら」にQRコードが掲載されている。「How to Study」では、先輩の学習法が掲載されており、どのように勉強していけばよいかが示されている。各パートには音読のチェック表がある。	
4	英語の実践的運用能力を身に付けさせるために、他教科、総合的な学習の時間及び特別活動との関連や実生活の場面への活用、探求的な活動の内容がどのように取り上げられているか。	環境問題・福祉や職業などについて取り上げられている。「Useful Expression」(1・3年1回、2年2回)では、日常生活で使われる身近な表現や会話が掲載されている。	
5	我が国や郷土の伝統・文化について理解を深め、尊重する態度を育てるとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うために、教材や学習活動がどのように取り上げられているか。	日本と外国の文化について、行事や名所などの題材が取り上げられている。平和について、中学生のスピーチや著名人の取り組みなどが取り上げられている。	

6	<p>内容が系統的に構成され、学習を効果的に進めるために適切な配列であり、全体の分量及びその配分や表記が指導上適切であることや、表紙、目次、巻頭・巻末の資料、挿絵、写真、レイアウトその他使用上の便宜について、どのような特徴があるか。</p>	<p>本課数は、1年9、2年9、3年7で、「Part」「Review」「Task」「Grammar」で構成されている。巻末には3年間のCAN-DOリストで、自己評価ができるように掲載されている。</p>	
---	--	---	--

<p>総合所見</p>	<p>ユニットごとに、既習事項を使ったアウトプットの課題が設定されている。また、本文の内容と Project のテーマに関連があるため、より深い学びにつなげることができる。既習事項を活用しながら、基礎的基本的な言語材料の定着を図るだけでなく、段階的に発展的な言語活動に移行するように工夫されており、すべての生徒が主体的に取り組むことができる。また、Tips で 4 技能のスキルを向上させるためのコツがまとめられており、言語活動の中でのつまづきを解消するための支援に適している。また、付属の赤シートは、生徒の補充学習や自主学習を促すために有効である。</p> <p>以上を総合的に判断して、「採択地区内全体の使用に適している。」と考えられる。</p>
-------------	---

報 告 書

教 科	外国語	種 目	英語
-----	-----	-----	----

発行者名	光村図書	教科書名	Here We go!
------	------	------	-------------

観 点	特 記 す べ き 所 見	備 考
1	<p>言語に対する理解を図り、コミュニケーションに必要な基礎基本的な言語材料の確実な定着を図るために、教材や学習活動がどのように取り上げられているか。</p>	<p>Part 1～3では、「本文」で新出文法を想像し、「Listen, Speak, Write」で繰り返し練習する活動が設定されている。「基本文」で新出文法の確認を行う。「Goal」では、4技能5領域を統合した活動が設定されている。</p>
2	<p>知識技能を活用し、自ら考え、判断し、表現する能力を身に付けさせるために、言語活動や情報活用能力を育む活動の内容がどのように取り上げられているか。</p>	<p>帯学習の「Story Retelling」では、既習事項をイラストやキーワードを用いて、自分の言葉で伝えることができる活動が設定されている。「Let's Talk」では、簡単な語句や文を用いて、即興の会話ができるような活動が設定されている。</p>
3	<p>生徒の主体的に学習に取り組む態度を養い、補充的な学習や発展的な学習、家庭での自主的な学習が促されるように、教材や学習活動が取り上げられているか。</p>	<p>自主学習ができるように、各ページにQRコード、また「英語の学び方ガイド」や「Your Catch」には英語学習のコツが掲載されている。「Active Grammar」では、既習の文法事項が色分けされてまとめられている。巻末資料には、発展的な読み物が掲載されている。</p>
4	<p>英語の実践的運用能力を身に付けさせるために、他教科、総合的な学習の時間及び特別活動との関連や実生活の場面への活用、探求的な活動の内容がどのように取り上げられているか。</p>	<p>AI や環境問題などについて取り上げられている。「You Can-Do It!」では自己・他者の紹介やディスカッションなどが取り上げられている。</p>

5	我が国や郷土の伝統・文化について理解を深め、尊重する態度を育てるとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うために、教材や学習活動がどのように取り上げられているか。	日本や外国の文化が、年中行事や学校生活等で紹介されている。また、郷土の観光プランを作成や日本文化を紹介する活動が設定されている。	
6	内容が系統的に構成され、学習を効果的に進めるために適切な配列であり、全体の分量及びその配分や表記が指導上適切であることや、表紙、目次、巻頭・巻末の資料、挿絵、写真、レイアウトその他使用上の便宜について、どのような特徴があるか。	本課数は、全学年8で、「とびら」「Part 1～3」「Goal」で構成されている。巻末の当該学年の CAN-DO リストでは、自己評価ができるように掲載されている。	

総合所見	<p>レイアウトが見やすく、リスニングはイラストつきでシンプルなドリル形式でスローラーナーにとって取り組みやすい工夫がされている。Sounds and Letters でフォニックスの学習など、丁寧に取り上げられている。Daily Life で日常生活の場面設定での表現を学ぶことができる。Let's Talk で帯活動で使える Small Talk のテーマと答え方を身につけられるように工夫されている。巻末付録などが充実していて、Your Coach、Active Words、リテリング用の資料がついており、発展学習や自主学習に有効である。World Tour では、文化や社会問題についての題材が取り扱われており、生徒の意欲関心を高める資料として適切である。生徒に意見をもたせるために、3年生の後半では対立的なテーマが取り上げられている。</p> <p>以上を総合的に判断して、「採択地区内全体の使用に適している。」と考えられる。</p>
------	---

報 告 書

教 科	外国語	種 目	英語
-----	-----	-----	----

発行者名	啓林館	教科書名	BLUE SKY
------	-----	------	----------

観 点		特 記 す べ き 所 見	備 考
1	言語に対する理解を図り、コミュニケーションに必要な基礎基本的な言語材料の確実な定着を図るために、教材や学習活動がどのように取り上げられているか。	Unit 毎に「とびら」では、課の内容をイメージさせ、ゴールが明確に示されている。「Part」では、新出文法や語句を確認後、使い方を練習して、自己表現する活動が設定されている。「Read & Think」では、ある程度の分量の英文を読み「Express Yourself」では、テーマに沿って自己表現活動ができる。	
2	知識技能を活用し、自ら考え、判断し、表現する能力を身に付けさせるために、言語活動や情報活用能力を育む活動の内容がどのように取り上げられているか。	「Express Yourself」では、自分の考えなどを述べるときに、その課で学習した文法を使用するようになっている。「Let's talk」「Let's Listen」では、日常で使われる場面を多く取り上げ、他の表現を用いて多様な会話ができるように設定されている。	
3	生徒の主体的に学習に取り組む態度を養い、補充的な学習や発展的な学習、家庭での自主的な学習が促されるように、教材や学習活動が取り上げられているか。	自分で学習を進められるようにQRコードが掲載されている。「Target のまとめ」では、文法がまとめてあり、復習しやすいようになっている。	
4	英語の実践的運用能力を身に付けさせるために、他教科、総合的な学習の時間及び特別活動との関連や実生活の場面への活用、探求的な活動の内容がどのように取り上げられているか。	地域の活性化・防災問題など幅広い題材が取り上げられている。「Project」では、いくつかの Unit で学習した内容を活かして自己表現する活動が設定されている。	

5	我が国や郷土の伝統・文化について理解を深め、尊重する態度を育てるとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うために、教材や学習活動がどのように取り上げられているか。	郷土の名所や行事を紹介する活動が取り上げられている。また、多くの国や地域が取り上げられており、他国の文化や生活習慣も知ることができる。	
6	内容が系統的に構成され、学習を効果的に進めるために適切な配列であり、全体の分量及びその配分や表記が指導上適切であることや、表紙、目次、巻頭・巻末の資料、挿絵、写真、レイアウトその他使用上の便宜について、どのような特徴があるか。	本課数は、1年10、2年8、3年6で、「とびら」「Part」「Read & Think」「Express Yourself」で構成されている。巻末には3学年終了時のCAN-DOが掲載されている。	

総合所見	<p>非常にすっきりとしたレイアウトで、ターゲット文法のまとめが見やすいなど、視覚的に生徒を支援する上での工夫がされている。また、リスニング課題の分量が適切で、英語が苦手な生徒にとっても、取り組みやすい内容になっている。新出文法を学んだあとには、Practiceで用法を確認することができる。また、必ずイラストが添えられており、実際の言語使用場面をイメージしながら練習することができる。ユニットごとにUSE、単元終末にExpress Yourself、単元を統合してProjectと繰り返し言語活動が設定されており、既習事項を活用しながら、思考力・判断力・表現力を養うことに適している。</p> <p>以上を総合的に判断して、「採択地区内全体の使用に適している。」と考えられる。</p>
------	---

報 告 書

教 科	道 徳	種 目	道 徳
-----	-----	-----	-----

発行者名	東京書籍	教科書名	新しい道徳
------	------	------	-------

観	点	特 記 す べ き 所 見	備 考
1	道徳的価値の理解を図るために、発達段階を踏まえた内容の充実や創意工夫がどのようになされているか。	題材の最初に主題が提示され、題材末にねらいに迫るための問いが示されている。3年間で様々な立場、視点で考えられるよう工夫されているとともに、教材の形態も多様である。「集団生活の充実」についての題材では、クラス、現在の学校、未来の学校と、見る世界が広がるように構成されている。	
2	自分の経験やそのときの考え方、感じ方と照らし合わせながら、多面的・多角的に考える力を育む言語活動や情報モラル等現代的な課題に関わる題材がどのように取り上げられているか。	「Plus」の頁や「つぶやき」のコーナーが設けられ、自分の考えを表現したり深めたりすることができる。また、複数の立場や視点から考えるための工夫が多くなされている。情報モラルやいじめの問題に関して、身近な話題や様々な形態の題材を用いて各学年で取り上げられている。	
3	読み物教材の登場人物への自我関与が中心の学習、問題解決的な学習、道徳的行為に関する体験的な学習等の多様な学習方法がどのように取り上げられているか。	自分ならどうするかという問いが設けられているとともに、役割演技やグループワーク、リフレーミングなど、体験的な学習に取り組む「Action!」の頁や、話し合いの頁が設けられている。	
4	他教科、総合的な学習の時間及び特別活動との関連や家庭や地域における生活の場面への活用、探究的な活動の内容がどのように取り上げられているか。	学級活動や学校行事、地域の活動など身近な問題として考えられる題材が各学年で示されている。また、学習した内容を更に広げるためのコラムが複数設けられている。各題材の頁に関連する教科やデジタルコンテンツのマークが付されている。	
5	我が国や郷土の伝統、文化、人物等に関わる題材や、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に関わる題材、他者理解や人権尊重に関わる題材がどのように取り上げられているか。	郷土の魅力に迫る題材や日本らしさを見つめ直す題材から世界について考える題材まで、各学年にバランスよく配置されている。生命や平和、環境など、様々な分野についてグローバルな視点で考える題材や、いじめや障害者、高齢者など様々な立場の人物を扱った題材があり、視点を広げることができる。	
6	内容が系統的に構成され、学習を効果的に進めるために適切な配列であり、全体の分量及びその配分や表記が指導上適切であることや、表紙、目次、巻頭・巻末の資料、挿絵、写真、レイアウトその他使用上の便宜について、どのような特徴があるか。	年間35時間分の題材として、28題材と5付録で構成されている。全学年で「いじめのない世界へ」「いのちを考える」のテーマで複数の題材を設け、ひとつのまとまりとして、より深く考えることができる。教科書に書き込めるスペースが多く、巻末には、読書案内や郷土資料、ホワイトボードや心情円がついている。	

<p>総合所見</p>	<p>内容項目「集団生活の充実」についての題材では、クラス、現在の学校、未来の学校と、見る世界が広がるように構成されている。「Plus」の頁や「つぶやき」のコーナーが設けられ、自分の考えを表現したり深めたりすることができる。自分ならどうするかという問いが設けられているとともに、役割演技やグループワーク、リフレーミングなど、体験的な学習に取り組む「Action!」の頁や、話し合いの頁が設けられている。学級活動や学校行事、地域の活動など身近な問題として考えられる題材が各学年で示されている。生命や平和、環境など、様々な分野についてグローバルな視点で考える題材や、いじめや障害者、高齢者など様々な立場の人物を扱った題材があり、視点を広げることができる。教科書に書き込めるスペースが多く、巻末には、読書案内や郷土資料、ホワイトボードや心情円がついている。</p> <p>以上の特徴をもとに総合的に判断した結果、採択地区内全体の使用にたいへん適していると考えられる。</p>
-------------	--

報 告 書

教 科	道 徳	種 目	道 徳
-----	-----	-----	-----

発行者名	教育出版	教科書名	中学道徳 とびだそう未来へ
------	------	------	------------------

観 点	特 記 す べ き 所 見	備 考
1	道徳的価値の理解を図るために、発達段階を踏まえた内容の充実や創意工夫がどのようになされているか。 題材を通して考える問いが題材名の下と題材末に示されている。内容項目「自主・自律、自由と責任」では、自分で決めるときに大切なこと、自分で考え自分を律することの必要性、社会の一員として役割を自覚し責任を果たすことの重要性を考える題材が取り上げられている。.....
2	自分の経験やそのときの考え方、感じ方と照らし合わせながら、多面的・多角的に考える力を育む言語活動や情報モラル等現代的な課題に関わる題材がどのように取り上げられているか。 題材末に「学びの道しるべ」があり、自分に置きかえ、考え、振り返られるようになっている。情報モラルや安全・防災をテーマに現代的な課題に関する題材が各学年にあり、自分自身のこと、周りの人とのこと、社会の一員としてのこと、のように様々な立場から考えさせる内容になっている。.....
3	読み物教材の登場人物への自我関与が中心の学習、問題解決的な学習、道徳的行為に関する体験的な学習等の多様な学習方法がどのように取り上げられているか。 体験的な学習ができる「やってみよう」の頁が設定されており、話し合い活動を通して自分の考えを深め、今後の生活につながる方法が巻頭に示されている。また、「学びのみちしるべ」にも話し合いの内容が示されており、多様な学習へつなげられるようになっている。.....
4	他教科、総合的な学習の時間及び特別活動との関連や家庭や地域における生活の場面への活用、探究的な活動の内容がどのように取り上げられているか。 学校行事やキャリア教育に関連した題材や地域に関連した題材が各学年ごとに設けられている。「学びの道しるべ」には、日常生活につながる発問が見られる。また、題材末に「まなびリンク」がしるさされており、巻頭の QR コードから学習に役立つ情報を見ることができる。.....
5	我が国や郷土の伝統、文化、人物等に関わる題材や、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に関わる題材、他者理解や人権尊重に関わる題材がどのように取り上げられているか。 国や郷土の伝統や文化に携わっている人物を取り上げた題材が全学年に設定されている。また、国際理解や国際平和に関わる題材として、国連難民高等弁務官・緒方貞子、オバマ大統領の広島訪問、マザー・テレサなどが取り上げられている。.....
6	内容が系統的に構成され、学習を効果的に進めるために適切な配列であり、全体の分量及びその配分や表記が指導上適切であることや、表紙、目次、巻頭・巻末の資料、挿絵、写真、レイアウトその他使用上の便宜について、どのような特徴があるか。 年間35時間分の題材として、3.0題材と5補充教材が取り上げられている。全学年共通して、「生命の尊さ」「いじめや差別のない社会」のテーマで連続性のある題材がいくつか続けて示されている。巻末には、学びの記録を簡潔に書くことができ、学期ごとに自分の成長や学びを振り返ることができるシートがある。.....

総合所見	<p> 内容項目「自主・自律、自由と責任」では、自分で決めるときに大切なこと、自分で考え自分を律することの必要性、社会の一員として役割を自覚し責任を果たすことの重要性を考える題材が取り上げられている。情報モラルや安全・防災をテーマに現代的な課題に関する題材が各学年にあり、自分自身のこと、周りの人とのこと、社会の一員としてのこと、のように様々な立場から考えさせる内容になっている。体験的な学習ができる「やってみよう」の頁が設定されており、話し合い活動を通して自分の考えを深め、今後の生活につながる方法が巻頭に示されている。「学びの道しるべ」には、日常生活につながる発問が見られる。全学年共通して、「生命の尊さ」「いじめや差別のない社会」のテーマで連続性のある題材がいくつか続けて示されている。 </p> <p> 以上の特徴をもとに総合的に判断した結果、採択地区内全体の使用に適していると考えられる。 </p>
------	--

報 告 書

教 科	道 徳	種 目	道 徳
-----	-----	-----	-----

発行者名	光村図書	教科書名	中学校道徳
------	------	------	-------

観 点		特 記 す べ き 所 見	備 考
1	道徳的価値の理解を図るために、発達段階を踏まえた内容の充実や創意工夫がどのようになされているか。 題材の最初に内容項目、題材末に主題と問いが示されている。第1学年の最初は、小学校で学んだ教材を使って学習をスタートすることを示すなど、各学年の発達段階を踏まえた題材を配置する工夫がなされている。.....	
2	自分の経験やそのときの考え方、感じ方と照らし合わせながら、多面的・多角的に考える力を育む言語活動や情報モラル等現代的な課題に関わる題材がどのように取り上げられているか。 題材末に「考えよう」「見方を変えて」の問いを設定し、多面的・多角的に考えを深めさせようとしている。情報モラルやいじめの問題を考える題材とコラムが各学年で取り上げられている。.....	
3	読み物教材の登場人物への自我関与が中心の学習、問題解決的な学習、道徳的行為に関する体験的な学習等の多様な学習方法がどのように取り上げられているか。 テーマについて、イラストを使って自分のこととして考える「なんだろう、なんだろう」がある。「深めたいむ」の頁を設定し、話し合い活動を通して学びの深まりを促している。役割演技の場面、問題解決的な題材が設けられている。.....	
4	他教科、総合的な学習の時間及び特別活動との関連や家庭や地域における生活の場面への活用、探究的な活動の内容がどのように取り上げられているか。 学校行事や地域の活動、ボランティア活動等に関連した題材が各学年で示されている。各題材に他教科や日常生活との関わりを示す「つなげよう」が設けられている。題材名の下に QRコードを付して、参考となる資料を使うことができる。.....	
5	我が国や郷土の伝統、文化、人物等に関わる題材や、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に関わる題材、他者理解や人権尊重に関わる題材がどのように取り上げられているか。 国や郷土の伝統や文化に関わる題材として、日本の米づくり、和風建築と障子、ゆかた・着物などが取り上げられている。いじめ、福祉、共生、国際理解などに関わる様々な題材がバランスよく取り上げられている。.....	
6	内容が系統的に構成され、学習を効果的に進めるために適切な配列であり、全体の分量及びその配分や表記が指導上適切であることや、表紙、目次、巻頭・巻末の資料、挿絵、写真、レイアウトその他使用上の便宜について、どのような特徴があるか。 年間3.5時間分の題材として、3.1題材と4付録題材が取り上げられている。題材が3つのシーズンに分かれ、シーズン1は自分自身、シーズン2は広い視野、シーズン3は未来への展望をもたせるようなテーマをもったユニットに分かれている。全学年共通で「共生」「環境」などの4テーマのコラムを効果的に設置している。.....	

<p>総合所見</p>	<p>第1学年の最初は、小学校で学んだ教材を使って学習をスタートすることを示すなど、各学年の発達段階を踏まえた題材を配置する工夫がなされている。題材末に「考えよう」「見方を変えて」の問いを設定し、多面的・多角的に考えを深めさせようとしている。「深めたいむ」の頁を設定し、話し合い活動を通して学びの深まりを促している。各題材に他教科や日常生活との関わりを示す「つなげよう」が設けられている。いじめ、福祉、共生、国際理解などに関わる様々な題材がバランスよく取り上げられている。全学年共通で「共生」「環境」などの4テーマのコラムを効果的に設置している。</p> <p>以上の特徴をもとに総合的に判断した結果、採択地区内全体の使用に適していると考えられる。</p>
-------------	--

報 告 書

教 科	道 徳	種 目	道 徳
-----	-----	-----	-----

発行者名	日本文教出版	教科書名	中学道徳 あすを生きる
------	--------	------	----------------

観 点		特 記 す べ き 所 見	備 考
1	道徳的価値の理解を図るために、発達段階を踏まえた内容の充実や創意工夫がどのようになされているか。	題材の最初に主題名が提示され、題材末にはねらいに迫るための発問と前向きに自分を生かすための発問が示されている。生徒の発達段階を踏まえて、各学年で一定期間に集中的に学ぶことのできるユニットが構成されており、新ユニットである「よりよい社会と私たち」が年間にそれぞれ複数配置されている。	
2	自分の経験やそのときの考え方、感じ方と照らし合わせながら、多面的・多角的に考える力を育む言語活動や情報モラル等現代的な課題に関わる題材がどのように取り上げられているか。	身近な人物から先人までの、悩みや葛藤などの心の揺れや、それを乗り越える強さや気高さなどの多様な生き方が扱われている。コラムでは、インターネットやSNSの特徴や注意点が取り上げられており、情報モラル・情報セキュリティに係る見方考え方を広げることができるよう配慮されている。	
3	読み物教材の登場人物への自我関与が中心の学習、問題解決的な学習、道徳的行為に関する体験的な学習等の多様な学習方法がどのように取り上げられているか。	問題解決的な学習に適した教材には「学習の進め方」が設定され、主体的に問題をつかみ、対話的に学習できるように工夫されている。体験的な学習に適した教材では、役割演技をする際、見る際のポイントが示され、主体的・対話的で深い学びが実現できるように工夫されている。	
4	他教科、総合的な学習の時間及び特別活動との関連や家庭や地域における生活の場面への活用、探究的な活動の内容がどのように取り上げられているか。	他教科等の内容および実施時期との関係を考慮して教材配列がなされている。教材以外にも多様なコラムが掲載されており、学習内容を補充・発展させ、これからの実生活に生かすことができるように工夫されている。	
5	我が国や郷土の伝統、文化、人物等に関わる題材や、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に関わる題材、他者理解や人権尊重に関わる題材がどのように取り上げられているか。	郷土の身近な教材から世界規模の教材まで、各学年にバランスよく配置されている。生命、人権、環境、平和など、様々な問題についてグローバルな視野をもって解決しようとする意欲が育めるような教材が選ばれている。	
6	内容が系統的に構成され、学習を効果的に進めるために適切な配列であり、全体の分量及びその配分や表記が指導上適切であることや、表紙、目次、巻頭・巻末の資料、挿絵、写真、レイアウトその他使用上の便宜について、どのような特徴があるか。	年間 35 時間分の題材として、35 題材が取り上げられている。教科書と別冊「道徳ノート」で構成されており、「道徳ノート」の巻末には地域教材等への差し替えが可能な「フリーノート」も設定されている。教科書では、題材の教材名の下に登場人物の写真やイラストを配置するなどして、教材を読み取る際の抵抗を緩和するための配慮がされている。	

<p>総合所見</p>	<p>生徒の発達段階を踏まえて、各学年で一定期間に集中的に学ぶことのできるユニットが構成されており、新ユニットである「よりよい社会と私たち」が年間にそれぞれ複数配置されている。コラムでは、インターネットやSNSの特徴や注意点が取り上げられており、情報モラル・情報セキュリティに係る見方考え方を広げることができるよう配慮されている。問題解決的な学習に適した教材には「学習の進め方」が設定され、主体的に問題をつかみ、対話的に学習できるように大変良く工夫されている。他教科等の内容および実施時期との関係を考慮して教材配列がなされている。生命、人権、環境、平和など、様々な問題についてグローバルな視野をもって解決しようとする意欲が育めるような教材が選ばれている。教科書と別冊「道徳ノート」で構成されており、「道徳ノート」の巻末には地域教材等への差し替えが可能な「フリーノート」も設定されている。</p> <p>以上の特徴をもとに総合的に判断した結果、採択地区内全体の使用に極めて適していると考えられる。</p>
-------------	---

報 告 書

教 科	道 徳	種 目	道 徳
-----	-----	-----	-----

発行者名	学研教育	教科書名	新・中学生の道徳 明日への扉
------	------	------	-------------------

観 点		特 記 す べ き 所 見	備 考
1	道徳的価値の理解を図るために、発達段階を踏まえた内容の充実や創意工夫がどのようになされているか。 題材末に問いが示されている。「向上心、個性の伸長」にかかわり発達段階を踏まえて、自分の長所などを考える題材、夢を叶えるために大切なことを考える題材、自分の生き方を考える題材が取り上げられている。	
2	自分の経験やそのときの考え方、感じ方と照らし合わせながら、多面的・多角的に考える力を育む言語活動や情報モラル等現代的な課題に関わる題材がどのように取り上げられているか。 巻頭に自分との関わりで多面的に考えさせる「考えを深める四つのステップ」が紹介され、題材末に考えを広げ多様な見方を促すための「考えよう」の問いが設けられている。いじめや命について考える題材や、漫画やグラフと組み合わせた情報モラルの題材が各学年で複数回取り上げられている。	
3	読み物教材の登場人物への自我関与が中心の学習、問題解決的な学習、道徳的行為に関する体験的な学習等の多様な学習方法がどのように取り上げられているか。 教材の内容を自分と置き換えて考えたり、生活と結びつけて考えたり、問題解決的な学習や道徳的行為に関する体験的学習を行ったりできるように、「深めよう」の頁が各学年で複数回設けられている。	
4	他教科、総合的な学習の時間及び特別活動との関連や家庭や地域における生活の場面への活用、探究的な活動の内容がどのように取り上げられているか。 学校行事や部活動等、身近な題材が取り上げられている。また、題材に関連した資料等が「クローズアップ」「クローズアップ+プラス」に掲載されている。巻頭の QR コードから関連資料を得られる題材には、QR マークが付されている。	
5	我が国や郷土の伝統、文化、人物等に関わる題材や、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に関わる題材、他者理解や人権尊重に関わる題材がどのように取り上げられているか。 それぞれの題材が「いじめ」や「誰もが暮らしやすい社会」「伝統文化」などのテーマに分類されており、我が国の文化や国際理解、人権など様々な問題について考えられるよう題材が設定されている。	
6	内容が系統的に構成され、学習を効果的に進めるために適切な配列であり、全体の分量及びその配分や表記が指導上適切であることや、表紙、目次、巻頭・巻末の資料、挿絵、写真、レイアウトその他使用上の便宜について、どのような特徴があるか。 年間 3.5 時間分の題材として、3.5 題材が取り上げられている。巻末に学期ごとの振り返りを記入する「学びの記録」が示されている。全学年で、「地球と地域の未来のために」「夢に向かって共に輝く」といったユニット学習があり、2つの題材を連続して学習できるよう設定されている。	

総合所見

内容項目「向上心、個性の伸長」にかかわり発達段階を踏まえて、自分の長所などを考える題材、夢を叶えるために大切なことを考える題材、自分の生き方を考える題材が取り上げられている。いじめや命について考える題材や、漫画やグラフと組み合わせた情報モラルの題材が各学年で複数回取り上げられている。教材の内容を自分と置き換えて考えたり、生活と結びつけて考えたり、問題解決的な学習や道徳的行為に関する体験的学習を行ったりできるように、「深めよう」の頁が各学年で複数回設けられている。学校行事や部活動等、身近な題材が取り上げられている。また、題材に関連した資料等が「クローズアップ」「クローズアップ+プラス」に掲載されている。それぞれの題材が「いじめ」や「誰もが暮らしやすい社会」「伝統文化」などのテーマに分類されており、我が国の文化や国際理解、人権など様々な問題について考えられるよう題材が設定されている。全学年で、「地球と地域の未来のために」「夢に向かって共に輝く」といったユニット学習があり、2つの題材を連続して学習できるよう設定されている。

以上の特徴をもとに総合的に判断した結果、採択地区内全体の使用に適していると考えられる。

報 告 書

教 科	道 徳	種 目	道 徳
-----	-----	-----	-----

発行者名	廣濟堂あかつき	教科書名	中学生の道徳 自分を見つめる、 自分を考える、自分をのばす
------	---------	------	----------------------------------

観 点	特 記 す べ き 所 見	備 考
1	道徳的価値の理解を図るために、発達段階を踏まえた内容の充実や創意工夫がどのようになされているか。 題材末に問いが示され、巻末に題材ごとの主題が示されている。教材によっては道徳的価値を明示せず、生徒自らが見出すように配慮し、学年が進むに従って価値そのものを深く考え、哲学的に思考することができるように構成されている。.....
2	自分の経験やそのときの考え方、感じ方と照らし合わせながら、多面的・多角的に考える力を育む言語活動や情報モラル等現代的な課題に関わる題材がどのように取り上げられているか。 各題材末に、生徒がともに考え、話し合うことができるように「考える、話し合う」を設け、生徒の主体的・対話的で深い学びを促す工夫がされている。情報モラルなどの現代的な課題について考えることのできる教材が全学年で取り上げられており、多様な見方・考え方ができるように配慮されている。.....
3	読み物教材の登場人物への自我関与が中心の学習、問題解決的な学習、道徳的行為に関する体験的な学習等の多様な学習方法がどのように取り上げられているか。 「考える、話し合う」には、生徒に具体的な道徳的行為の場面を想起させて追体験させる問いや、役割演技や表現活動を促す活動が設定されており、指導のねらいに即して道徳性に関する体験的学習が適切に取り入れられるように配慮されている。.....
4	他教科、総合的な学習の時間及び特別活動との関連や家庭や地域における生活の場面への活用、探究的な活動の内容がどのように取り上げられているか。 別冊「道徳ノート」に各教科や他の教育活動とも連携を図りながら活用できる頁が設定されている。教科書の題材名の下に専用サイトから情報を得られる「インターネット」のマークが付されており、巻末には教材ごとにそれぞれの関わりが示されている。.....
5	我が国や郷土の伝統、文化、人物等に関わる題材や、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に関わる題材、他者理解や人権尊重に関わる題材がどのように取り上げられているか。 題材末に格言や名言が掲載されており、先人の言葉や考えを手がかりに、道徳的価値の理解や人間としての生き方についての考えを深めることができるように工夫されている。巻末には、いじめや人権に関する課題を、道徳の内容に示された4つの視点から捉えて考えを深める頁が設けられている。.....
6	内容が系統的に構成され、学習を効果的に進めるために適切な配列であり、全体の分量及びその配分や表記が指導上適切であることや、表紙、目次、巻頭・巻末の資料、挿絵、写真、レイアウトその他使用上の便宜について、どのような特徴があるか。 年間 35 時間分の題材として、35 題材が取り上げられている。教科書と別冊「道徳ノート」で構成されており、学年ごとに書名が「自分を見つめる」「自分を考える」「自分をのばす」と変えられている。別冊「道徳ノート」には、道徳的価値についての解説が示されている。.....

<p>総合所見</p>	<p>教材によっては道徳的価値を明示せず、生徒自らが見出すように配慮し、学年が進むに従って価値そのものを深く考え、哲学的に思考することができるように構成されている。各題材末に、生徒がともに考え、話し合うことができるように「考える、話し合う」を設け、生徒の主体的・対話的で深い学びを促す工夫がされている。題材末に格言や名言が掲載されており、先人の言葉や考えを手がかりに、道徳的価値の理解や人間としての生き方についての考えを深めることができるように工夫されている。教科書と別冊「道徳ノート」で構成されており、学年ごとに書名が「自分を見つめる」「自分を考える」「自分をのばす」と変えられている。別冊「道徳ノート」には、道徳的価値についての解説が示されている。</p> <p>以上の特徴をもとに総合的に判断した結果、採択地区内全体の使用に適していると考えられる。</p>
-------------	---

